

令和 6 年 度  
事業別決算説明

一般会計 歳出の状況

農政建設常任委員会関係

農林水産部  
農業委員会

# ○事業別決算説明について

## 1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。
- (4) 執行額、執行残額は、それぞれ決算書の支出済額、不用額を表しています。

## 2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和6年度事業が令和7年度に複数の課に分割された場合は、令和7年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで令和6年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和7年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和6年度事業費(●●課) 48,000千円



令和6年度事業費(令和7年度○○○○課) 36,000千円  
 令和6年度事業費(令和7年度△△△△課) 12,000千円

※令和6年度と令和7年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和7年度の所管課が作成してあります。

記入例 : 令和6年度は●●課で実施した事業が  
 令和7年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (令和6年度所管は●●課)
------	------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (令和6年度所管は●●課)
事業名			

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり  
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)  
 該当数値なし : 「-」 (ハイフン)

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり  
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)  
 該当数値なし : 空白

地域独自の予算事業の決算説明は、本冊子では事業名、地域自治区、決算額のみ記載しています。実施内容等については、別冊の議会資料に記載しています。

(単位：千円)

決算書 (P234～P235)	6款1項1目 農業委員会費	所管課等	農業委員会事務局
事業名	農業委員会活動費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,109	25,664		8,637			17,027
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	445				445	

## 【目的】

農地法等によりその権限に属する事項を処理するとともに、農地利用の最適化を推進し、農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図ることにより、農業の健全な発展に寄与する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・農地法等に基づく農地の利用調整、農地転用許可などの事項を適正に処理する。
- ・委員の資質向上のための研修に積極的に参加し、地域活動を活性化、農地利用の最適化を推進する。

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・会議、活動等の概要

区分	実施内容	
総会、農地部会等の開催	総会・全体会3回、農地部会(第一、第二)各12回、農政部会3回、運営委員会4回、研修会実施4回、研修会参加6回、地区会議12回	
地域計画策定に向けた協議の場への参画	市内25地区の地域計画策定に向けて、地域農業の将来の在り方を話し合う協議の場に農業委員と農地利用最適化推進委員が延べ34回参画した。	
委員の主な活動	農業委員(24人)	農地部会に出席し、農地法に基づく許認可業務等を行うとともに、総会等に出席し、議案等を審議した。また、農地利用最適化推進委員とともに、担当地域で担い手への農地集積や農地パトロールなどの活動を行った。
	農地利用最適化推進委員(36人)	農業委員と連携し、担当地域で担い手への農地集積や農地パトロールなどの活動を行った。また、総会や農地部会に出席し、農地の移動状況等を把握した。

## ・農地部会における処理状況&lt;農地の取得・転用等の件数&gt;

農地法 3条	転用届出		転用許可		18条 解約	集積計画	集積計画 (一括方式)	非農地 判断	合計
	4条	5条	4条	5条					
96件	13件	165件	4件	40件	1,562件	2,950件	670件	918件	6,418件

決算書 (P234～P235)	6款1項1目 農業委員会費	所管課等	農業委員会事務局
事業名	農業委員会活動費		

<農業経営基盤強化促進法に基づく業務の処理>

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用権設定等	件数	3,265件	2,079件	3,478件
	面積	1,683ha	2,091ha	2,368ha
所有権移転	件数	168件	152件	169件
	面積	128ha	79ha	101ha
合計	件数	3,433件	2,231件	3,647件
	面積	1,811ha	2,170ha	2,469ha

○目標達成状況

- ・農地法等の法令に基づく農地の利用調整、農地転用許可などの業務を適正に処理した。
- ・農業委員、推進委員研修会の実施や、農地利用の地区会議での情報共有等により、委員の意識が向上し、担い手への農地利用の集積・集約化や農地相談への対応等の地域活動が活性化した。

【事業の成果】

- ・農業委員、推進委員が地域計画策定に向けた協議の場に参画し、農地の利用調整に努めたことで、円滑な計画策定につながった。
- ・農業委員と推進委員が連携し、農地パトロールや農地の利用調整を行ったことで、農地利用の最適化が進んだ。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域計画の実現に向けて、引き続き関係機関・団体と連携して農地の有効利用を図るとともに委員の活動をさらに活発化し、農地利用の最適化をより一層進める必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：費用弁償、有料道路使用料等の実績が当初の見込みを下回ったため 443  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P234～P235)	6款1項1目 農業委員会費	所管課等	農業委員会事務局
事業名	農業委員会事務局運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
19,278	17,858		4,261		738 (手数料、謝金)	12,859
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,420				1,420	

## 【目的】

農業委員会等に関する法律や農地法等に基づく所掌事務に従事するとともに、農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動を支援し、農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図ることにより農業の健全な発展に寄与する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・農地法等の法令に基づく、農地転用許可申請などの許認可事務等を適正に行う。
- ・総会、農地部会等を円滑に運営するとともに、委員の地域活動を活性化する。
- ・農業者が必要とする情報を適時的確に提供する。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・農地の利用状況調査、農業者への情報提供

区分	実施内容
利用状況調査	農業委員、農地利用最適化推進委員に対し、両委員が行う農地パトロールや地区会議に必要な資料等を提供した。
情報提供	令和6年1月から12月までに締結された農地(田・畑)賃貸借契約における賃借料の実績をまとめ、地域別の賃借料水準を公表した。
	農地の出し手と受け手の意見を踏まえ、令和7年から9年までの3か年を適用期間とする、市内平坦地域における水田の参考賃借料を公表した。
	農作業労賃・農業用機械利用料金参考額
農業委員会だより	農作業を受委託する料金の参考額を公表した。
	県・市等の農業に関する支援制度や農地の権利設定見直しの啓発のほか、農業委員会の活動等を紹介する「農業委員会だより」を7月と12月に発行した。

- ・地域計画の策定に向け、担当地区の委員とともに、地域農業の将来の在り方を話し合う協議の場に参加した。

決算書 (P234～P235)	6款1項1目 農業委員会費	所管課等	農業委員会事務局
事業名	農業委員会事務局運営費		

○目標達成状況

- ・農地法等の法令に基づく農地の権利移動や農地転用許可申請などの受付業務を適正に行い、農地部会等での審議が円滑に進んだ。
- ・総会や農地部会、地区会議等を適切に運営したほか、会議等を通じて委員同士の連携が進み、委員活動の活性化につながった。
- ・農業委員会だよりや広報上越を通じて、賃借料情報などの各種情報を農業者に適時的確に提供し、農業経営の一助とすることができた。

【事業の成果】

- ・委員が主体となって行った農地利用の意向調査を踏まえ、目標地区の素案を作成したことで、地域計画の策定に向けた話合いが円滑に進み、市内25地区の計画策定に寄与した。
- ・賃借料情報や農作業受委託料金の参考額の公表等、農業者に関心がある情報を提供したことで、農業経営の円滑化が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域計画の実行等による農地利用の最適化を進めるため、研修会を実施し、委員の知識向上を図るとともに、各委員の地域活動を引き続き支援していく必要がある。
- ・農業経営基盤強化促進法等の改正に伴い、農地の権利設定の方法が見直されたことから、引き続き農業者等への周知に努めるとともに、受付等の事務処理を円滑に行う必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：パソコン保守帳票印刷等委託料、通信運搬費等の実績が当初の見込みを下回ったため 1,420

(単位：千円)

決算書 (P236～P237)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	芙蓉荘管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,590	5,287				101 (使用料財産収入、 譲収入)	5,186
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	303		63	168	72	

## 【目的】

各種研修や地域コミュニティの醸成、地域住民の健康増進及び地域活動の活性化に資する拠点施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字富岡 3003 番地の 1
設置	昭和 54 年度
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
面積	853.27 m <sup>2</sup>
管理	直営 (業務委託)

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	5,942 人	6,205 人	-	6,586 人

決算書 (P236～P237)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	芙蓉荘管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	349	127	287	91
	その他	41	40	33	10
	合計	390	167	320	101
②支出	施設維持管理費	4,958	4,936	5,590	5,287
	うち委託料	4,010	4,135	4,525	4,355
	その他	-	-	-	-
	合計	4,958	4,936	5,590	5,287
③公費投入額 (②-①)		4,568	4,769	5,270	5,186
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		769	769	-	787

【事業の成果】

- ・建築物定期点検（建築設備）結果に基づき非常用照明設備修繕を行ったほか、駐車場の白線引きを行うなど、適切に管理を行った。
- ・サークル活動や高齢者サロン等に利用され、地域コミュニティの醸成や地域住民の健康増進、地域活動の活性化に資することができた。
- ・令和7年度末の廃止を見据え、国へ処分見込みに関する報告書を提出し、財産処分に係る国・県との協議を進めることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・第4次上越市公の施設の適正配置計画で定める取組方向（令和7年度をもって廃止）に基づき利用者との調整や町内会及び地域協議会等、関係者との協議を進める必要がある。
- ・廃止後の施設の管理については防犯・防災の観点に留意し、適切に実施する。隣接する保育園や近隣住民への安全対策など、必要な措置を検討する必要がある。

【執行残額について】

- ・事業未実施：想定した業務（害虫駆除）が不要であったため 63  
施設管理委託料（63）
- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 168  
修繕料（61） 施設管理委託料（107）
- ・その他：光熱水費、燃料費等の実績が当初の見込みを下回ったため 70  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P236～P237)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	ファームセンター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,852	6,581				417 (使用料財産収入、 譲収入)	6,164
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	271			148	123	

## 【目的】

地域住民の健康増進と地域コミュニティの醸成を図り、農村地域の生活環境の向上に寄与する拠点施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字本新保 564 番地
設置	昭和 59 年度
構造	鉄筋コンクリート造 2 階建
面積	1,412.00 m <sup>2</sup>
管理	直営 (業務委託)

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	7,346 人	6,663 人	-	8,097 人

決算書 (P236～P237)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	ファームセンター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	447	458	463	406
	その他	46	51	43	11
	合計	493	509	506	417
②支出	施設維持管理費	5,904	7,332	6,852	6,581
	うち委託料	4,360	4,306	4,716	4,676
	その他	-	-	-	-
	合計	5,904	7,332	6,852	6,581
③公費投入額 (②-①)		5,411	6,823	6,346	6,164
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		737	1,024	-	761

【事業の成果】

- ・多目的ホール及びエントランスの照明灯具や椅子式昇降機のバッテリーについて、取替修繕を行ったほか、駐車場の白線引きを行うなど、適切に管理を行った。
- ・スポーツ活動や高齢者サロンのほか、学校における部活動の地域移行に伴う活動場所として利用されるなど、地域コミュニティの醸成や地域住民の健康増進、地域活動の活性化に資することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・老朽化に伴い、設備の不具合が発生する頻度が増えることから、その都度適切に対応し、利用者が安心して利用できる環境を整える必要がある。
- ・利用者からの意見やニーズを把握し、適切な管理と効率的な運営を行う必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 148  
施設管理委託料(40) 修繕料(108)
- ・その他：燃料費、修繕料等の実績が当初の見込みを下回ったため 122  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P236～P237)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	ラーバンセンター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,884	8,756				895 (使用料財産収入、 譲収入)	7,861
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	128			66	62	

**【目的】**

地域住民の健康増進と地域コミュニティの醸成を図り、農村地域の生活環境の向上に寄与する拠点施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大和六丁目3番30号
設置	平成3年度
構造	鉄筋コンクリート造2階建
面積	1,151.22 m <sup>2</sup>
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	16,762人	16,146人	-	17,845人

決算書 (P236～P237)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	ラーバンセンター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	936	921	926	880
	その他	55	52	51	15
	合計	991	973	977	895
②支出	施設維持管理費	6,903	6,949	8,884	8,756
	うち委託料	4,602	4,684	5,485	5,485
	その他	-	-	-	-
	合計	6,903	6,949	8,884	8,756
③公費投入額 (②-①)		5,912	5,976	7,907	7,861
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		353	370	-	441

【事業の成果】

- ・ガス給湯器の取替や陶芸用電気釜の熱線取替を行ったほか、椅子式昇降機のバッテリー交換を行うなど、適切に管理を行った。また、研修室のエアコン取付や階段手すりの改修を行うなど、利便性の向上を図った。
- ・サークル団体や高齢者サロン等に利用され、地域コミュニティの醸成や地域住民の健康増進、地域活動の活性化に資することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・老朽化に伴い、設備の不具合が発生する頻度が増えることから、その都度適切に対応し、利用者が安心して利用できる環境を整える必要がある。
- ・利用者からの意見やニーズを把握し、適切な管理と効率的な運営を行う必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 66  
修繕料 (66)
- ・その他：光熱水費、下水道使用料等の実績が当初の見込みを下回ったため 59  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P238～P239)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	農村地区多目的集会所管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,260	5,867				137 (使用料、謝収)	5,730
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	393			123	270	

## 【目的】

コミュニティ活動を通じて、地域住民の交流による地域の連帯感を醸成し、活力ある農村地域社会の形成に資する拠点施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設概要及び利用者数

地区	管理	施設名	利用者数		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
合併前 上越市	指定管理	中ノ俣地区多目的研修センター	4,422人	3,937人	6,827人
	直営	高土地区多目的研修センター			
	指定管理	岩木多目的研修センター			
	指定管理	田園多目的研修センター			
浦川原区	直営	浦川原里山地域活性化センター	2,405人	2,409人	3,160人
大島区	指定管理	大島生活改善センター	3,598人	3,814人	4,073人
	指定管理	大島旭農村環境改善センター			
	指定管理	菖蒲農村環境改善センター			
	指定管理	大島若者交流会館			
名立区	直営	円田荘	677人	722人	820人
合計			11,102人	10,882人	14,880人

決算書 (P238～P239)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	農村地区多目的集会所管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	106	132	103	137
	その他	0	0	1	0
	合計	106	132	104	137
②支出	施設維持管理費	7,689	9,378	6,260	5,867
	うち委託料	2,657	2,426	2,884	2,855
	その他	-	-	-	-
	合計	7,689	9,378	6,260	5,867
③公費投入額 (②-①)		7,583	9,246	6,156	5,730
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		683	850	-	385

【事業の成果】

- ・田園多目的研修センターのエアコン修繕や円田荘の自動火災報知設備及び誘導灯の非常用電池交換、障子の張り替えを行ったほか、大島生活改善センター及び大島若者交流会館の屋根雪下ろし用命綱固定アンカー設置工事を行うなど、適切に管理を行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・老朽化に伴い、設備の突発的な不具合が発生する頻度が増えることから、その都度適切に対応し、利用者が安心して利用できる環境を整える必要がある。
- ・利用者からの意見やニーズを踏まえ、適切な管理と効率的な運営を行う必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 123  
修繕料 (94) 施設管理委託料 (29)
- ・その他：報償金、修繕料等の実績が当初の見込みを下回ったため 265  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 5

(単位：千円)

決算書 (P238～P239)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農村公園管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,874	12,405				180 (繰入)	12,225
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	469			31	438	

## 【目的】

少子高齢化が進む中で、地域の連携とコミュニティを構成する憩いの場として、住民が安心して利用できるよう公園環境を維持する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■農村公園管理運営費 11,507

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

区分	施設数	事業費	主な管理経費
合併前上越市	17	2,625	報償費、需用費、委託料、工事請負費
安塚区	1	139	報償費、委託料
浦川原区	3	897	報償費、需用費、委託料、使用料及び賃借料
大島区	8	1,345	報償費、需用費、委託料、使用料及び賃借料
柿崎区	3	476	報償費、需用費、委託料、工事請負費
頸城区	2	438	報償費、委託料、使用料及び賃借料
吉川区	2	597	報償費、需用費、委託料
中郷区	4	451	報償費、需用費、使用料及び賃借料
板倉区	19	2,917	報償費、需用費、委託料
清里区	5	464	報償費、需用費、委託料
三和区	7	504	報償費、需用費、使用料及び賃借料
名立区	6	654	報償費、需用費、使用料及び賃借料
合計	77	11,507	

決算書 (P238～P239)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農村公園管理運営費		

・主な修繕及び工事

区分	公園名	内容
合併前上越市	四斗溜池公園	スプリング遊具入替工事
	四ヶ所公園	ブランコ撤去工事
	六合公園	ブランコ撤去工事
浦川原区	山本公園	高置水槽ポンプ漏水修繕
大島区	不動尊公園	合併処理浄化槽修繕
柿崎区	七ヶ農村公園	鉄棒撤去工事
吉川区	原之町地区農村公園	ブランコ吊り金具・座面修繕、トイレ配管修繕
中郷区	二本木農村公園	時計修繕
板倉区	曾根田地区農村公園	すべり台滑走部修繕
	パークみよし野	トイレ配管修繕
	南中島地区農村公園	トイレ配管修繕、すべり台撤去工事
	田屋地区農村公園	トイレ配管修繕
名立区	岩屋堂うるおい広場	トイレ便槽修繕

■地域独自の予算事業 898  
隕石落下公園周辺の環境整備事業（清里区）

【事業の成果】

- ・年3回（4月、7月、9月）の遊具点検とともに、施設修繕や町内会と連携した管理を実施したことにより、住民が安全に利用できる環境を維持することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・遊具やトイレ等施設の老朽化が進んでいることから、引き続き、定期的な点検とともに、修繕や撤去を行い、住民が安心して利用できるよう、適切な維持管理に努めていく。
- ・人口減少及び少子高齢化が進んでいることを踏まえ、今後の農村公園の活用について、利用状況など地域の意見を聞きながら検証していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 31  
施設管理委託料（31）
- ・その他：公園管理報償金、光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 438

(単位：千円)

決算書 (P238～P241)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	農林水産業融資支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
52,042	11,528		542		10,672 (繰入)	314
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	40,514		1,481		39,033	

## 【目的】

農林水産業は、自然条件に左右されやすく価格変動等のリスクを伴うことから、利用しやすい融資制度や農業制度資金に対する利子助成制度を設け、農林水産業者の育成振興に寄与する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■農林水産業振興資金融資事業 10,672

○実施内容、これまでの経過等

- ・貸付額：20,000千円以内（建築物の新築・改築及び改修、機械導入）  
10,000千円以内（資材導入、基盤整備、施設整備、運転資金など）
- ・貸付利率：年1.5%
- ・償還期間：15年以内（うち据置3年以内）（建築物の新築・改築及び改修）  
7年以内（うち据置2年以内）（上記以外）
- ・取扱窓口：えちご上越農業協同組合、東日本信用漁業協同組合連合会上越営業店、  
第四北越銀行、大光銀行、八十二銀行、上越信用金庫、糸魚川信用組合、  
新井信用金庫、くびき野森林組合（相談のみ）、上越市漁業協同組合（相談のみ）

区分	継続利用分		令和6年度新規申込分		合計	
	件数	預託額	件数	預託額	件数	預託額
機械導入	5件	4,672	0件	0	5件	4,672
運転資金	0件	0	1件	6,000	1件	6,000
合計	5件	4,672	1件	6,000	6件	10,672

## ＜年度別新規利用件数の推移＞

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
機械導入	2件	0件	0件	0件	0件
運転資金	0件	0件	0件	0件	1件
合計	2件	0件	0件	0件	1件

決算書 (P238～P241)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	農林水産業融資支援事業		

■制度資金利子助成事業 856

区分	補助内容	件数	市補助額 ※1	うち 県補助額
農業経営基盤強化資金利子助成補助金 ※2	利子助成	57件	730,038円	490,675円
新潟県農林水産業振興資金8号資金等利子補給補助金 ※3	利子補給	2件	124,095円	51,454円
農林水産業振興資金等保証料助成補助金 ※4	保証料助成	0件	0円	0円
農林水産業振興資金等利子助成補助金 ※5	利子助成	0件	0円	0円
合計		59件	854,133円	542,129円

※1 市補助額と当該事業費の差は消耗品費

※2 平成24年4月1日以前の農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）借入者へ利子助成するもの（平成23年度までの借入れは地方公共団体から、平成24年度以降の借入れは国から予算の範囲内で金利負担軽減措置を受けることができる。）

※3 令和5年の猛暑・渇水により経営に影響を受けた農業者等へ貸付けを行っている金融機関対し利子を補給するもの

※4 令和6年の能登半島地震により影響を受け、借入れを行った農業者等へ2年分の保証料を一括助成するもの

※5 令和6年の能登半島地震により影響を受け、借入れを行った農業者等へ2年分の利子を一括助成するもの

【事業の成果】

- ・上越市農林水産業振興資金を「全ての農林水産業者に速やかに対応できる資金」と位置付け、令和6年6月に貸付対象に運転資金を追加したほか、貸付限度額の増額や償還期間の延長を行うなど、より実態に即した使いやすい制度に改正し、農林水産業者が必要とする融資制度の運用を図った。
- ・令和5年の猛暑・渇水時に緊急金融支援策を創設し、資金を貸し付けた金融機関に対し、利子補給を行うことにより、農林水産業の育成振興に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・農林水産業融資支援事業は、各金融機関独自の商品の充実等により新規借入件数が減少しているが、引き続き周知を行い、制度の認知度を高め、経営の安定化を図るために必要な金融施策として継続していく。
- ・自然災害等により、農林水産業者の経営への影響が大きく、経営の継続が困難となるのが危惧される場合にあっては、速やかに必要な緊急金融支援を検討する。

【執行残額について】

- ・事業未実施：令和6年の能登半島地震に伴う緊急金融支援（農林水産業振興資金等保証料助成補助金及び利子助成補助金）の利用がなかったため 1,481
- ・その他：農林水産業振興資金預託金、新潟県農林水産業振興資金8号資金等利子補給補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 39,033

(単位：千円)

決算書 (P240～P241)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	ろばた館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,765	25,510			8,100	4,594 (使用料財産収入、 譲収入)	12,816
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	255			18	237	

## 【目的】

余暇活動や心身の健康増進、世代を超えた交流の場として住民の連帯意識やコミュニティの活性化を図る拠点施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■ろばた館管理運営費 25,162

○令和6年度目標

- ・施設利用者数 9,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・ろばた館の維持管理及び運営
- ・地域の各種団体と連携したイベントの開催
- ・温浴及び食堂の廃止を見据え、施設の利活用に向けた検討
- ・施設の概要

所在地	名立区西蒲生田 155 番地
設置	平成7年度
構造	鉄骨造2階建
面積	985.00 m <sup>2</sup>
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	9,025人	8,955人	9,000人	9,039人

決算書 (P240～P241)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農村振興課
事業名	ろばた館管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	2,777	2,543	2,790	2,655
	その他	1,580	2,470	1,848	1,939
	合計	4,357	5,013	4,638	4,594
②支出	施設維持管理費	24,211	29,249	25,417	25,162
	うち委託料	12,574	12,372	13,273	13,261
	その他	-	-	-	-
	合計	24,211	29,249	25,417	25,162
③公費投入額 (②-①)		19,854	24,236	20,779	20,568
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,200	2,706	2,309	2,275

○目標達成状況

- ・名立区広報誌「しずく」や防災無線のほか、SNSによりイベント情報等の周知を行ったことで、施設利用者数目標に対し、39人上回る9,039人となり、目標を達成することができた。

■地域独自の予算事業 348

- ・名立そばと旬の農産物フェア事業 (名立区)

【事業の成果】

- ・誘導灯や非常用照明の取替修繕を行うなど、適切に管理を行った。
- ・もちつきやそば打ちイベントのほか、令和5年度に続いてそばまつりが開催されたことにより、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。
- ・温浴及び食堂の廃止を見据え、地域への説明を行うとともに、今後の施設の利活用策について検討を進めた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・当施設が地域交流の場として利用されるよう、地域住民や関係者が行うイベントに参画する。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 18  
委託料 (12) 機械借上料 (6)
- ・その他：消耗品費、光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 234  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P240～P241)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農政課
事業名	農地渇水・高温対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,034	5,033					5,033
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1				1	

## 【目的】

農畜産業者等が講ずる渇水対策、暑熱対策に要する費用を支援し、農畜産物の被害防止を図るとともに、次年度の生産意欲維持につなげる。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・かん水用機械等整備対策事業、かん水用機械等燃料費助成事業

事業主体：農業者、農業法人及び農業者が組織する営農のための団体

対象期間：令和6年4月1日から6月30日まで

補助率：かん水用機械等の借り上げ又は購入や当該対策に要した燃料費等の1/2以内

〈補助金交付実績の内訳〉

対象事業	対象経費	補助金上限額	支援数等	補助金額
かん水用機械等 整備対策事業	ポンプ車等の借上料	8,900 円/日	1 台	9
	ポンプの借上料	1,550 円/日	0 台	0
	ポンプの購入費	44,150 円/基	24 基	663
	ホースの購入費	4,200 円/本	59 本	203
	ポリタンク (2000 以上) の購入費	13,650 円/個	6 個	53
かん水用機械等 燃料費助成事業	ポンプの稼働に要する 燃料費又は電気料金	-	49 件	1,336
合計			申請者数 58 人	2,264

決算書 (P240～P241)	6款1項2目 農業総務費	所管課等	農政課
事業名	農地渇水・高温対策事業		

・家畜暑熱被害応急対策事業、家畜暑熱対策電気料金助成事業

事業主体：農業者、農業法人及び農業者が組織する営農のための団体

対象期間：令和6年8月1日から9月30日まで

補助率：畜舎の暑熱対策に必要な施設設備の購入や当該対策に要した電気料金の1/2以内  
〈補助金交付実績の内訳〉

対象事業	対象経費	補助金上限額	支援数等	補助金額
家畜暑熱被害応急対策事業	畜舎用換気、送風、散水等設備の購入費	52,600円/基	1基	7
家畜暑熱対策電気料金助成事業	畜舎用換気、送風、散水等の稼働に要する電気料金	-	9件	2,745
合計			申請者数9人	2,752

【事業の成果】

- ・かん水用機械等や畜舎の暑熱設備のほか、燃料費や電気料金の支援を通じて、農畜産物の被害の軽減と今後の生産意欲の維持につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・異常気象が常態化する中で、気象変動リスクの低減による農業経営の安定を図るため、関係機関・団体と連携し、高温耐性品種の利用、直播等による作期分散や、乾燥や高温などの非生物的ストレスに対する耐性改善が期待されるバイオスティミュラント資材の効果検証を進める必要がある。
- ・高温や渇水の影響を緩和するため、稲の後期栄養の確保や適期収穫、効率的な水管理など栽培技術の情報について、関係機関・団体と連携しながら継続的に農業者への情報発信を実施していく。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P240～P241)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	自然循環型農業推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
44,749	40,476		29,467			11,009
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,273		16		4,257	

## 【目的】

「みどりの食料システム法」などにに基づき、農業が有する多面的機能の維持・増進を図り、自然環境と調和のとれた持続可能な地域農業の実現に向けた取組を支援する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■河川カメムシ類防除対策事業委託料 1,091

○令和6年度目標

- ・事業実施箇所における斑点米発生率が地域全体の平均値を下回る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・県の河川カメムシ類防除対策事業を活用し、河川敷の草木・雑草の刈払いと除去・搬出作業を農家組合等に委託し、水稻のカメムシ被害の防除対策を実施した。

<斑点米発生率>

事業主体	浦川原区		板倉区		名立区	
	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
実施区全域の発生率	0.00%	0.69%	0.24%	1.91%	0.00%	0.28%
実施地域の発生率	0.00%	0.20%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
実施地域	有島、印内、山印内、飯室、今熊、山本、桜島、長走		南中島		折平	

※数種のカメムシが、稲穂を吸汁することにより、玄米の加害部に雑菌が繁殖し、斑点状に褐変する。斑点米の混入による品質の低下（農作物検査の格落ち）を防ぐためには、水田周辺の畦畔同様に、カメムシ類の生息地となる河川敷の除草を適期に行う必要がある。



[カメムシ類による被害状況（斑点米）]

○目標達成状況

- ・当該事業の実施により、河川の草刈りを徹底したことで、事業実施地域の斑点米発生率が事業実施区全域の平均値を下回る結果につながった。

決算書 (P240～P241)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	自然循環型農業推進事業		

■環境保全型農業推進事業 39,385

○令和6年度目標

- ・環境保全型農業直接支払交付金の取組面積 953.1ha
- ・有機農業の取組面積 61.0ha

○実施内容、これまでの経過等

(1) 環境保全型農業直接支払交付金 (36,764)

- ・環境負荷の少ない環境保全型農業を推進するため、化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する取組とあわせて地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い取組を行う農業団体に対して、各種取組区分に応じて交付金を交付した。

<内訳>

取組区分	令和5年度				令和6年度				
	件数 (件)	面積 (ha)	交付 単価 (円/10a)	交付 金額	件数 (件)	面積 (ha)	交付 単価 (円/10a)	交付 金額	
カバークロープ	11	327.70	6,000	19,662	12	346.55	6,000	20,793	
堆肥の 施用※1	基本単価	3	42.00	4,400	1,848	2	29.30	4,400	1,289
	特例単価	2	28.64	2,200	630	2	28.35	2,200	624
有機農業(雑穀以外)	9	60.37	12,000	7,244	9	60.17	12,000	7,220	
炭素貯留効果の高い有機農業※2	0	0	14,000	0	0	0	14,000	0	
不耕起播種※3	0	0	3,000	0	0	0	3,000	0	
長期中干し※4	5	52.56	800	421	6	202.57	800	1,621	
秋耕※5	3	17.73	800	142	3	33.67	800	269	
冬期湛水管理(有・畦)※6	5	25.54	8,000	2,043	4	15.57	8,000	1,246	
冬期湛水管理(有)	0	0	7,000	0	1	1.26	7,000	88	
冬期湛水管理(畦)	17	96.56	5,000	4,828	15	71.67	5,000	3,584	
I PM+畦畔除草、秋耕※7	1	0.75	4,000	30	1	0.75	4,000	30	
合計 (取組団体)	56 (41)	651.85	-	36,848	55 (41)	789.86	-	36,764	

※1 堆肥の施用の単価区分：基本単価（堆肥量1.0t以上/10a）

特例単価（堆肥量0.5t以上1.0t未満/10a）

※2 土壌診断を実施した上で、堆肥の施用、カバークロープ、リビングマルチ又は草生栽培のいずれかを実施する取組

※3 ほ場の全面耕起をせずに播種を行う取組

※4 溝切りを実施した上で14日以上の中干しを行う取組

※5 水稻の収穫後に耕うんを実施し、翌春に水稻の作付（湛水）を行う取組

※6 冬期湛水管理の「有」は「有機質肥料使用」、「畦」は湛水開始前の畔塗りや畦畔シートによる被覆などの「畦補強等実施」の取組

※7 総合的病害虫・雑草管理（I PM）と組み合わせて、水稻栽培期間中の草刈機等による畦畔除草及び秋耕を行う取組

決算書 (P240～P241)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	自然循環型農業推進事業		

(2) 環境保全型農業の推進 (250)

- ・ 農業者向け事業説明会や上越市農林水産フェスティバル、にいがたオーガニックフェスタ（上越会場）において、当市の環境保全型農業の取組について周知した。
- ・ 有機JAS認証の新規取得及び国際水準GAP認証の更新に係る経費の一部を支援した。

補助金名	令和5年度			令和6年度		
	件数	補助金額	備考	件数	補助金額	備考
有機JAS認証取得事業補助金	-	-	-	1件	100	新規 (三和区)
国際水準GAP認証取得事業補助金	1件	100	更新 (清里区)	1件	150	更新 (板倉区)

○目標達成状況

- ・ 環境保全型農業直接支払交付金の取組面積は、令和5年度に比べて、長期中干しの取組面積の増などから、138.01ha増の789.86haとなったが、目標の953.1haには到達しなかった。
- ・ 環境保全型農業直接支払交付金に係る有機農業について、取組件数は変わらなかったが、取組面積を減らした農業者がいたことから、令和5年度に比べて0.2ha減の60.17haとなり、目標の61.0haには到達しなかった。

【事業の成果】

- ・ 河川カメムシ類防除対策事業の実施により、斑点米による品質の低下を抑制することができた。
- ・ 環境保全型農業推進事業において、令和6年度は令和5年度に比べ、長期中干しなどの取組面積の増により、環境保全型農業直接支払交付金の取組面積が増えたほか、有機JAS認証取得事業補助金の申請が1件あった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 環境保全型農業直接支払交付金制度が令和7年度事業から見直され、一部の取組が多面的機能支払補助金に移管されたことから、農業者に混乱を生じさせないように事業内容を周知していく。
- ・ 有機農業の推進に当たっては、除草対策を始めとする生産面の課題への対応と取組農業者数の拡大のほか、生産コストを反映した価格への理解や有機食品の価値、有機食品であることが判別できる表示方法などを消費者に対して正確に伝えていくことが必要となる。引き続き、「有機」、「オーガニック」などの名称を表示する際に必要となる有機JAS認証を取得する農業者を支援するとともに、研修会等を通じて農業者が有機農業を知る機会を設けるほか、イベント等での周知を通じて農業者及び消費者の有機農業に対する関心度を高めていく。
- ・ 国際水準GAP認証取得事業補助金の申請件数が少ない状況にあることから、研修会等で、認証制度の意義等を農業者に対し周知する。

【執行残額について】

- ・ 事業未実施：実証ほ場における水稻研修会が生育の影響により未実施となったため 16
- ・ その他：河川カメムシ類防除対策事業委託料、環境保全型農業直接支払交付金等の実績が当初の見込みを下回ったため 4,257

(単位：千円)

決算書 (P240～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	園芸振興事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
218,034	1,728		1,455			273
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
215,722	584				584	

## 【目的】

水稻単一経営から複合経営への転換を促進し、収益性の高い園芸の導入による経営基盤の強化を図るとともに、園芸の産地化に向けた取組を支援する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■園芸振興事業 273

## ○令和6年度目標

- ・本事業の活用による園芸作付拡大面積 0.2ha以上

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・園芸振興事業費補助金 (78)

作付面積の拡大、収益性の高い園芸産地の育成及び複合経営の強化を図るため、園芸品目の導入等に必要な生産資材等の購入経費の一部を支援した。

事業主体	品目	申請対象 農業者数 (件)	本事業に よる拡大 面積 (ha)	補助率	補助金額
えちご上越農業協同組合	アスパラガス	1	0.20	1/2	78

- ・ぶどう園緊急降雪促進対策事業費補助金 (195)

令和7年の大雪の影響を受けて春の農作業への支障が懸念されるぶどう園に対し、農作物の安定生産を図るため、降雪促進対策に要する経費の一部を支援した。

事業主体 (団体数)	申請団体数	補助率	補助金額
上越地域ぶどう産地協議会の構成員のうち、市内に事業所を有する団体・法人等	1	1/2	195

決算書 (P240～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	園芸振興事業		

○目標達成状況

- ・本事業の活用によるアスパラガスの生産拡大面積は0.2haであり、目標を達成できた。

■農林県単事業費補助金（園芸振興） 1,455

○実施内容、これまでの経過等

- ・園芸生産促進事業費補助金 (1,455)

園芸の生産拡大や高付加価値化、低コスト化に必要な施設等の整備に要する経費の一部を支援した。

地区	事業主体	事業内容	補助率	補助金額
頸城区	えちご上越 農業協同組合	パイプハウス（アスパラガス） 1棟 かん水設備 一式	4.5/10 3/10	1,455



[パイプハウス]



[かん水設備（ポンプ）]

【事業の成果】

- ・県や市の支援制度の活用を促した結果、園芸振興品目の取組面積の拡大につなげることができた。
- ・令和7年の大雪の影響を受けたぶどう園に対し、消雪促進対策に要する経費の一部を迅速に支援したことで、令和7年産の春作業の大幅な遅れを防ぐことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・園芸作物の安定生産に不可欠なほ場の排水対策の徹底を図るため、生産者への排水技術の周知について、引き続き、関係機関・団体と連携して取り組む必要がある。
- ・えちご上越農業協同組合が農業振興計画に掲げる「えだまめ」「ブロッコリー」「ねぎ」「アスパラガス」の産地強化を関係機関と連携して推進し、上越産ブランド力の向上や所得確保に取り組む必要がある。
- ・ほ場の効率的な利用と農業所得の向上に向けて園芸二毛作の取組拡大を図るため、えだまめの後作利用が可能なブロッコリーの生産を推進するとともに、引き続き、えだまめの後作として栽培が可能で安定的な生産・販売が可能な品目を、関係機関・団体と連携して検討していく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：園芸生産促進事業費補助金、園芸振興事業費補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 584

(単位：千円)

決算書 (P242～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	中山間地域等活性化対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
660,944	654,269		468,030	700		185,539
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	6,675		1,000	142	5,533	

**【目的】**

中山間地域農業の維持・振興を図るため、各地域が主体的に進める「将来ビジョン」の取組を資金と人材育成の両面で後押しするとともに、棚田地域の価値や魅力の発信に加え、棚田米の販売促進活動等の取組を一層推進する。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

■中山間地域等直接支払交付金 626,862

○令和6年度目標

- ・中山間地域等直接支払交付金の集落協定等が行う農業生産活動や共同取組活動などを支援するとともに、協定農用地の将来像等を明確にする「集落戦略」の作成と実践段階への移行が円滑に進むよう、集落協定への指導・助言などのサポートを行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・集落等の取決め(協定)に基づく農業生産活動や農道・水路の維持管理などの共同取組活動を支援したほか、集落協定参加者の話し合いによる協定農用地の将来像や集落の現状を踏まえた対策などを明確にする「集落戦略」の作成と実践を指導・助言した。

取組協定数：集落協定75、個別協定14

協定期間：令和2年度から令和6年度までの5年間(第5期対策)

取組面積：2,760 ha

決算書 (P242～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	中山間地域等活性化対策事業		

<内訳>

区分	令和5年度 (第5期4年目)			令和6年度 (第5期5年目)		
	協定数	面積 (ha)	交付金額	協定数	面積 (ha)	交付金額
傾斜農用地等交付金 小計	87	2,731	461,409	89	2,760	464,673
急傾斜 (1/20 以上)		1,868	392,376		1,876	393,935
超急傾斜 (1/10 以上)		857			857	
緩傾斜 (1/100 以上) 等		863	69,033		884	70,738
加算措置 小計※	45	2,817	144,555	45	2,772	153,284
棚田地域振興活動加算	16	860	98,818	16	923	106,990
超急傾斜農地保全管理加算	10	474	28,162	10	428	25,393
集落協定広域化加算	5	634	5,190	5	634	8,215
集落機能強化加算	8	534	7,545	8	472	6,803
生産性向上加算	6	315	4,840	6	315	5,883
合計			605,964			617,957

※加算措置の小計は延べ数値



〔 棚田地域振興活動加算を活用した  
買い物支援 (大島区) 〕



〔 生産性向上加算を活用した  
ドローンの導入 (高土区) 〕

○目標達成状況

- ・ 交付金額の試算結果等を用いて集落に働きかけた結果、新たに2集落が取組を開始したほか、既存の集落協定においても対象農用地の追加があったことから、取組面積が前年度比29ha増の2,760haに拡大した。
- ・ また、既存の集落協定に属する2集落において、新たに棚田地域振興活動計画が策定され取組を開始した。
- ・ 集落協定参加者の話し合いをサポートし、全ての集落協定で「集落戦略」を作成するとともに、課題の解決に向けた実践を指導・助言した。

決算書 (P242～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	中山間地域等活性化対策事業		

■中山間地域元気な農業づくり推進事業 19,155

○令和6年度目標

- ・各地域における「将来ビジョン」の実現に向けた取組の後押しや条件不利農地における作物転換の取組推進により、農業生産活動の維持と農地の保全を図るとともに、首都圏等における上越産の棚田米の認知度向上を図るため、当市独自のPR動画等を作成し、独自性のある積極的な販売促進活動を展開する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 将来ビジョン実践事業費補助金 (2,253)

各地域が主体的に進める「将来ビジョン」の実現に向けて、本格的な実施に先立って行う準備や試行的な取組を支援した。

- ・事業主体：3戸以上で組織する団体（農業者を1戸以上含む）
- ・補助対象経費：「将来ビジョン」に掲げた取組の実現に向けた研修、試験的な栽培・加工、機械の借上げなどに要する経費
- ・補助額：経費の実費相当額  
(取組1年目の上限500千円、取組2年目の上限250千円)

・取組内容

区分	実施地域	取組内容（主なもの）	金額
1年目	安塚区	・いちじく栽培に先進的に取り組む法人等を視察 ・いちじくの試験栽培と栽培技術指導会の実施	498
	浦川原区	・畦畔管理の省力化に取り組む先進地を視察 ・畦畔における芝の試験栽培と播種作業見学会の実施	496
	柿崎区	・地域の仲間づくりに取り組む先進地を視察 ・干し柿の安定生産と販売に向けた資機材を試験導入 ・スマート農業機械実演会の実施	269
	板倉区	・乾そばの商品化に向けたパッケージの作成と試験販売	500
2年目	谷浜・桑取区	・独自の定住マニュアル作成に向けて先進地を視察 ・交通会館マルシェ（雪國商店ブース）（東京都）に出店し農産物のPRを実施 ・機械の共同利用についてアンケート調査を実施	240
	名立区	・「そばまつり」の開催	250

決算書 (P242～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	中山間地域等活性化対策事業		

(2) 中山間地域元気な農業づくり推進員による活動支援 (12,380)

農業の専門的な知識を有する中山間地域元気な農業づくり推進員が、それぞれ担当する地域に寄り添いながら、将来ビジョンの実現に向けた取組をサポートするとともに、山菜、そば等の振興作物の栽培指導・助言を行った。

・推進員の配置：4人



「畦畔における芝の試験栽培を指導  
(浦川原区)」



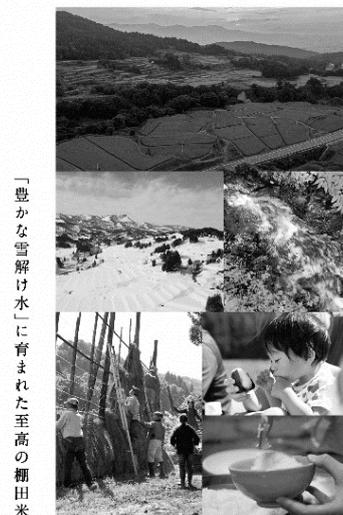
「新たにそばを作付けする農地の確認  
(名立区)」

(3) 棚田米の販売促進活動等の取組 (3,326)

上越市棚田米の販売促進や関係人口、交流人口の創出に向けた具体的な取組の方向性や行動計画を「棚田米販売促進戦略」として策定したほか、首都圏等において棚田米の認知度向上に向けた宣伝活動を展開するため、市独自のPR動画やポスターを作成するとともに、意欲ある農業者等が行うマーケティング活動を支援した。



[PR動画：2分40秒]



「日本一の棚田」で

Joetsu-shi nagata-mai

上越市棚田米

[ポスター：A1サイズ]

決算書 (P242～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	中山間地域等活性化対策事業		

・農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金

区 分		補助率	令和5年度		令和6年度	
			件 数	補助金額	件 数	補助金額
中山間地 域農業枠	販売農家	2/3	-	-	-	-
	認定農業者、 認定新規就農者		3件	553	4件	1,175
	農業者3者以上 で構成する団体		5件	1,014	5件	757
合 計			8件	1,567	9件	1,932

(4) 中山間地域振興作物生産拡大事業補助金 (713)

農地の保全と農業生産活動を維持するため、水稻の作付けが困難となった農地に、山菜やそば等の振興作物を継続して栽培する農業者等を支援した。

- ・事業主体：農家組合、農業者3戸以上で構成する団体等
- ・補助対象経費：農地の再生作業（排水対策、深耕等）、営農定着作業（営農資機材の調達等）及び種苗の購入に要する経費
- ・補助額：①再生・営農定着作業：経費の実費相当額（上限75千円/10a）  
②種購入費：経費の実費相当額（上限8千円/10a）  
③苗購入費：経費の実費相当額（上限100千円/10a）

・事業内容

区 分	令和5年度	令和6年度
申請件数	6件	1件
対象面積(ha)	2.6	0.9
そば	2.0	0.9
山菜	0.2	0
小麦	0.2	0
その他野菜	0.2	0

○目標達成状況

- ・「将来ビジョン」の実現に向けて、本格的な実施に先立って行う各地域の特色に応じた取組をサポートしたほか、中心的役割を担う組織の構築等を支援し、今後の取組継続につなげることができた。
- ・上越市棚田米の認知度向上に向けて、農業者や消費者、関係機関等が参画する棚田米販売促進戦略プロジェクトチームの意見を基に、農作業風景や伝統文化等のシーンを入れたPR動画等の販売促進資材を作成することができた。

決算書 (P242～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	中山間地域等活性化対策事業		

■ 棚田地域振興事業 349

○ 令和6年度目標

- ・ 棚田地域振興法に基づく地域振興活動の促進と来訪者との交流機会を創出するため、新たに取組を開始する2地域の「棚田カード」を作成するとともに、既存の18地域の棚田カードや棚田マップ、市ホームページ等を活用して、棚田地域の情報や魅力等を積極的に発信する。

○ 実施内容、これまでの経過等

(1) 棚田地域振興協議会の運営等 (149)

- ・ 18地域の地区協議会の活動状況を確認し、活動計画の目標達成に向けて助言等を行った。
- ・ 棚田地域振興協議会総会において、各地域の活動状況を共有するとともに、関係機関・団体と意見交換を行ったほか、漬物加工等の特色ある取組を行う地域の活動拠点施設を視察した。

(2) 棚田地域の情報発信 (200)

- ・ 18地域における活動状況やイベント情報を市ホームページに掲載したほか、新たに2地域の「棚田カード」を作成し、情報や魅力等を積極的に発信した。

<新たに作成した棚田カード>



[棚田新田の棚田 (牧区)]



[高尾の棚田 (牧区)]

<市内全20地域の棚田カード>

地域自治区名	棚田名
金谷区	角間の棚田 (県作成)、正善寺の棚田
安塚区	おぐろの棚田、樽田の棚田
大島区	蓮野の棚田 (県作成)、菖蒲東の棚田、上達の棚田、旭の棚田
牧区	岩神・折居の棚田、泉の棚田、棚広の棚田、棚広新田の棚田、高尾の棚田
柿崎区	黒川・黒岩の棚田
吉川区	川谷もよりの棚田、大賀の棚田
板倉区	筒方の棚田
清里区	櫛池の棚田
名立区	名立区中部地区の棚田、瀬戸・東飛山の棚田

○ 目標達成状況

- ・ 上越市棚田地域振興協議会において、活動状況の共有や活動拠点施設の視察を実施し、各地域の活動意欲の醸成につなげたほか、全20地域の棚田カードの配布や市ホームページ等を活用し、棚田地域の情報や魅力等を積極的に発信することができた。

決算書 (P242～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	中山間地域等活性化対策事業		

■緊急消雪促進対策事業費補助金 824

○令和6年度目標

- ・農業者が組織する団体等が行う消雪促進対策に要する経費を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

消雪の遅れによる農業生産への影響を防止するため、農業者団体が行う育苗用地等の消雪促進対策を支援した。

- ・事業主体：共同で消雪促進対策を行う集落、農家組合及び3戸以上の農業者で組織する団体
- ・事業内容

①令和6年4月1日以降に実施した消雪作業への支援 (392)

事業区分	件数	事業量	補助率	補助金額
育苗用地等の機械除雪（積雪深 150 cm未満）	3件	51.9a	5/10以内	130
耕作道（育苗用地等）の機械除雪	1件	0.1km	10/10以内	6
耕作道（水稲本田）の機械除雪	2件	7.76km	5/10以内	256
計	6件	—	—	392

②令和7年3月中に実施した消雪作業への支援 (432)

事業区分	件数	事業量	補助率	補助金額
育苗用地等の機械除雪（積雪深 150 cm以上）	3件	112.6a	5/10以内	432

■農林県単事業費補助金（中山間地域） 5,815

○実施内容、これまでの経過等

- ・地域の生産体制整備に向けた農業機械の整備に要する経費を支援した。

地区名	事業主体	事業内容	補助率	補助金額
板倉区	農地所有適格法人	・ロータリー 1台 ・野菜播種機 1台 ・施肥播種機 1台 ・リバーシブルプラウ 1台	1/3以内	1,678
清里区	農地所有適格法人	・コンバイン 1台	1/3以内	4,137
計				5,815

■地域独自の予算事業 1,264

- ・「棚田のきらめき」事業（牧区）（1,147）
- ・棚田と里山を取り巻く生物多様性の保全と利活用事業（吉川区）（117）

決算書 (P242～P243)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	中山間地域等活性化対策事業		

#### 【事業の成果】

- ・中山間地域等直接支払交付金の取組対象と考えられる集落への継続的な働きかけが取組面積の拡大につながり、中山間地域農業の持つ多面的機能の維持・発揮、荒廃農地の発生防止に寄与することができた。
- ・各地域が主体的に進める「将来ビジョン」の実現に向けて、特色ある取組が展開されており、令和7年度以降への継続的な取組につながった。
- ・棚田米販売促進戦略プロジェクトチームにおいて、棚田米の販売促進や関係人口、交流人口の創出に向けた具体的な取組の方向性や行動計画を「商品づくり」、「つながり」、「情報発信」の三つの柱で構成する「棚田米販売促進戦略」として取りまとめ、令和7年度以降の取組推進につなげることができた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・中山間地域振興作物生産拡大事業補助金について、そば等の作付け希望が少なく、令和5年度に比べて申請実績が減少したため、中山間地域等直接支払交付金の第6期対策への移行に合わせて、事業を活用した振興作物の作付けを推進し、農地の保全と農業生産活動の継続を支援する必要がある。

#### 【執行残額について】

- ・事業未実施：将来ビジョンの実現に向けた具体的な取組の検討に時間を要し、2つの地域が将来ビジョン実践事業費補助金の活用を見合わせたため 1,000
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 142  
印刷製本費（142）
- ・その他：中山間地域振興作物生産拡大事業補助金、緊急消雪促進対策事業費補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 5,531  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P242～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農業・農村ネットワーク事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
14,472	14,077				593 (使用料、謝収)	13,484
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	395			138	257	

## 【目的】

地場農産物を使用した加工体験教室の開催や加工品製造、販売等により、生産者と消費者との交流を促進し、地産地消を推進する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■農業・農村ネットワーク事業(正善寺工房) 9,973

○令和6年度目標

- ・加工体験教室参加者数 550人
- ・イベント参加者数 1,400人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字下正善寺1027番地2
設置	平成11年度
構造	鉄骨造平屋建
面積	449.52㎡
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	5,416人	5,569人	-	4,309人
加工体験参加者数	473人	493人	550人	449人
イベント参加者数	1,226人	1,766人	1,400人	1,475人
その他来館者数※	3,717人	3,310人	-	2,385人

※その他来館者数の計画値については、周辺施設等からの立ち寄りも含まれ、他の行事の影響を受けることから、設定していない。

決算書 (P242～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農業・農村ネットワーク事業		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	55	50	52	48
	その他	592	526	564	545
	合計	647	576	616	593
②支出	施設維持管理費	7,909	7,721	10,358	9,973
	うち委託料	4,474	4,652	6,644	6,460
	その他	-	-	-	-
	合計	7,909	7,721	10,358	9,973
③公費投入額 (②-①)		7,262	7,145	9,742	9,380
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		1,341	1,283	-	2,177

○目標達成状況

- ・加工体験教室参加者数目標 550 人に対し、449 人となり目標を 101 人下回ったものの、体験教室を通じて、地場農産物の認知度の向上を図ることができた。
- ・イベント参加者数目標 1,400 人に対し、75 人上回る 1,475 人となり、生産者と参加者の交流を促進することができた。

■正善寺工房を活動拠点とする地域おこし協力隊員の委嘱 427

○令和6年度目標

- ・食と農を通じた地域協力活動を展開するため、地域おこし協力隊員 1 人を委嘱する。

○目標達成状況

- ・正善寺工房を活動拠点とする地域おこし協力隊員の募集を行い、1 人を委嘱し、地場農産物や地域資源を活かした中山間地域の活性化を図った。

■頸城区農業・農村ネットワーク事業 (くびき食彩工房) 4,104

○令和6年度目標

- ・施設利用者数 1,600 人 (うち加工体験教室参加者数 110 人)

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	頸城区百間町 2076 番地 2
設置	平成 16 年度
構造	木造平屋建
面積	168.93 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

決算書 (P242～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農業・農村ネットワーク事業		

・指定管理の状況

導入開始年度	平成16年度
指定管理者	特定非営利活動法人くびき来夢ネット
指定の期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	1,392人	1,439人	1,600人	1,378人
うち加工体験教室参加者数	117人	100人	110人	85人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			予算現額	実 績
①収入	-	-	-	-
②支出	くびき食彩工房 管理運営委託料	3,651	3,651	3,928
	エネルギー価格 高騰補填金※	38	-	-
	その他	110	2,034	186
	合計	3,799	5,685	4,114
③公費投入額(②-①)	3,799	5,685	4,114	4,104
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	2,729	3,951	2,571	2,978

※エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したものの

○指定管理者の収支状況等

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
①収入	利用料金収入	228	241	250
	くびき食彩工房 管理運営委託料	3,651	3,651	3,928
	エネルギー価格 高騰補填金	38	-	-
	合計	3,917	3,892	4,178
②支出	3,806	3,883	4,178	4,151
差引(①-②)	111	9	0	△15

決算書 (P242～P245)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農業・農村ネットワーク事業		

○目標達成状況

- ・施設利用者数目標 1,600 人（うち加工体験教室参加者数 110 人）に対し、222 人下回る 1,378 人（うち加工体験教室参加者数 85 人）となり、目標を達成することができなかったが、イベントや加工体験教室を通して、利用者間の交流や地場農産物の認知度の向上を図ることができた。

【事業の成果】

- ・正善寺工房及びくびき食彩工房では、地場農産物を使用した加工品の製造や加工体験教室、地場農産物の消費拡大及び施設の利用促進を図るイベントを開催したことにより、地域の食文化・伝統技術の継承や地産地消の推進に寄与することができた。
- ・正善寺工房を拠点に活動する地域おこし協力隊 1 人を配置することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・正善寺工房及びくびき食彩工房では、利用者数やイベント参加者数が令和 5 年度と比較して、減少していることから、広報上越や SNS 等の媒体を使った情報発信を行うほか、地域おこし協力隊員と連携し、新たなイベントを計画するなど、新規の参加者や利用者の誘客に努める。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 138  
修繕料 (138)
- ・その他：光熱水費、地域おこし協力隊業務委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 255  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	水田農業推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
455,732	283,121		274,083		2,478 (繰入金)	6,560
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
73,212	99,399	66			99,333	

## 【目的】

持続的な水田農業の確立に向けて、「需要に応じた米生産」及び「戦略作物等の生産振興」等に取り組む上越市農業再生協議会の円滑な業務を支援するほか、農作業の省力化と生産コストの低減に資するスマート農業の普及を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■経営所得安定対策等推進事業 30,017

○実施内容、これまでの経過等

- ・経営所得安定対策等推進事業費補助金 (29,050)

上越市農業再生協議会が行う農業の担い手に対する経営所得安定対策等の推進活動や需要に応じた振興作物の生産方針等の策定、各種補助事業などに要する事務的経費を支援した。

- ・農業再生協議会等活動支援事業費補助金 (881)

上越市農業再生協議会が行う新潟米基本戦略の実現に向けた取組や認定方針作成者への適切な生産目安の提示などに要する事務的経費を支援した。

- ・畑地化促進事業費補助金 (86)

農業者が水稻から畑作物へ転換を図る際に生じる土地改良区決済金について上越市農業再生協議会を通じて支援した。

## &lt;経営所得安定対策の交付実績&gt;

区分	令和5年度			令和6年度		
	件数 (件)	対象面積 (ha)	交付金額	件数 (件)	対象面積 (ha)	交付金額
水田活用の直接支払交付金	3,391	4,358.66	1,431,377	2,944	3,910.50	1,049,413
畑作物の直接 支払交付金	(数量払)	66	0	68	0	8,849
	(面積払)	224	478.04	172	359.99	71,284
米・畑作物の収入減少影響緩和交付金	507	3,670.53	247,926	2	0.48	9
合計	4,188	8,507.23	1,776,530	3,186	4,270.97	1,129,555

※上越市農業再生協議会からの提供データ

※数値はいずれも延べ数

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	水田農業推進事業		

※水田活用の直接支払交付金は、主に飼料用米と大豆の作付が減少したため、令和5年度と比較して交付金額が減少している。

※畑作物の直接支払交付金は、大豆とそばの作付が減少したため、令和5年度と比較して交付金額が減少している。

※米・畑作物の収入減少影響緩和交付金は、米価の上昇により令和6年産の収入額が標準的収入額を上回ったことにより、米に関する補てんがなかったことから、令和5年度と比較して交付金額が減少している。

<参考：主な経営所得安定対策について>

・水田活用の直接支払交付金

水田を最大限に有効活用し、飼料用米、麦、大豆などの戦略作物や、地域で作成する水田収益力強化ビジョンに基づく、地域の特色ある農産物を販売目的で生産する農業者に対して、対象作物等に応じて直接交付する制度。

・畑作物の直接支払交付金（通称：ゲタ対策）

諸外国との生産条件の格差により不利がある国産農産物（麦、大豆、そば等）の生産・販売を行う農業者に対して、「標準的な生産費」と「標準的な販売価格」の差額分に相当する金額を直接交付する制度。交付方法には、生産量と品質に応じて交付する「数量払」と、作付面積に応じて交付する「面積払」（数量払の先払い）の2つがある。

・米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（通称：ナラシ対策）

農業経営のセーフティネットであり、米及び畑作物（麦、大豆等）の価格下落等の際に、「当年産収入額」と「標準的収入額」の差額の9割を補てんする制度。

※いずれの交付金も国から農業者へ直接交付される。ゲタ及びナラシ対策の交付対象者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者のみ。

<作物別作付面積>

(単位：ha)

作物	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全水稲作付面積 合計	12,120	12,262	12,247	12,169	12,160
主食用米	11,146	10,506	10,257	10,447	10,724
加工用米	456	590	593	541	512
備蓄用米	41	85	29	15	56
飼料用米	175	776	1,025	886	560
米粉用米	190	188	210	134	112
輸出用米	81	92	98	95	117
WCS用稲（稲発酵粗飼料）	31	29	35	51	79
麦	1	1	1	5	8
大豆	384	383	344	318	249
そば	176	186	185	183	169
飼料作物	20	15	15	12	11
えだまめ等	86	86	79	80	81

※上越市農業再生協議会からの提供データ

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	水田農業推進事業		

<主な水稲品種の作付面積>

品種	作付面積 (ha)		作付面積全体に占める品種別割合 (%)	
	令和5年産	令和6年産	令和5年産	令和6年産
コシヒカリ	5,253	6,147	47.9	50.8
こしいぶき	1,395	1,465	12.7	12.1
みずほの輝き	1,162	1,026	10.6	8.5
つきあかり	1,005	919	9.2	7.6
にじのきらめき	598	735	5.5	6.1
その他	1,554	1,811	14.1	14.9
合計	10,967	12,103	100.0	100.0

※えちご上越農業協同組合からの提供データ

※令和6年産は、えちご上越農業協同組合とひすい農業協同組合の合併により、糸魚川地域分も含む。

■スマート農業推進事業 3,792

○令和6年度目標

- ・省力・低コスト栽培の実演見学会を開催し、スマート農業の普及拡大を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・スマート農業機械実演見学会の開催 (10)

生産コストの低減や作期分散(高温対策)につながる直播栽培を推進するため、作業の省力化に資するスマート農業技術(自動操舵システム)と組み合わせた「水稲V溝乾田直播栽培」の実演見学会を開催した。

開催日：令和6年4月30日(火)

参加者数：約100人

会場：板倉区高野地内



[水稲V溝乾田直播栽培の実演]



[播種後の状態]

- ・中山間地域農業省力化推進事業費補助金 (3,634)

<ドローンの導入補助> (3,000)

事業主体：市内に住所を有する3人以上の農業者で構成する団体で、中山間地域(上越市中山間地域振興基本条例の指定地域)に10ha以上の経営面積を有すること。また、新潟県農林水産業総合振興事業の補助要件を満たさないこと。

補助率：補助対象経費に3分の1を乗じて得た額

農業のための実施に加え、地域活性化その他の目的に活用する場合は補助対象経費に2分の1を乗じて得た額

※いずれの場合も補助金の上限額は1,000千円/台

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	水田農業推進事業		

<ドローンの飛行技術の習得補助> (634)

事業主体：市内に住所を有する農業者。ただし、中山間地域（上越市中山間地域振興基本条例の指定地域）で10ha以上の経営面積を有すること。

補助率：補助対象経費に3分の1を乗じて得た額

農業のための実施に加え、地域活性化その他の目的に活用する場合は補助対象経費に2分の1を乗じて得た額

※いずれの場合も補助金の上限額は150千円/人

<令和6年度の補助金交付実績>

地区名	事業主体	事業内容		補助率	補助金額
		ドローン	操縦資格取得		
柿崎区	農業者3人以上で構成する団体	1台	1人	1/2	1,137
浦川原区	農業者3人以上で構成する団体	1台	3人		1,347
板倉区	農業者3人以上で構成する団体	1台	1人		1,150
合計		3台	5人		3,634

○目標達成状況

- ・水稲V溝乾田直播栽培の実演見学会の開催や、市独自のドローン導入や飛行技術習得に係る経費の支援により、スマート農業の普及を図ることができた。

■農林県単事業費補助金（水田農業） 54,178

○実施内容、これまでの経過等

- ・農産物の生産コストが増加している農業者の経営の安定化を図るため、燃油使用量又は肥料費の低減に資する農業用機械等の導入に係る経費の一部を支援した。

地区名	事業主体（借受者）	事業内容	補助率	補助金額
合併前 上越市	農地所有適格法人	コンバイン1台	5/10	6,786
	農地所有適格法人	コンバイン1台	5/10	7,672
	民間リース会社 (借受者：認定農業者)	ドローン1台	5/10	776
	農地所有適格法人	トラクター1台	5/10	4,535
	民間リース会社 (借受者：認定農業者)	トラクター1台 自動操舵装置1台	5/10	5,640
	農地所有適格法人	田植機1台 ドローン1台	5/10	2,746
	農地所有適格法人	ドローン1台	5/10	1,644

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	水田農業推進事業		

地区名	事業主体（借受者）	事業内容	補助率	補助金額
大潟区	民間リース会社 (借受者：認定農業者)	乾燥機1台	5/10	1,030
頸城区	農地所有適格法人	ドローン1台	5/10	1,514
	農地所有適格法人	コンバイン1台	5/10	7,850
	民間リース会社 (借受者：認定農業者)	トラクター1台	5/10	3,427
吉川区	農地所有適格法人	田植機1台	5.5/10	2,799
	農業者等の組織する団体	トラクター1台	5.5/10	4,779
板倉区	農地所有適格法人	ドローン1台	5.5/10	1,480
三和区	農地所有適格法人	田植機1台	5.5/10	1,500
合計	15 経営体			54,178

※中山間地域等の場合は補助率 5.5/10

■共同利用施設災害復旧事業 5,246

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和6年能登半島地震で被災した、えちご上越農業協同組合が所有する共同利用施設について国の補助制度に市独自の上乘せを行い支援した。

地区名	施設名	事業内容	補助率 (市上乘せ分)	補助金額
合併前	上越カントリーエレベーター	建物および設備の復旧	1/6	475
	長面ラック倉庫	設備の復旧	1/6	1,347
柿崎区	柿崎カントリーエレベーター	建物及び設備の復旧	1/6	2,391
	柿崎倉庫	建物及び設備の復旧	1/6	906
吉川区	吉川カントリーエレベーター	設備の復旧	1/6	127
合計	5 施設			5,246

※国庫補助分については、国の対象経費の査定に基づき別途 15,346 千円が県を通じて事業主体に補助されており、市は経由していない。

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	水田農業推進事業		

■強い農業づくり総合支援事業 189,888

○実施内容、これまでの経過等

- ・農産物の安定生産及び生産コストの低減による農業者の所得向上を図るため、えちご上越農業協同組合が新設する米の乾燥調製施設の整備に係る経費の一部を支援した。

事業主体	えちご上越農業協同組合
整備内容	穀類乾燥調製施設（ライスセンター） 1棟
建設場所	上越市岡原地内（えちご上越農業協同組合岡原倉庫敷地内）
規模等	鉄骨造2階建て、延床面積：1,004.95 m <sup>2</sup> 、計画処理量：玄米 1,032 t
受益地区	和田・三郷地区
補助率	建築工事 1/3、製造請負工事 1/2（集じん設備 1/3）
補助金額	189,888



[外観]



[内観]

【事業の成果】

- ・農業所得の向上に向けて、関係機関等と連携し「需要に応じた米生産」と「戦略作物等の生産振興」を推進したほか、国や県の物価高騰などへの支援策を活用し農業者の経営を支援した。
- ・スマート農業技術の開発・実証プロジェクト（令和元年度～2年度）を行った農事組合法人（板倉区）と連携し、5団体、58人の視察の受入れを行ったほか、水稻V溝乾田直播栽培の実演見学会や市独自のドローンの導入・飛行技術習得への補助を実施し、スマート農業の更なる普及を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・国の「食料・農業・農村基本計画」において、令和9年度からの水田政策を根本的に見直すこととしていることから、国の動向を注視していく必要がある。
- ・引き続き、関係機関等と連携して、生産性の高い水田農業の実現に向けた取組を実施するとともに、持続可能な地域農業に必要な対策を検討していく必要がある。
- ・繰越しとなった新基本計画実装・農業構造転換支援事業補助金について、引き続き関係機関等と連携し、事業完了に向けて適切な支援に努める。

【執行残額について】

- ・事業費節減：オンラインでの会議出席による有料道路使用料等の節減 66
- ・その他：強い農業づくり総合支援交付金（繰越明許）、省エネルギー対応農業生産条件整備支援事業費補助金（繰越明許）等の実績が当初の見込みを下回ったため 99,333

(単位：千円)

決算書 (P244～P245)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	安塚地域産業振興施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,788	8,621				971 (使用料、謝収)	7,650
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	167			156	11	

## 【目的】

地域の農林産物や加工品の販売などによる交流の促進、地域の農林産物の産地化・ブランド化の推進のほか、誘客、交流人口の拡大により地域の賑わいを創出し、農家所得の向上と地域の活性化に寄与する。

## 令和 6 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■雪だるま物産館 5,046

○令和6年度目標

- ・雪だるま物産館利用者数 72,700 人
- ・樽田そば処利用者数 7,700 人
- ・雪中貯蔵施設利用率 55.0%

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	安塚区樽田 140 番地
設置	平成 7 年度
構造	鉄筋コンクリート造平屋建
面積	426.15 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 16 年度
指定管理者	手づくり百人協同組合
指定の期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	安塚地域産業振興施設管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	71,088人	71,184人	72,700人	68,412人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実 績	
①収入	400	385	379	336	
②支出	雪だるま物産館管理 運営委託料	2,180	2,000	3,184	3,184
	再算定による 増減額※1			284	284
	エネルギー価格高騰 補填金※2	115	-	-	-
	その他	1,263	1,690	1,872	1,862
	合計	3,558	3,690	5,056	5,046
③公費投入額 (②-①)	3,158	3,305	4,677	4,710	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	44	46	64	69	

※1 収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	2,795	2,686	2,860	2,615
	雪だるま物産館管理 運営委託料	2,180	2,000	3,190	3,184
	エネルギー価格高騰 補填金	116	-	-	-
	その他	24,576	26,057	28,380	30,373
	合計	29,667	30,743	34,430	36,172
②支出	30,301	33,002	34,299	36,649	
差引 (①-②)	△634	△2,259	131	△477	

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	安塚地域産業振興施設管理運営費		

■樽田そば処「雪むろそば家小さな空」 1,132

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	安塚区樽田 156 番地
設置	平成 15 年度
構造	木造平屋建
面積	192.11 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	農事組合法人ながくら
指定の期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			計画	実績
利用者数	7,580 人	7,808 人	7,700 人	8,128 人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			予算現額	実績
①収入	-	-	-	-
②支出	樽田そば処管理運営委託料	331	-	-
	エネルギー価格高騰補填金※	94	-	-
	その他	341	1,288	1,132
	合計	435	3,475	1,288
③公費投入額 (②-①)	435	3,475	1,288	1,132
④利用者 1 人当たりの公費投入額 (単位:円)	57	445	167	139

※エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	安塚地域産業振興施設管理運営費		

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	-	-	-	-
	樽田そば処管理運営委託料	-	331	-	-
	エネルギー価格高騰補填金	94	-	-	-
	その他	10,393	9,832	10,010	10,883
	合計	10,487	10,163	10,010	10,883
②支出		10,487	9,066	10,009	11,536
差引(①-②)		0	1,097	1	△653

■雪中貯蔵施設「ユキノハコ」 1,840

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	安塚区樽田158番地
設置	令和2年度
構造	木造2階建
面積	432.31 m <sup>2</sup>
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

・利用率

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計 画	実 績
パレット	利用延べ日数A	6,665日	6,411日	-	6,738日
	利用可能延べ日数B	10,950日	10,980日	-	10,950日
	利用率A/B×100	60.9%	58.4%	-	61.5%
かご台車	利用延べ日数C	880日	1,551日	-	1,454日
	利用可能延べ日数D	3,650日	3,660日	-	3,650日
	利用率C/D×100	24.1%	42.4%	-	39.8%
合計	E(A+C)	7,545日	7,962日	-	8,192日
	F(B+D)	14,600日	14,640日	-	14,600日
	利用率E/F×100	51.7%	54.4%	55.0%	56.1%

※利用可能延べ日数の算出方法 パレット：30枚×日数  
かご台車：10台×日数

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	安塚地域産業振興施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	778	919	802	636
	その他	-	-	-	-
	合計	778	919	802	636
②支出	施設維持管理費	1,398	2,483	1,841	1,840
	うち委託料	964	965	1,416	1,416
	その他	-	-	-	-
	合計	1,398	2,483	1,841	1,840
③公費投入額 (②-①)		620	1,564	1,039	1,204
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

○目標達成状況

- ・雪だるま物産館利用者数目標 72,700 人に対し、4,288 人下回る 68,412 人となり、目標を達成することができなかったが、地域の農林産物や加工品の販売などにより交流の促進を図ることができた。
- ・樽田そば処利用者数目標 7,700 人に対し、428 人上回る 8,128 人となり目標を達成し、地域の農林産物の産地化・ブランド化の推進に寄与することができた。
- ・米・そばの新規利用があったことなどから、雪中貯蔵施設利用率目標 55.0% に対し、1.1 ポイント上回る 56.1% となり、目標を達成することができた。

■地域独自の予算事業 603

- ・やすづか「小さな祭り」開催事業 (安塚区)

【事業の成果】

- ・雪だるま物産館の利用者数は計画に届かなかったものの、ゴールデンウィークに「山菜まつり」のほか、10 月には「新米まつり」の開催に際し、チラシの配布場所を増やすとともに SNS を活用した PR に力を入れ、にぎわいの創出と誘客促進を図ることができた。
- ・樽田そば処は、利用者数が計画を上回り、令和 5 年度との比較では 320 人増えた。また、手打ちそばや地元食材を利用した料理の提供を通じ、地産地消を推進することができた。
- ・雪中貯蔵施設の利用率は、令和 5 年度と比較して 1.7 ポイント増の 56.1% となった。また、越後田舎体験の参加者や観光客など延べ 481 人の施設見学者が訪れ、雪国の歴史・文化や雪中貯蔵の効果などに関する情報を発信することができた。

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	安塚地域産業振興施設管理運営費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・売上が減少する冬期間の集客を増やすため、道の駅「雪のふるさとやすづか」を構成する3つの施設と、区内の観光施設等が相互に連携して、誘客イベントに取り組み、認知度の向上を図っていく。
- ・観光対応型として整備した雪中貯蔵施設は、施設見学を通じて、雪国の文化や歴史を学び、雪の冷気を体感できることから、SNS等を活用した情報発信を行うほか、誘客イベントや越後田舎体験事業と連携して見学者数の増加に取り組む。また、雪中貯蔵の効果とともに雪室を利用した有利販売の方法などを継続的に農業者や事業者にも周知し、雪室を活用した製品の増加とともに雪中貯蔵施設の利用率の向上に努める。

**【執行残額について】**

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 156  
事業用備品購入費 (156)
- ・その他：光熱水費、通信運搬費等の実績が当初の見込みを下回ったため 9  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	月影の郷管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,672	5,670			3,600		2,070
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2				2	

**【目的】**

農村地域の活性化に向け、農業体験と地域食材をいかした食を提供することにより、都市と農村の交流を促進するとともに、地域のコミュニティ活動の拠点として、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和6年度目標

- ・施設利用者数 6,400人(日帰り者数5,600人、宿泊者数800人)

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地	浦川原区横住410番地
設置	平成17年度
構造	宿泊棟 鉄筋コンクリート造3階建 浴室棟 木造平屋建 多目的ホール 鉄骨造平屋建
面積	2,092.00㎡
管理	指定管理

## ・指定管理の状況

導入開始年度	平成17年度
指定管理者	月影の郷運営委員会
指定の期間	令和6年4月1日から令和9年3月31日まで

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	月影の郷管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	6,451人	6,013人	6,400人	7,055人
日帰り者数	3,819人	3,674人	5,600人	3,985人
食事者数	791人	774人	-	1,504人
体験者数	1,110人	801人	-	557人
宿泊者数	731人	764人	800人	1,009人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	月影の郷管理運営委託料	3,980	3,980	4,500	4,500
	エネルギー価格高騰補填金※	109	171	-	-
	その他	1,530	1,620	1,172	1,170
	合計	5,619	5,771	5,672	5,670
③公費投入額 (②-①)	5,619	5,771	5,672	5,670	
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	871	960	886	804	

※エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したものの

○指定管理者の収支状況等

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	2,619	2,568	9,300	3,352
	月影の郷管理運営委託料	3,980	3,980	4,500	4,500
	エネルギー価格高騰補填金	109	171	-	-
	その他	7,046	5,635	50	9,279
	合計	13,754	12,354	13,850	17,131
②支出	13,089	11,431	13,850	17,131	
差引 (①-②)	665	923	0	0	

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	月影の郷管理運営費		

○目標達成状況

- ・施設利用者数目標 6,400 人（日帰り者数 5,600 人、宿泊者数 800 人）対し、655 人上回る 7,055 人（日帰り者数 6,046 人、宿泊者数 1,009 人）となり目標を達成し、農村地域の活性化及び都市と農村との交流を促進することができた。

【事業の成果】

- ・越後田舎体験や市内小学校の自然体験学習、月影の郷とゆかりのある大学のゼミ合宿、各種スポーツ合宿等の受入れにより、都市住民や市内小学生等と地域住民との交流の促進及び農村地域の活性化に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「新そばまつり」や「チャレンジ！さんばいし投げ」のイベントを開催したことにより、利用者が増加したことを踏まえ、新たなイベントの開催を検討する。
- ・屋外多目的グラウンドの環境の良さがロコミ等で広がり、市内のジュニアサッカーチームや幼年野球チームが合宿で訪れるケースが増えていることから、適切な管理を継続する。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	川上笑学館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,130	472					472
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	658				658	

施設の利用者数が低下していることや施設を管理運営する地域団体の構成員の高齢化などを踏まえ、施設の必要性や管理運営等について検討してきたところ、指定管理者から管理団体として継続が困難との申し出があった。これを受け、改めて施設の必要性等について検討した結果、体験交流や宿泊サービスは近隣の公共施設において代替できるとの判断に至り、令和5年度をもって施設の運営を休止することとした。なお、休止中は、施設を適切に維持管理しながら、地域内での利活用のほか、他の民間事業者による利活用策を探っていく。

### 令和6年度の取組

#### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

##### ・施設の概要

所在地	牧区切光 1438 番地
設置	平成7年度
構造	木造2階建
面積	351.12 m <sup>2</sup>
管理	直営

##### ・利用実績

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	804人	850人	休 止
日帰り者数	500人	576人	
宿泊者数	304人	274人	

#### 【事業の成果】

- 令和6年4月1日の休止以降、民間事業者の利活用に関するサウンディング型市場調査を実施したが意見提案はなく、令和7年4月1日に本施設の条例を廃止した。

決算書 (P 244～P 245)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	川上笑学館管理運営費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・本施設の供用が廃止となったが、除却等の処分まで適切に維持管理を行う。
- ・跡地利用について、民間事業者の利活用も含めて検討する。

**【執行残額について】**

- ・その他：光熱水費や委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 658

(単位：千円)

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	六夜山荘管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,791	2,593			1,900		693
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	198			98	100	

## 【目的】

農村地域の活性化を図る拠点として、農業体験と地域食材を使用した郷土料理の提供、独自イベントの実施により、都市と農村の交流を促進するとともに、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・施設利用者数 730人(日帰り者数500人、宿泊者数230人)

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地	安塚区細野 1151 番地 1
設置	平成 8 年度
構造	木造 2 階建
面積	441.66 m <sup>2</sup>
管理	指定管理

## ・指定管理の状況

導入開始年度	平成 16 年度
指定管理者	特定非営利活動法人自然王国はその村
指定の期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	671人	765人	730人	714人
日帰り者数	415人	533人	500人	478人
宿泊者数	256人	232人	230人	236人

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	六夜山荘管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入		-	-	-	-
②支出	六夜山荘管理運営委託料	1,523	1,523	2,470	2,470
	エネルギー価格高騰補填金※	50	-	-	-
	その他	1,415	75	321	123
	合計	2,988	1,598	2,791	2,593
③公費投入額 (②-①)		2,988	1,598	2,791	2,593
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		4,453	2,089	3,823	3,632

※エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したものの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	1,374	2,299	4,000	2,318
	六夜山荘管理運営委託料	1,523	1,523	2,470	2,470
	エネルギー価格高騰補填金	50	-	-	-
	その他	2,868	3,456	100	2,549
	合計	5,815	7,278	6,570	7,337
②支出		6,083	7,323	6,570	6,892
差引 (①-②)		△268	△45	0	445

○目標達成状況

・施設利用者数目標 730 人 (日帰り者数 500 人、宿泊者数 230 人) に対し、16 人下回る 714 人 (日帰り者数 478 人、宿泊者数 236 人) となり、目標を達成することができなかったが、農業体験と地域食材を使用した郷土料理の提供等を通して、都市と農村の交流を促進することができた。

【事業の成果】

・六夜山荘の利用者数は計画に届かなかったものの、ゴールデンウィークに開催の「山菜ツアー」、11月に開催の「新そばまつり」に際し、ホームページを活用したPRに力を入れて参加者を募った結果、多くの都市からの参加者との交流が行われ、農村地域の活性化を図ることができた。

決算書 (P244～P245)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	六夜山荘管理運営費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・交流事業やイベントを開催するとともに、地場農産物を活用した料理を利用者に提供する。
- ・安塚区内では有数の宴会利用や宿泊が可能な施設であることから、引き続き、町内会や事業所等へ利用促進活動を行う。

**【執行残額について】**

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 98  
施設管理委託料 (77) 機械借上料 (21)
- ・その他：修繕料の実績が当初の見込みを下回ったため 100

(単位：千円)

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
100,782	88,478		61,066	2,300	6,650 (都府金、繰越金、 諸収入)	18,462
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	12,304			34	12,270	

**【目的】**

地域農業の担い手の確保・育成を図るため、上越市担い手育成総合支援協議会と連携し、様々な就農イベントやおためし農業体験、SNS等を活用し、当市の農業と暮らしに関する情報を発信するとともに、国の地域おこし協力隊制度を活用するなど、多様な新規就農者の発掘に取り組む。

また、経営感覚に優れた強い経営体を育成し、持続的な地域農業を実現するため、農地の集積・集約化を推進するとともに、地域農業の将来像を見据えた「地域計画」の策定を進める。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和6年度目標

- ・新規就農者確保数 38人
- ・担い手への農地集積率 77.5%

## ■上越市担い手育成総合支援協議会支援事業費補助金 10,246

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市担い手育成総合支援協議会が行う認定農業者や新規就農者の確保・育成のほか、集落営農による組織化や法人化の推進など、地域農業を担う経営体を育成する取組に要する事務的経費を支援した。

## &lt;新規就農者数&gt;

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規就農者数(人)	23	29	15
市内(人)	16	24	9
市外(人)	7	5	6

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

<認定農業者数及び担い手への農地集積率>

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
認定農業者数 (経営体)	874	833	778	農業経営改善計画を作成し、 市が認定した農業者又は団体
うち法人	172	174	169	
担い手への農地集積率(%)	73.4	75.4	76.0	認定農業者等の経営面積／農業振興地域内の耕地面積

<上越市担い手育成総合支援協議会による研修会>

開催月	研修会	主な内容	参加者数(人)
令和6年8月	農作業安全管理者・オペレーター研修会	農作業事故防止対策、農業機械整備方法等	81
令和6年11月	農業経営簿記研修会	複式簿記の基礎知識の習得	62
令和6年12月	会計・税務研修会	決算処理、農業経営基盤強化準備金制度等	56
令和6年12月	農業法人の経営維持・発展研修会	後継者確保に向けた体制整備、GAPを活用した経営改善事例等	73



[農作業安全管理者・オペレーター研修会]

○目標達成状況

- ・上越市担い手育成総合支援協議会を中心に関係機関・団体と連携しながら、就農相談窓口を設置するとともに、就農イベントや農業大学校への訪問などの機会を通じて就農希望者の獲得に取り組んだが、令和5年度比14人減の15人となり、目標とする38人には至らなかった。
- ・担い手への農地の集積率は、認定農業者が高齢化や後継者不足等により減少傾向にある中、農地中間管理事業や機構集積協力金の活用などにより、担い手への農地の集積・集約化が進み、令和5年度から0.6ポイント増加し76.0%となったが、目標とする77.5%を達成することはできなかった。

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

■農業振興公社運営費補助金 4,500

○実施内容、これまでの経過等

- ・中山間地域の農地の保全と担い手の育成等に取り組む農業振興公社の運営費を補助した。

法人名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	補助上限額
公益財団法人 浦川原農業振興公社	1,350	0	0	1,350
公益財団法人 大島農業振興公社	3,810	4,500	4,500	4,500
公益財団法人 牧農林業振興公社	0	0	0	900

※補助金額は、前年度の決算額(市の運営費補助金を除く)が赤字の場合に、赤字額の90%を補助上限額の範囲で算定

■農地中間管理受託事業 7,706

○実施内容、これまでの経過等

- ・農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積・集約化を推進するため、農地中間管理事業推進員を中心に、農地の利用権設定に関する相談対応や貸出・借受希望者とのマッチング等を行ったほか、農地中間管理機構関連型の基盤整備事業(清里第2地区、大和地区、朝日池北部地区)に係る利用権設定業務に取り組んだ。

■農林県単事業費補助金(担い手育成) 2,308

○実施内容、これまでの経過等

- ・新規就農者支援事業費補助金 (167)

新規就農者の農地確保に要する利用権設定農地の賃借料の一部を支援した。

地区名	助成対象者	事業内容	補助率	補助金額
合併前 上越市	認定新規就農者	利用権設定 40,753.69 m <sup>2</sup>	5/10	167

- ・新規就農者資本装備支援事業費補助金 (2,141)

新規就農者の経営規模の拡大のために必要な施設の整備費の一部を支援した。

地区名	助成対象者	事業内容	補助率	補助金額
合併前 上越市	民間リース会社 (借受者：認定新規就農者)	パイプハウス 2棟	5/10	2,141

■経営体発展総合支援事業 6,081

○実施内容、これまでの経過等

- ・農地中間管理機構を活用して規模拡大に取り組む認定農業者に対して、農業用機械の導入費の一部を支援した。

地区名	助成対象者	事業内容	補助率	補助金額
合併前 上越市	民間リース会社 (借受者：認定農業者)	枝豆収穫機 1台	5/10	6,081

決算書 (P246～P247)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

■農業次世代人材投資事業 1,202

○実施内容、これまでの経過等

・農業次世代人材投資資金

50 歳未満で新たに独立・自営により就農した認定新規就農者に対して、就農直後(5 年以内)の経営確立を支援するための資金を交付した(令和 3 年度までに事業採択された人が対象)。

区 分		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
交付対象者 (認定新規就農者)	人数(人)	5	2	1
	交付金額	5,467	3,000	1,200

※認定新規就農者：農業経営開始後 5 年目の目標を示した「青年等就農計画」を作成し、地域農業の新たな担い手として認定された新規就農者

※令和 4 年度から後継制度として、新規就農者育成総合対策事業が創設されたため、継続者のみに資金を交付

■機構集積協力金交付事業 23,190

○実施内容、これまでの経過等

・地域集積協力金

一定割合以上の農地を農地中間管理機構に貸し付けた地域に対して、協力金を交付した。

区 分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
対象面積 (ha)	66.05	155.49	86.01
交付金額	17,579	36,969	22,520
実施地域	七ヶ所新田、東京田、下箱井、柿崎区岩手、吉川区三ヶ字、中郷区福田、清里区梨窪・北野・水草	下野田、青野、上吉野、浦川原区中猪子田、浦川原区飯室、吉川区川崎、清里区菅原・荒牧・上深澤・上田島・馬屋・塩曾根・今曾根、名立区大菅	上稲田、荒町・稲荷・今泉・大和 5 丁目、上名柄、柿崎区下小野

■地域計画策定推進事業 2,992

○実施内容、これまでの経過等

・概ね 10 年後の農地の将来像を描く地域計画を策定するため、地域自治体を単位に、農業者等による協議の場を実施し、策定した市内 25 計画を令和 7 年 4 月 1 日付けで公告した(当初、八千浦区単体で地域計画を策定し、全 26 の計画となる予定だったが、事業を進める中で、八千浦区のほぼ全域が市街化区域であったため、隣接する区の地域計画に含める形とした)。

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

■新規就農者育成総合対策事業 21,706

○実施内容、これまでの経過等

(1) 経営発展支援事業 (14,955)

- ・50歳未満の新たに独立・自営により就農した認定新規就農者に対して、就農後の経営発展のために導入する機械・施設等の導入費の一部を支援した。

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付対象者 (認定新規就農者)	人数(人)	0	0	3
	交付金額	0	0	14,955
うち個人	人数(人)	0	0	1
	交付金額	0	0	3,705
うち夫婦	人数(人)	0	0	2
	交付金額	0	0	11,250

(2) 経営開始資金 (6,750)

- ・50歳未満の新たに独立・自営により就農した認定新規就農者に対して、早期の経営確立を支援するための資金を交付した。

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付対象者 (認定新規就農者)	人数(人)	0	1	5
	交付金額	0	1,500	6,750

■地域おこし協力隊を活用した担い手育成事業 592

○実施内容、これまでの経過等

- ・農業者の高齢化や後継者不足の課題解決のため、地域おこし協力隊制度を活用し、農業求人サイトを通じて、農業研修生を1人募集した。
- ・当事業は、市と上越市担い手育成総合支援協議会並びに市内の先進的農業者が連携することにより、隊員が3年間の任期の中で当市の地域農業の担い手となることができるよう基礎的技術や知識の習得、任期後に希望する地域での就農・定住に向けたマッチング等を行うこととしていたが、4人から問い合わせや農業体験希望はあったものの応募には至らなかった。

■新規就農者等定住転入促進事業 3,031

○実施内容、これまでの経過等

(1) おためし農業体験事業 (493)

- ・市外在住の50歳未満(中山間地域の場合は61歳未満)の農業体験希望者を対象に、おためし農業体験の参加に要する宿泊費及び交通費の一部を支援したほか傷害保険に加入した。また、受入農家に講師謝金を支払った。

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実体験者数(人)	24	38	30
申請者数(人)	35	70	55
補助金額(交通費・宿泊費)	213	457	307
保険料	31	46	36
受入農家講師謝金	410	310	150

※補助率：市内宿泊費の1/2(上限4千円/泊)

上越市までの交通費の1/2(上限10千円/回)

※申請者数は延べ人数のため、宿泊費と交通費の両方を申請した人は2人としてカウント

(2) 新規就農者大型特殊免許等取得事業 (200)

- ・市内に住所を有する50歳未満(中山間地域の場合は61歳未満)で、就農等(研修を含む)をして3年を超えない期間の農業者を対象に、大型特殊免許及びけん引免許の取得費の一部を支援した。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申請者数(人)	3	0	4
うち大型特殊免許取得者数(人)	3	0	4
うちけん引免許取得者数(人)	0	0	0
補助金額	150	0	200

※補助率：大型特殊・けん引免許取得費の1/2(上限各50千円)

(3) 新規就農者農業用機械購入事業 (262)

- ・市内に住所を有する独立・自営就農(親元就農も含む)をしている50歳未満(中山間地域では61歳未満)の人で、農地を50a以上耕作し、その期間が3年(中山間地域では6年)を超えない農業者を対象に、農業用機械の導入費の一部を支援した。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申請者数(人)	4	1	1
補助金額	1,358	1,000	262

※補助率：農業用機械購入費の1/2(上限500千円)

ただし、中山間地域の農地を耕作している場合は上限1,000千円

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

(4) 新規就農者住居費支援事業 (100)

- ・市外から転入し、市内で就農等（研修を含む）を開始してから3年を超えない50歳未満（中山間地域では61歳未満）の人

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申請者数（人）	3	2	1
補助金額	558	270	100

※補助率：家賃月額 $\times$ 12か月（上限20千円/月）

ただし、独立・自営就農者の場合は補助対象期間24か月

(5) 農業法人雇用支援事業 (597)

- ・国の雇用就農資金の対象外となる50歳以上66歳未満の新規就農者を雇用する中山間地域に住所を有する法人等を対象に、新規雇用に要する経費の一部を支援した。

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
継続	申請者数（団体）	3	3	1
	補助金額	2,900	1,638	597
新規	申請者数（団体）	1	0	0
	補助金額	255	0	0

※補助率（新規従業員1人当たり）：令和4年度から上限50千円/月（最大4年間）

(6) 農業求人サイトへの広告掲載 (1,088)

- ・就農先として当市が選ばれるよう、新規就農希望者がアクセスする農業求人サイト「あぐりナビ」に、新規就農者の募集のほか、おためし農業体験など、当市の農業の特徴と合わせて上越市を紹介する写真等を通年で掲載した。

※「あぐりナビ」への掲載内容

①就農に興味がある人への「おためし農業体験」の参加案内

②新規就農に係るサポート体制について、就業・就農の支援、営農技術の指導、農業用機械の購入費用等の支援メニューの案内のほか、移住や子育て世帯にとって重要となる当市の子育て支援（保育園や放課後児童クラブ、子どもの医療費助成など、子育て世帯の負担軽減への取組）の情報が入手できるよう、「あぐりナビ」と当市のホームページをリンクさせた。

③市内の稲作や園芸、スマート農業、棚田の風景や高田城三重櫓の写真など、当市の農業の特徴と合わせて上越市を紹介する写真等を掲載

(7) イベント掲示物等作成業務 (54)

- ・「新・農業人フェア」や「就農・就業マッチングフェア」等の就農イベントでのブース装飾用として、バックパネルシートを作成した。

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

■農地利用効率化等支援交付金 4,924

○実施内容、これまでの経過等

- 令和6年能登半島地震で被災した市内農業者が所有する農業用施設等について、営農活動の早期復旧のために国の補助制度に市独自の上乗せをして支援を行った。

地区名	助成対象者	事業内容	補助率	補助金額
合併前 上越市	認定農業者	農機具格納庫1棟の撤去	(国) 3/10 (県) 1.5/10 (市) 1.5/10	1,074
	認定農業者	農作業用施設1棟の修繕	(国) 1/2	493
柿崎区	認定農業者	農作業用施設1棟の修繕		(市) 補助残の 1/3
	認定農業者(農業法人)	農作業用施設2棟の修繕	1,966	
大潟区	認定農業者	農作業用施設等2棟の修繕		937

#### 【事業の成果】

- 高齢化や後継者不足による経営面積の縮小や離農する農業者が増加傾向にある中、農地中間管理事業や機構集積協力金の活用を促したことにより、担い手への農地の集積・集約化が円滑に進められた。
- 上越市担い手育成総合支援協議会を中心に関係機関・団体が連携して、各種研修会等を開催し農業経営の改善に寄与したほか、新規就農や雇用就業者に対し、国・県の補助制度と市独自の支援策を組み合わせることにより、市内就農者の確保・育成に努めることができた。
- おためし農業体験では令和5年度に比べて参加者は減少したが、30人が参加し、当市の農業を知ってもらう機会となった。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- 高齢化や後継者不足が進む中、地域農業の継続に向けて、引き続き、担い手の確保・育成を進めるとともに、地域の中心となる経営体への農地の集積・集約化を進める必要がある。
- 強い経営体を育成するため、関係機関・団体が連携して、法人等の経営力強化の取組を進めて行く。
- 引き続き、農業振興公社の事業内容や作況状況等について適宜ヒアリングを実施し情報共有を図るとともに、経営改善に向けてサポートを進めていく。
- 農業経営基盤強化促進法等の一部改正により、令和7年度から農地の利用権設定等の手法が変更となったことから、制度を利用する農業者の利便性が低下することのないよう、引き続き周知を図るとともに、円滑な事務執行体制を構築する必要がある。
- 新規就農者の確保に向け、就農イベントへの参加や農業大学校、農業系の大学などへの訪問、「上越市農業なび」への情報掲載など、農業に関心のある人へ情報発信を行い、当市の農業の魅力に加え、子育てや暮らしに関する支援策などを広く周知するとともに、希望者に対して、市が実施するおためし農業体験等を通じて当市への来訪や新規就農へつなげていく。

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	担い手育成確保支援事業		

**【執行残額について】**

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 34  
イベント掲示物等作成業務委託料 (34)
- ・その他：農地利用効率化支援交付金（繰越明許）、新規就農者農業用機械購入費補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 10,920  
農業振興公社運営費補助金について浦川原農業振興公社の令和5年度決算が黒字となったことにより交付が不要となったため 1,350

(単位：千円)

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	地域農業推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
394	288				5 (手数料・謝収)	283
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	106				106	

## 【目的】

地域農業の持続的発展に向け、上越市食料・農業・農村基本計画に基づく各種施策を展開するとともに、上越市農業振興地域整備計画に基づく農用地の適正利用に取り組む。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■上越市食料・農業・農村基本計画に基づく施策の展開 283

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市食料・農業・農村政策審議会の開催 2回
- ・上越市食料・農業・農村政策審議会の審議を経て、令和6年度アクションプランの進捗管理を行った。

■農業振興地域整備事業 5

○実施内容、これまでの経過等

- ・農用地利用計画の変更申請を4月及び10月に受け付け、法令に基づく審査を経て、適正に処理した。

## &lt;農用地区域等の状況&gt;

(単位：ha)

区分	農用地区域総面積	農用地						混牧林地	農業用施設用地	山林原野・その他
		農地				採草放牧地	計			
		田	畑	樹園地	計					
令和6年度	17,847	15,676	906	38	16,620	56	16,676	5	64	1,102
令和5年度	17,844	15,674	905	38	16,617	56	16,673	5	64	1,102
比較増減	3	2	1	0	3	0	3	0	0	0

(令和7年3月31日現在)

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	地域農業推進事業		

**【事業の成果】**

- ・上越市食料・農業・農村政策審議会における施策の評価・検証を通じて、農業振興施策の推進を図るとともに、上越市食料・農業・農村基本計画に掲げる施策指標の達成に向けた取組を進めた。
- ・農用地利用計画の変更については、法令に基づく審査を行い、優良農地の確保に努めた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・上越市食料・農業・農村基本計画に掲げる施策指標の達成に向けて、引き続きアクションプランの各事業の実績や進捗状況の評価・検証し、令和7年度の食料・農業・農村振興施策の見直しにつなげていく。

**【執行残額について】**

- ・その他：食料・農業・農村政策審議会委員報酬、普通旅費等の実績が当初の見込みを下回ったため 106

(単位：千円)

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	都市・農村交流促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,088	3,967				1,170 (財源収入、諸収入)	2,797
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	121				121	

**【目的】**

都市住民を始めとした農業者以外の者が農業体験や農村交流を通じて自然に触れることで、農業・農村に対する理解を深める場を提供する。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○令和6年度目標

- ・大島ふるさと農園(田)貸付区画数 28区画(全34区画)

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・契約者である棚田オーナーとその家族や友人等を対象とした田植えと稲刈り体験ツアーを実施し、首都圏から田植えでは36人、稲刈りでは41人の来訪があった。

&lt;利用状況&gt;

所在地	種別 (賃料)	貸付区画数(借受者数)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
大島区田麦 317番地1 ほか	田 (36,460円/200㎡) ※農園管理費を含む	21区画 (17人)	24区画 (20人)	25区画 (23人)

## ○目標達成状況

- ・大島ふるさと農園(田)貸付区画数の目標28区画に対し、3区画下回る25区画となり、目標を達成することができなかったが、ふるさと納税の返礼品として登録するなどPRを強化した結果、令和5年度に比べ1区画増加した。

**【事業の成果】**

- ・田植え・稲刈り体験ツアーの実施や、稲の生育等の様子をお知らせするレポートの発行を通じて、都市と農村との交流の促進に寄与することができた。

決算書 (P246～P247)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	都市・農村交流促進事業		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・広報上越への棚田オーナー募集記事の掲載を始め、体験ツアーの宿泊先である「大島庄屋の家」の管理運営組織及び農園管理人と残り区画数を共有し、縁者や知人に声掛けを行うとともに、引き続きふるさと納税の返礼品としてPRすることにより、今後も新規オーナーの獲得に取り組む。

**【執行残額について】**

- ・その他：修繕料、施設管理委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 119  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P246～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	アグリビジネス創出支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,937	3,478				1,515 (繰入金)	1,963
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,459				1,459	

## 【目的】

雇用の創出や地場農産品の生産拡大、所得向上等を図るため、農業者等による地域資源を活用した6次産業化や農商工連携の取組を支援する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・6次産業化や農商工連携に取り組み、新商品を開発する農業者等 3件

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・地域資源を活用した農産加工の取組について、農産加工品等の開発のほか、農産加工への新規取組又は生産規模の拡大を図るために必要な機械や設備の導入、施設の改修に要する経費の一部を支援した。
- ・農産加工品等開発支援事業補助金の交付状況

対象経費：新たな農産加工品等の開発や直売所の開設に要する経費

区分	地区名	事業主体	主な事業内容	補助率	補助金額
一般地域 開発支援	大潟区	認定農業者	いちごの新規加工品販売に伴う広告宣伝	1/2	312

決算書 (P246～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	アグリビジネス創出支援事業		

・農産加工品等規模拡大支援事業補助金の交付状況

対象経費：農産加工の取組に要する機械・設備の導入や施設の改修に要する経費

区分	地区名	事業主体	主な事業内容	補助率	補助金額
一般地域 施設改修費	合併前 上越市	認定農業者	あられ製造に伴う加工 場の整備	4.5/10	1,221
一般地域 機械・設備費 施設改修費	合併前 上越市	認定農業者	漬物製造に伴う機械・設 備及び加工場の整備	3/10 4.5/10	513 979
中山間地域 機械・設備費 施設改修費	板倉区	認定農業者	そば製造に伴う機械及 び加工場の整備	1/3 5/10	231 222
計		3件			3,166

○目標達成状況

- ・募集チラシに活用事例を掲載するなど事業内容をわかりやすくPRした結果、6次産業化や農商工連携に取り組み、新商品を開発する農業者等の目標件数3件に対し、1件上回る4件となり、目標を達成することができた。



〔漬物用真空パック器〕



〔漬物の加工場〕



〔そば加工場〕

【事業の成果】

- ・新商品の開発及び機械の導入、施設改修の支援をすることにより、販路及び生産の拡大につながり、農業者の所得向上と農業経営の安定に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・上越市産食材を活用した6次産業化の取組を更に推進するため、農業者に対する事業説明会等の機会に過去の事例を紹介するなど、事業利用の促進を図る。
- ・魅力ある上越市産品を生み出すため、農商工連携等の取組を推進し、新商品を開発する農業者等が増加するよう継続的な支援を行う必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：農産加工品等規模拡大支援事業補助金、農産加工品等開発支援事業補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 1,459

(単位：千円)

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課、農村振興課 (令和6年度所管は農政課)
事業名	食育推進支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,994	1,464					1,464
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	530			102	428	

### 【目的】

上越市食育推進条例及び上越市食育推進計画に基づき、市民一人一人が、自らの健康に関心を持って食を選び取っていく力を身につけることができる社会の構築を図るため、全市民的な運動として「食育」を総合的かつ計画的に推進する。

令和6年度の取組
----------

### 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■食育推進支援事業 1,286

○令和6年度目標

- ・第4次上越市食育推進計画(令和4年度～令和8年度)に基づくアクションプランの各事業の年度目標を達成する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越市食育推進会議の開催(年2回)

上越市食育推進計画に基づくアクションプランの進捗管理、評価及び検証を行うとともに、食育の推進に関する意見交換等を行った。

- ・食育啓発イベントの開催

国が定める6月の「食育月間」にあわせて、食育啓発イベントを開催し、食に関する体験や展示を行った。

開催日：令和6年6月22日(土)

会場：無印良品 直江津 Open MUJI

参加者数：738人

[上越市食育推進キャラクター  
「もぐもぐジョッピー」]



[食育啓発イベントの会場内の様子]



[朝食料理教室の様子]

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課、農村振興課 (令和6年度所管は農政課)
事業名	食育推進支援事業		

・食育に関する情報の発信・啓発

若い世代に対する食育推進の一環として、高校生の食に対する意識向上を図るため、市内の県立高等学校2校に講師を派遣した。

＜高校生を対象とした食育実践事業の内容＞

対象校	学年	実施日	実施内容
吉川高等特別支援学校	3年生	7月16日(火)	人工甘味料や食品の選び方についての講義に加え、炊飯器で簡単に作れる炊き込みご飯2種類の調理実演
高田商業高等学校	3年生	1月9日(木)	食の大切さ、将来の健康な食生活(食品選択含む)の講座
		1月15日(水)	子ども・高齢者の食生活についての講座
		1月21日(火)	上越の郷土料理についての講座
	2年生	1月15日(水)～17日(金)	上越地域に伝わる郷土料理(押し寿司)の調理実習



【簡単に作れる炊き込みご飯の調理実演】



【牛乳パックを使つての「押し寿司」作り】

市ホームページや農林水産部インスタグラムを活用し、市内で行われる食育に関するイベントや料理教室、郷土料理のレシピ動画などの情報を発信した。

また、料理レシピサイト「クックパッド」で地場産食材を使ったレシピなどを掲載した。



【農林水産部  
インスタグラム】

【レシピ動画をインスタグラムに掲載】



(サメの煮こごり)



(みょうが団子)

【料理レシピサイト「クックパッド」に掲載】



(ふきのとうの料理)



(とうな(上越野菜)の料理)

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課、農村振興課 (令和6年度所管は農政課)
事業名	食育推進支援事業		

- ・上越市地産地消推進会議の開催（年2回）  
地産地消推進の店の新規認定・更新における意見聴取、各種事業の効果的な取組方法等について意見交換を行った。
- ・地産地消推進の店の募集・認定、周知  
市ホームページや広報上越による募集に加え、地産地消に取り組む店舗へ個別に応募を促すなど、広く募集を行ったことにより、新たに7軒を認定するとともに、令和4年度から認定しているプレミアム認定店について、令和7年4月1日付で新たに8軒を認定した。また、希望する店舗に啓発資材を配付したほか、「地産地消推進の店ガイド」を更新し、市ホームページに掲載するなど、認定店の周知を図った。
- ・地産地消推進キャンペーンの実施  
認定店の認知度向上及び上越産品の消費拡大を図るため、市民及び観光客を対象とした地産地消推進の店の利用促進キャンペーンを実施した。  
実施期間：令和6年10月15日（火）から11月30日（土）まで  
参加店舗：42軒  
内 容：スタンプラリーによる応募または、公式Instagramのフォローと投稿による応募に対し、抽選で参加店舗共通商品券や上越産農産物等の詰合せなどが当たるもの  
応募件数：2,153口  
当選者数：161人
- ・地産地消推進の店ロゴマークの活用  
令和5年度に作成した地産地消推進の店ロゴマークについて、各店舗のホームページへの掲載を促すとともに、地産地消推進の店の認知度向上を図るため、新たにステッカーやのぼり旗を作成し、認定店に配付した。



[配付したステッカー及びのぼり旗]

#### ○目標達成状況

- ・アクションプラン全47事業のうち、令和7年度に実施する食育市民アンケートなどにより確認する項目を除く34事業の状況を確認し、28事業は目標を達成したが、朝食を欠食する市民の減少や適正体重を維持する市民の増加など6事業は成果が不十分であった。
  - ・令和6年度末の認定店舗数は、アクションプランの年度目標176軒に対し168軒となり、目標に届かなかったが、新規認定にむけたPRを行い、7店舗を新たに認定することができた。
- ＜認定店舗数の推移＞

区分	初回認定 (平成23年度)	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末
小売店	30	61 (2)	60 (2)	58 (2)
飲食店等	48	113 (14)	109 (13)	110 (12)
計	78	174 (16)	169 (15)	168 (14)

※（ ）内は、うちプレミアム認定店の店舗数

#### ■地域独自の予算事業 178

- ・『健康寿命日本一を目指す「男の料理教室」』開催事業（高土区）（49）
- ・郷土料理伝承事業（牧区）（129）

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課、農村振興課 (令和6年度所管は農政課)
事業名	食育推進支援事業		

#### 【事業の成果】

- ・第4次食育推進計画の施策指標の達成に向けて、庁内食育推進関係課や市内の食育関係団体等と連携し、各事業を推進するとともに、食育推進会議における施策・評価の検証により、アクションプランの適切な見直しが図られた。
- ・市内の県立高等学校へ講師を派遣し、食に対する意識向上を図ったほか、市ホームページやSNSを通じて、食育の実践につながる情報を随時発信し、デジタル化に対応した食育活動を推進することができた。
- ・地産地消推進の店ロゴマークを活用した販促資材を認定店に配付したことにより、店舗のみならずホームページやSNSにおいても掲示している店舗が見られるなど、認定店による地産地消推進の周知に寄与することができた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・アクションプランの成果が不十分であった事業は、庁内食育推進関係課とその原因と対策について情報共有しながら、取組を整理した上で目標達成に向けて着実に取り組んでいく。
- ・市外から多くの集客が見込まれる「越後・謙信SAKEまつり」等の観光イベントにおいて、地産地消推進キャンペーンのリーフレットを配布するなど、地産地消推進の店の認知度向上を図る。
- ・地産地消の取組がより進展するよう、農業者と地産地消推進の店とのマッチングを図る。

#### 【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残が発生したため 102  
地産地消推進事業印刷物作成委託料 (102)
- ・その他：消耗品費、地域独自の予算事業補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 426  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,169	7,411				4,558 (繰入金)	2,853
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	758		127		631	

## 【目的】

農業者等の所得向上を図るため、農業者と実需者等が交流できる機会を設けるとともに、農業者等の販売力の強化に資する取組を展開する。

また、産地の知名度向上と信頼性を確保し、当市の安全・安心な農産物等の販売促進を図るため、都市生協組合員と生産者との顔の見える関係が維持できるようオンライン交流会を含めた産地交流事業を実施する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■積極的な地場農産物の販売促進事業 649

○令和6年度目標

内 容	件 数
食品関連事業者とマッチングする農業者	3件
市外にマルシェ等の出店をする農業者等	15件

※上記件数はいずれも市の事業を活用した件数

○実施内容、これまでの経過等

・上越市農産物等販売促進実行委員会における次の取組を支援した。

(1) じょうえつ農の魅力発信×農場見学ツアーの開催

市内の食品関連事業者を対象に、農場を見学するツアーを開催し、農業者と需要者をマッチングする場を提供した。また、農業者から食品関連事業者に対し、自らが生産する農産物等の説明をするとともに、農産物等の試食品(素材及び料理)を提供し、意見交換を実施した。

日 程	参加者数			マッチング数※
	農業者	食品関連事業者	計	
9月4日(水)	4団体・4人	8団体・11人	12団体・15人	ブロッコリー1件 ジビエ 1件 合計 2件

※マッチング数は、アンケート結果及び農業者への聞き取りによる。

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

(2) サンプル品提供事業

上越市産農産物の使用を希望する首都圏等の飲食店にサンプル品を提供した。

提供事業者数	8者
提供回数	11回
マッチング件数	3件

(3) 新潟県上越市農産物フェスタの開催

東京交通会館マルシェ雪國商店ブースにおいて、「新潟県上越市農産物フェスタ」を開催し、市内の生産者が、新米やいちご、越の丸ナスなど夏から秋にかけての上越市の特産品を販売PRした。

日程	参加事業者数	主な販売品目
9月14日(土) ～16日(月・祝)	3者	新米量り売り、米の定期便予約受付など
		削りいちご、いちごスムージー、ジャムなど
		新米、越の丸ナス、なます南瓜など

○目標達成状況

- ・食品関連事業者とマッチングする農業者については、目標3件に対し、農場見学ツアー・試食会などの実施したことにより、目標件数を2件上回る5件となり、目標を達成することができた。
- ・市外にマルシェ等の出店をする農業者等の目標15件に対し、6件下回る9件となり、目標を達成することができなかったが、新潟県上越市農産物フェスタの開催や農林水産物等マーケティング活動支援事業の実施により、市外の消費者へ上越市産農産物をPRすることができた。



[農場見学ツアーの様子]



[農産物フェスタの様子]

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

■農林水産物等マーケティング活動支援事業 5,621

○令和6年度目標

内 容	件 数
自ら新たな販売活動等に取り組む農業者	5件
市外にマルシェ等の出店をする農業者等（再掲）	15件

※上記はいずれも市の事業を活用した件数

○実施内容、これまでの経過等

(1) 農林水産物等マーケティング活動実践塾

農業者や中小企業への豊富な支援経験を持つ講師に加え、自ら販売促進に取り組む市内農業者からも学ぶ連続講座を開催した。

開催日：令和6年7月2日(火)～令和7年1月21日(火)（全7回）

参加者数：8事業者

参加者の声：順序立ててマーケティングを行う大切さを感じた。

ターゲットが誰かということ意識し、生産するようになった。

他の農業者との意見交換により、自分の考えを客観的に見ることができた。

※参加者アンケートから抜粋

(2) 農林水産物等マーケティング活動個別相談会

経営体の販売面での課題解決をサポートするため、販売手法の専門家による個別相談会を開催した。

相談者：5事業者（延べ）

相談内容：今後のマーケティング活動について

商品配置について

水産物販売戦略について など

(3) 農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金

農業者等が行う営業活動や広告宣伝、高付加価値化に向けた取組のほか、販売手法の専門家の活用など、農林水産物等の販売力強化に必要な経費の一部を支援した。

また、農業者等が自ら販売する取組を更に促進するため、農林水産物等の付加価値向上を目的とした商標登録や認証取得などに要する経費等のほか、雪室を活用した学校給食用野菜等の保管に要する経費を新たに支援した。

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

区分		補助率	件数	補助金額
中山間地域	販売農家	2/3	1件	67
	認定農業者、認定新規就農者		1件	229
	農業者三者以上で構成する団体		3件	489
一般地域	販売農家	1/2	1件	58
	認定農業者、認定新規就農者		17件	2,828
	農業者三者以上で構成する団体		2件	193
林業・水産業	林業者又は漁業者	1/2	0件	0
	林業者又は漁業者三者以上で構成する団体		0件	0
合計			25件	3,864

○目標達成状況

- ・自ら新たな販売活動等に取り組む農業者の目標5件に対し、農林水産物等マーケティング活動支援事業を実施することにより、目標件数を20件上回る25件となり、目標を達成することができた。
- ・市外にマルシェ等の出店をする農業者等の目標15件に対し、6件下回る9件となり、目標を達成することができなかったが、新潟県上越市農産物フェスタの開催や農林水産物等マーケティング活動支援事業の実施により、市外の消費者へ上越市産農産物をPRすることができた。(再掲)



[実践塾の様子]



[補助事業で作成した商品パッケージ及び立て看板]

■都市生協との連携事業 1,141

○令和6年度目標

- ・都市生協組合員等と生産者との顔の見える産地交流事業を通じて、産地の知名度向上と信頼性が確保され、当市の安全・安心な農産物等の購入量が拡大している状態とする。

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

○実施内容、これまでの経過等

- ・ 本市及び東京での産地交流並びにオンライン交流会等を通じ、都市生協組合員及び職員と生産者との顔の見える交流を実施し、上越市の安全・安心な農産物等の販売を促進した。
- ・ 産地の思いやこだわりを持った本市の農産物等への理解を深めてもらうため、都市生協組合員を対象とした農作業体験に要する経費の一部を支援した。
- ・ 都市生協ホームページや産地だより等を通じ、本市の安全・安心で魅力ある商品を組合員に発信した。

○目標達成状況

- ・ 産地交流事業により産地の知名度と信頼性の向上に寄与するとともに、米の購入者の増加や米価の高騰を背景に、令和5年度に比べ販売量を拡大することができた。



〔都市生協職員の研修の様子〕



〔組合員の稲刈り体験の様子〕



〔オンライン交流会の様子〕

【事業の成果】

- ・ 農場見学ツアーの実施により、生産者のこだわりや思いを食品関連事業者が直に感じとることができ、2件のマッチングが成立するなど、農産物の市内流通の促進を図ることができた。
- ・ 新潟県上越市農産物フェスタの開催により、生産者が首都圏の消費者に直接農産物等を販売し、消費者から商品の感想などを聞くことができ、今後の販路拡大や商品改良に活かすことができた。
- ・ サンプル品の提供により、上越市産農産物を首都圏等の飲食店にPRできたほか、実際に3件のマッチングが成立し、店舗においてメニューとして提供いただいたことで、首都圏等の消費者に上越市産農産物をPRすることができた。
- ・ 農林水産物等マーケティング活動実践塾に参加した農業者に対し、伴走型の支援を行うことにより、ふるさと納税返礼品への新規出品やホームページの改修、販売促進資材の作成など、自ら販売する力を伸ばすことができたほか、グループワークを通して同じ志を持つ参加者同士の情報交換と交流の場を提供することができた。
- ・ 農業者等が自ら取り組む販売促進活動に要する経費を支援することで、販路の拡大や農産物の付加価値向上につなげることができた。
- ・ 産地交流会やオンライン交流会に参加した都市生協組合員から、「都会では体験できないことができて良かった。」「お米づくりをこれからも応援しています。」などの声を聞くことができ、上越市のファンの獲得と上越産品の購買意欲の向上につなげることができた。

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・販売促進に必要な講座の開催や、販路拡大のための物産展への参加促進等により、自ら販売活動に取り組む農業者等を継続的に支援し、販売力を強化していく必要がある。
- ・販売イベントへの出店費用等が補助対象経費となっているマーケティング活動支援事業補助金や首都圏等で開催されるイベント情報を適切に農業者へ周知していくことで、市外のマルシェ等に出店する農業者の件数を増やすとともに、上越市農産物の販路拡大を行う必要がある。

**【執行残額について】**

- ・事業未実施：地域独自の予算事業補助金 127
- ・その他：農林水産物等マーケティング活動支援事業補助金、上越産農産物販売促進助成金等の実績が当初の見込みを下回ったため 631

(単位：千円)

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,370	10,437		874			9,563
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	933				933	

## 【目的】

イノシシ等への鳥獣被害対策を強化するため、令和5年度までに実施した試行事業を踏まえ、ICTやドローン技術を活用した「スマート捕獲」を本格導入するほか、ジビエの利活用を推進するため、需要と供給の拡大に向けた新たな取組に着手する。また、今後の猟友会会員の世代交代を見据え、引き続き、若年層を中心とした担い手確保と狩猟技術の継承を推進する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■農作物鳥獣被害防止対策事業 10,032

○令和6年度目標

- ・鳥獣による農地・農作物被害の拡大防止

○実施内容、これまでの経過等

- ・鳥獣被害対策実施隊の活動 405

鳥獣被害対策実施隊が地元集落からなる捕獲サポート隊と協力しながら、現に農作物被害が発生するグリーンシーズンにおいて、イノシシの捕獲活動を円滑に実施した。

## ＜鳥獣被害対策実施隊の活動実績＞

地区名	実施区分	集落数	箱わな 設置台数	イノシシ 捕獲頭数	サポート隊 隊員数
名立区	継続(2年目)	1集落	1台	0頭	3人
金谷区	新規	5集落	5台	12頭	35人
計		6集落	6台	12頭	38人

- ・上越市鳥獣被害防止対策協議会負担金 9,627

捕獲活動における労力負担の軽減と効率的な捕獲活動を実現するため、受発信システムやドローンを活用した「スマート捕獲」を本格導入したほか、ジビエの利活用を推進するため、狩猟者と飲食店関係者を対象に学習会を開催し、需要と供給の拡大を図った。

また、鳥獣が出没しにくい環境づくりの取組や電気柵の新設及び更新に要する経費を支援するとともに、年間を通じた有害鳥獣捕獲の推進やわな猟等の狩猟免許取得に要する経費の支援、狩猟技術講習会の開催など、担い手の確保・育成に向けた取組を推進した。

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		

<有害鳥獣の捕獲及び水稻被害状況>

鳥獣の種類	区分	令和5年度	令和6年度	比較増減
イノシシ	捕獲数	691頭	962頭	271頭
	被害面積	3.25 ha	9.82 ha	6.57 ha
ニホンジカ	捕獲数	66頭	110頭	44頭
	被害面積	0ha	0ha	0ha
小動物(タヌキ、ハクビシン、アナグマ等)	捕獲数	224匹	134匹	△90匹
	被害面積	0ha	0ha	0ha
鳥類(カラス、アオサギ)	捕獲数	51羽	31羽	△20羽
	被害面積	0.02 ha	0.31 ha	0.29 ha

※表中の捕獲数は、当該年度中に同協議会が捕獲証拠物を確認した個体数

<地域自治体単位のイノシシ捕獲頭数>

(単位:頭)

金谷区	春日区	五智区	桑谷取浜区・	安塚区	浦川原区	大島区	牧区	柿崎区	頸城区	吉川区	中郷区	板倉区	三和区	名立区	合計
55	7	10	134	50	71	60	9	277	34	141	40	9	4	61	962

<電気柵の整備>

整備の種類	令和5年度	令和6年度	比較増減
電気柵整備延長(累計)	1,188.6 km	1,210.7 km	22.1 km
うち当年度分	61.0 km	22.1 km	△38.9 km
被害を受けた農地への新規設置(国庫定額補助)	59.1 km	21.5 km	△37.6 km
予防的な設置(協議会1/2補助)	1.9 km	0.6 km	△1.3 km
既設電気柵の更新(協議会3/4補助)	13.3 km	12.1 km	△1.2 km

<狩猟免許取得の補助>

免許の種類	令和5年度	令和6年度	比較増減
第二種銃猟免許(空気銃)	0人	0人	0人
わな猟免許	2人	8人	6人
網猟免許	0人	3人	3人
合計	2人	11人	9人

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		

<新規猟銃取得の補助（国庫補助）>

区分	令和5年度	令和6年度	比較増減
猟銃	2人	4人	2人
補助金交付額	200	400	200

<鳥獣が出没しにくい環境づくり（集落環境診断）の実施>

実施集落	実施期間	参加人数 (累計)	主な対策
金谷区向橋	6月23日	18人	・集落勉強会の実施
金谷区上正善寺	7月13日～ 12月3日	77人	・捕獲の実施、わなの設置 ・電気柵の終日通電 ・耕作放棄地への除草剤散布
金谷区中正善寺			・捕獲の実施、箱わなの設置 ・耕作放棄地の草刈り徹底 ・餌となるクズの刈払い、除草剤散布
金谷区下正善寺			・わなによる捕獲の実施 ・獣害対策ポイントの集落内共有 ・草刈りの徹底

<スマート捕獲の本格導入>

種別	導入機器等	貸与先	導入効果
くくりわなの受発信システム	親機3台、子機24台	直江津・名立 ・柿崎・東頸城支部	・わなの見回り等の作業負担を軽減することで、効率的な捕獲活動ができた。
ドローンの活用	ドローン1台、オペレーター養成1人	くびき野支部	・狩猟の予定箇所を事前にドローン飛行させ、イノシシ等の分布を把握することで、より効果的、効率的な捕獲ができた。

<スマート捕獲の実証事業>

種別	実証期間	実証場所	実証結果と導入計画
箱わなの遠隔操作システム	7月9日～ 11月30日 (令和5年度から継続)	滝寺地内 柿崎区竹鼻地内	・捕獲活動における作業の負担軽減と効果的な捕獲に有効性を発揮したほか、費用対効果も1.2倍と十分得られたことから、令和7年度から本格導入する。
チップ材を活用した緩衝帯の整備	4月18日～ 11月14日 (令和4年度から継続)	吉川区河沢地内	・イノシシ等の出沒抑制については一定の効果があつたが、チップ材の敷設による雑草対策の労力軽減効果が短いうえ、イノシシを誘引する要因にもなったことから、今後の導入は断念する。

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		

<ジビエの利活用推進に係る取組>

区分	ジビエ利活用学習会	ジビエ料理講習会	調理機会の提供
対象者	狩猟者	飲食店	飲食店
目的	・捕獲個体のジビエ利活用に興味のある狩猟者の発掘を図る。	・飲食店における商品開発を支援し、市内のジビエの普及を図る。	・ジビエ料理の知名度を向上させることにより、市内におけるジビエ需要を掘り起こす。
内容	・ジビエ利活用に係る基礎知識 ・理解度チェック ・市内食肉加工処理施設の紹介	・国産ジビエ利活用に関する概況 ・枝肉を用いた部位分け実演と各部位の特徴解説 ・ジビエの特徴をいかした安全で美味しい調理方法と試食提供 ・市内食肉加工処理施設及び販売業者の紹介	・希望する市内飲食店等に対し、イノシシ肉を提供 ・店舗は調理実践後、調理方法や写真等の実績報告等を提出 ・飲食店での提供のほか、市内イベントでイノシシ肉を提供
開催日	7月15日(月・祝)	7月23日(火)	10月～令和7年2月
会場	市民プラザ	ユートピアくびき希望館	—
参加者数	45人	13店舗24人	26店舗、1イベント



[ジビエ料理講習会]



[実演に使用したイノシシの枝肉]

○目標達成状況

- ・スマート捕獲の本格導入や鳥獣被害対策実施隊の活動等により、イノシシの捕獲頭数は過去最多となるなど農作物被害の拡大防止に努めたが、これまで被害がなく、電気柵が未設置のほ場でまとまった被害が発生したことなどから、令和5年度と比較すると水稻被害発生面積は増加した。

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		

■有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保事業費補助金 405

○令和6年度目標

- ・今後の世代交代を見据え、有害鳥獣捕獲の担い手を安定的に確保・育成する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・有害鳥獣による農作物被害を防止し、農作物の安定供給等を図るため、第一種銃猟免許・猟銃の所持許可の新規取得者を支援し、有害鳥獣捕獲の担い手確保を図った。

区 分	令和5年度	令和6年度	比較増減
第一種銃猟免許（装薬銃及び空気銃）	8人	9人	1人
補助金交付額	207	405	198

※負担割合：県 1/2、市 1/2

- ・令和4年度から6年度までを「担い手確保の集中強化期間」と位置付け、猟友会入会のインセンティブを高めるための支援制度を拡充するとともに、様々な媒体や機会を捉えて「熱意ある新たな人材」を確保するための勧誘活動を積極的に展開した。

取組内容：支援制度チラシの配布、市ホームページの更新、農林水産部Instagramや広報上越への掲載、狩猟免許取得希望講習会や市内イベント会場での周知など

<上越市内の猟友会6支部の会員数>

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会員数	260人	230人	262人	251人	251人
うち新規会員数	11人	15人	49人	14人	14人

○目標達成状況

- ・狩猟免許取得希望講習会を始め各種イベントでの周知活動等を積極的に展開した結果、猟友会への新規入会者は14人に留まったものの、会員の総数は令和5年度と同数の251人を維持し、猟友会の会員の確保・育成につなげることができた。

【事業の成果】

- ・令和4年度から取り組んできたスマート捕獲に係る実証が終了し、「スマート捕獲等の実証結果と導入計画」に基づき、令和7年度の遠隔操作システムの本格導入につなげることができた。
- ・狩猟者や飲食店を対象としたジビエの利活用を目的とした学習会、講習会の開催により、市内の食肉加工施設へのイノシシの搬入頭数の増加やジビエ肉を調理する飲食店が新たに確認されるなど、ジビエの需要と供給の拡大につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・鳥獣が出没しにくい環境づくりに向けて、住民・行政・関係団体が協力し、集落ぐるみで鳥獣被害対策の取組を継続していくほか、高齢化する猟友会会員の世代交代を見据え、若年層を中心に新しい人材を確保・育成する取組を一層強化する必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：鳥獣被害対策実施隊員報酬、有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保事業費補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 933

(単位：千円)

決算書 (P248～P249)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	埋設農薬適正処理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,090	13,090		10,908		2,182 (繰越金)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	-					

**【目的】**

埋設農薬の適正な管理及び計画的な無害化処理を実施し、埋設地及び周辺地域の安全・安心の確保を図る。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

- ・埋設地点の定期巡回点検

点検回数：2回(6月、9月)/年

- ・埋設農薬環境調査委託

実施箇所：大字富岡地内

委託内容：埋設農薬の位置及び掘削・処理範囲の確定調査、周辺環境調査及び水質検査、埋設農薬の除去に関する対策工法の立案

**【事業の成果】**

- ・埋設地点の定期巡回点検を行い、周辺環境に変化がなかったこと、また、県が埋設地点周辺の水質調査を実施した結果、環境省が示す農薬環境管理指針の数値を全て下回ったことから、安全性を確認することができた。
- ・富岡地内の埋設農薬環境調査委託については、令和6年度内で完了した。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・引き続き、埋設農薬処理計画に基づき、国及び県と調整を図りながら、着実に埋設農薬の処理を進めていく。
- ・富岡地内については、令和6年度に完了した埋設農薬環境調査の結果を踏まえ、令和7年度に埋設農薬の掘削及び無害化処理を適切に実施する。

(単位：千円)

決算書 (P248～P249)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
30,026	22,408	15,814				6,594
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	7,618		2,544		5,074	

## 【目的】

安定した畜産経営の確立に向けて、良質な畜産物の生産・流通や家畜伝染病の予防対策などを支援し、生産基盤の強化を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ■畜産振興事業 22,408

## ○令和6年度目標

- ・家畜伝染病の予防接種率 100%
- ・肥育用子牛の導入頭数 240頭

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・上越家畜診療所運営負担金 (4,493)

家畜の診療業務や疾病予防を行う新潟県農業共済組合上越家畜診療所の運営を関係機関等と連携して支援した。

- ・家畜衛生対策事業費補助金 (149)

安心安全な畜産物の生産体制を整えると同時に、衛生的な生産環境の維持・強化による畜産農家の経営の安定化を図るため、伝染病予防注射や畜舎消毒の衛生対策に要する経費の一部を支援した。

事業主体：えちご上越農業協同組合

補助率：15/100

事業区分	内容	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予防注射 支援	伝染病予防注射の 実施に要する経費 の一部を補助	頭数(頭)	578	687	472
		補助金額	121	129	126
畜舎消毒 支援	畜舎消毒に要する 経費の一部を補助	戸数(戸)	13	9	8
		補助金額	30	27	23

決算書 (P248～P249)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

<家畜伝染病の予防接種の実施状況>

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
接種農家数(戸)	19	19	18
農家数※(戸)	21	22	21
接種率(%)	90.5	86.4	85.7

※農家数：令和6年4月1日時点で乳用牛、肉用牛を飼養している農家数

・畜産物生産流通対策事業費補助金 (166)

肉用牛の出荷輸送や放牧場への運搬輸送に要する経費の一部を支援した。

事業主体：えちご上越農業協同組合

補助金額：牛1頭当たり1,000円

事業区分	畜種	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
出荷輸送	肉用牛	頭数(頭)	122	95	129
笹ヶ峰放牧場 運搬輸送	肉用牛	頭数(頭)	11	10	17
	乳用牛	頭数(頭)	33	20	20
計			166	125	166

・肉用子牛振興対策事業費補助金 (1,652)

優良な肉用子牛の生産拡大と地場産肉牛の安定的な生産体制の維持・強化を図るため、人工授精、受精卵移植及び肥育用子牛の導入に要する経費の一部を支援した。

事業主体：えちご上越農業協同組合

補助金額：人工授精：牛1頭当たり5,500円

受精卵移植：1回当たり25,000円

肥育用子牛の導入：牛1頭当たり5,000円

事業区分	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人工授精	頭数(頭)	81	71	83
	補助金額	446	391	457
受精卵移植	回数(回)	12	9	7
	補助金額	300	225	175
肥育用子牛の 導入	導入頭数(頭)	224	229	204
	補助頭数(頭)	224	221	204
	補助金額	1,120	1,105	1,020

決算書 (P248～P249)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

[参考]市内の畜産農家の状況

畜種	区分	令和5年2月	令和6年2月	令和7年2月
乳用牛	農家数(戸)	8	9	9
	総頭数(頭)	140	140	127
肉用牛	農家数(戸)	14	15	13
	総頭数(頭)	547	559	518
採卵鶏	農家数(戸)	2	4	2
	総羽数(羽)	364,326	363,356	398,873

(出典：家畜生産実態調査集計表)

・粗飼料価格高騰緊急対策支援金 15,814

飼料価格の高騰による畜産経営への影響を緩和するため、粗飼料の価格上昇分に係る費用を頭数に応じて支援した。

交付対象者：乳用牛又は肉用牛を飼養する市内の畜産農家

交付金額：粗飼料の価格上昇分に係る畜種別費用相当額（支援金単価/頭）に飼養頭数を乗じて得た金額

畜種	交付農家数 (戸) ※	飼養頭数(頭)	支援金単価 (円/頭)	交付金額
乳用牛	7	101	62,000	6,262
肉用牛(繁殖)	13	87	33,000	2,871
肉用牛(肥育等)	17	477	14,000	6,678
合計	37	665		15,811

※交付農家数は延べ数。実数は21農家

○目標達成状況

- ・家畜伝染病の予防接種を実施した畜産農家数の割合は85.7%であったが、畜舎外の牛との接触が想定される笹ヶ峰放牧場の上牧する牛や家畜市場に出荷する牛などについては、全頭において予防接種が実施された。
- ・飼育している肥育牛の出荷時期の遅れにより牛舎のスペースが空かず、新たに子牛を導入できなかったことから、肥育用子牛の導入頭数は204頭となり、目標とした240頭には到達しなかった。

【事業の成果】

- ・家畜の衛生対策や肉用子牛の生産拡大等に向けた市独自の補助金を交付したことにより、畜産経営の安定と生産基盤の強化に寄与することができた。
- ・飼料価格の高騰で厳しい状況下にある畜産農家への緊急対策として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、飼養する畜種及び頭数に応じて粗飼料価格高騰緊急対策支援金を交付したことにより、価格高騰の影響を緩和し、畜産経営を支援することができた。

決算書 (P248～P249)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・地域の畜産業の更なる発展を目的に令和3年度に設立した「上越地域畜産クラスター協議会」と連携し、畜産農家が抱える課題等の整理を行いながら、畜産振興に向けた様々な取組を計画的に実施していく。
- ・高齢化や後継者不足に加えて、飼料価格の高止まりや電気料金の値上げ、和牛の枝肉価格が軟調に推移するなど、厳しい状況下にある農家の不安を軽減し、安定した畜産経営の維持が図られるよう国や県の動向を注視しながら、地域の実情に即した対策を検討していく必要がある。

**【執行残額について】**

- ・事業未実施：畜産振興促進事業費補助金について、事業実施主体の申請取り下げのため  
2,544
- ・その他：粗飼料価格高騰緊急対策支援金、上越家畜診療所運営費負担金等の実績が当初の見込みを下回ったため 5,074

(単位：千円)

決算書 (P248～P251)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
949,534	938,461	19,397	661,430		447 (分担金、財源収入)	257,187
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
3,191	7,882				7,882	

## 【目的】

農地や農業用施設の更新・保全管理を行い、農業の持続的な発展や食料の安定供給、多面的機能の発揮を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■農業用施設維持修繕・委託業務等 58,069

○実施内容、これまでの経過等

区分	主な内容	件数	事業費
修繕料	備品修繕、市管理農道の修繕	16件	4,210
施設管理委託料	市管理農道の草刈り、側溝清掃業務委託、泉ため池、水上貯水池等の施設管理委託等	22件	5,978
除雪委託料	市管理農道の春先除雪業務委託	2件	338
湛水防除維持管理委託料	排水機場の維持管理委託	2件	4,940
機械借上料	農業用施設の維持修繕の機械借上支援	11件	1,412
農地、農業用施設工事	農業用施設の修繕工事	2件	19,955
農業用施設改良工事	鳥獣被害の復旧工事	11件	3,090
農業農村整備支援用原材料費	農業用施設の維持修繕の原材料支給	10件	1,648
簡易貯留施設整備・ため池維持修繕事業補助金	簡易貯留施設整備補助金	2件	440
	ため池維持修繕事業補助金	12件	3,392
農業用施設等維持管理費補助金	農業水利施設電気料金高騰対策支援事業補助金	4件	2,397
合計		94件	47,800

決算書 (P248～P251)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

■多面的機能支払補助金 880,392

○令和6年度目標

・活動組織に対し取組の指導を行い、適切な補助金交付事務を行う。

○実施内容、これまでの経過等

区分	令和5年度			令和6年度			
	協定数	対象農用地面積	補助金額	協定数	対象農用地面積	補助金額	
農地維持 支払	合併前 上越市	85	3,783.37ha	112,895	81	3,755.06ha	112,360
	安塚区	6	379.10ha	11,369	5	298.38ha	8,948
	浦川原区	19	229.05ha	6,857	18	228.38ha	6,836
	大島区	14	232.64ha	6,979	13	231.88ha	6,956
	牧区	6	337.43ha	10,123	4	308.58ha	9,257
	柿崎区	21	1,027.20ha	30,704	21	1,027.15ha	30,703
	大潟区	1	459.15ha	27,294	1	915.33ha	27,460
	頸城区	6	1,651.79ha	45,275	6	1,517.95ha	48,177
	吉川区	32	1,158.84ha	26,314	30	812.89ha	24,243
	中郷区	10	296.32ha	8,840	10	292.99ha	8,740
	板倉区	23	777.00ha	23,259	21	818.04ha	24,491
	清里区	11	575.26ha	17,241	11	573.51ha	17,189
	三和区	30	1,407.94ha	42,135	30	1,405.09ha	42,049
	名立区	1	114.92ha	3,448	1	112.79ha	3,384
小計	265	12,430.01ha	372,733	252	12,298.02ha	370,793	
資源向上 支払 (共同活動)	合併前 上越市	72	3,332.31ha	61,189	70	3,397.07ha	62,529
	安塚区	5	367.50ha	6,368	4	286.78ha	5,159
	浦川原区	13	174.16ha	2,965	13	189.44ha	3,234
	大島区	11	194.39ha	3,232	10	192.73ha	3,209
	牧区	6	225.29ha	4,070	4	196.44ha	3,536
	柿崎区	18	990.74ha	17,392	18	990.56ha	17,390
	大潟区	1	459.15ha	16,987	1	915.33ha	16,476
	頸城区	6	1,651.79ha	35,826	6	1,517.95ha	28,528
	吉川区	32	1,158.84ha	16,164	30	812.89ha	14,801
	中郷区	10	296.32ha	5,849	10	292.99ha	5,131
	板倉区	21	754.94ha	14,365	20	815.18ha	15,142

決算書 (P248～P251)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

区 分		令和5年度			令和6年度		
		協定数	対象農用地面積	補助金額	協定数	対象農用地面積	補助金額
資源向上 支 払 (共同活動)	清里区	11	575.26ha	11,401	11	573.51ha	11,198
	三和区	23	1,190.08ha	22,619	24	1,215.98ha	22,767
	名立区	1	114.92ha	2,413	1	112.79ha	2,030
	小 計	230	11,485.69ha	220,840	222	11,509.64ha	211,130
資源向上 支 払 (長寿命化)	合併前 上越市	32	1,531.89ha	58,946	32	1,717.31ha	64,125
	安塚区	4	257.09ha	10,063	3	176.27ha	6,789
	浦川原区	5	73.87ha	2,948	6	91.12ha	3,498
	大島区	4	75.92ha	3,046	4	75.92ha	2,927
	牧区	5	81.11ha	3,255	4	72.18ha	2,783
	柿崎区	17	956.29ha	36,919	17	956.11ha	35,425
	大潟区	1	456.04ha	31,599	1	818.41ha	31,556
	頸城区	6	1,651.79ha	58,395	6	1,517.95ha	57,963
	吉川区	27	1,013.01ha	30,682	26	758.29ha	28,941
	中郷区	10	296.32ha	9,201	10	292.99ha	8,718
	板倉区	16	505.40ha	18,136	15	568.83ha	19,871
	清里区	6	414.22ha	15,059	5	385.90ha	13,410
	三和区	5	326.07ha	11,971	6	354.84ha	12,785
	名立区	1	114.92ha	4,422	1	112.79ha	4,349
小 計	139	7,753.94ha	294,642	136	7,898.91ha	293,140	
合 計	-	-	888,215	-	-	875,063	

○目標達成状況

- ・活動組織に対し2回の研修会を開催するなど、適切な補助金交付事務を行った。

決算書 (P248～P251)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

#### 【事業の成果】

- ・市が管理する農業用施設の適切な維持管理及び修繕とともに、地域が実施する農業用施設維持作業に対する支援により、生産性の向上及び農村環境の保全が図られた。
- ・市内の農業者等に対して、令和7年度以降の耕作に備えた簡易貯留施設整備・ため池維持修繕事業補助金を交付したことにより、中山間地域の農業用水の確保及び安定的な供給の維持に向けた環境整備が図られた。
- ・土地改良区が管理する農業水利施設の電気料金のうち、価格上昇分の一部を補助したことで、安定的な農業用水の供給に寄与できた。
- ・多面的機能支払補助金の交付により、水路や農道等の農業用施設の維持や長寿命化など地域が共同で保全活動に取り組み、農地の多面的機能を発揮することができた。
- ・多面的機能支払補助金の交付組織に対し広域化の啓発や制度説明を行ったことにより、令和7年3月に既存の4組織と未取組の3集落が合併し、広域化が図られた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、農業用施設の適切な維持管理とともに、地域が実施する維持作業に対する支援を行い、農地の保全に努めていく。
- ・農業者の高齢化や後継者不足により、農業用施設を維持する共同作業の継続が困難となっている集落も出てきているため、活動組織の広域化を進めるとともに、引き続き、多面的機能支払補助金による支援を行い、地域資源の適切な保全管理に取り組んでいく。
- ・令和6年能登半島地震により被災した土地改良施設について、土地改良区が実施する災害復旧工事等を早期に完了できるように、引き続き支援していく。

#### 【執行残額について】

- ・その他：重川地区湛水防除維持管理委託料、多面的機能支払補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 7,882

決算書 (P248～P251)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

[農業用施設修繕工事 (中郷区岡沢地内)]



[着手前]



[竣工]

[鳥獣被害復旧工事 (柿崎区金谷地内)]



[着手前]

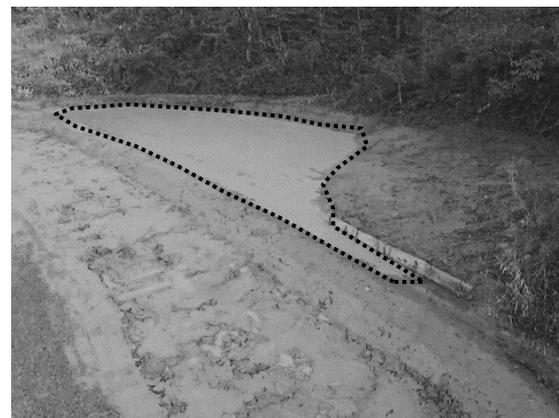


[竣工]

[簡易貯留施設整備・ため池維持修繕事業補助金 (大島区大平地内)]



[着手前]



[竣工]

(単位：千円)

決算書 (P250～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,025,898	630,884		75,465	427,000	74,417 (分担金、繰越金、 諸収入)	54,002
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
390,395	4,619				4,619	

## 【目的】

国、県及び土地改良区等の関係機関と連携し、農業経営の安定化に向け、ほ場の大区画化や農業水利施設の更新、ため池等の耐震対策を推進するほか、中山間地域における耕作条件の改善を図るため農地及び農業用施設の整備を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・委託料、工事請負費（令和5年度繰越明許分）

項目	内訳	事業費
農業水路等長寿命化・防災減災事業	排水路整備工事 1地区（中郷区）	28,983
農村地域防災減災事業	ため池ハザードマップ作成業務委託 8地区（合併前上越市、吉川区） ため池廃止工事 1地区（名立区）	20,825
合計		49,808

- ・負担金補助及び交付金（令和5年度繰越明許分）

項目	内訳	事業費	負担金額
県営土地改良事業負担金			
県営経営体育成基盤整備事業	15地区（合併前上越市、大潟区、吉川区、清里区）	2,441,925	239,569
県営湛水防除事業	1地区（大潟区）	118,000	3,540
県営ため池等整備事業	7地区（合併前上越市、吉川区、三和区）	69,900	7,509
県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	2地区（柿崎区、大潟区、頸城区、吉川区）	375,000	93,750
県営かんがい排水事業	2地区（浦川原区、頸城区、三和区）	68,500	6,850

決算書 (P250～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

項目	内 訳	事業費	負担金額
県営土地改良事業負担金			
県営中山間地域農業農村総合整備事業	2地区(安塚区、浦川原区、大島区、牧区)	106,000	13,780
合 計		3,179,325	364,998

項目	内 訳	事業費	補助金額
各種補助金			
維持管理適正化事業	1地区(頸城区)	-	846
基幹水利施設ストックマネジメント事業	1地区(合併前上越市)	-	11,180
合 計		-	12,026

・委託料、工事請負費(令和6年度分)

項目	内 訳	事業費
維持管理適正化事業	高圧機器改修工事 1地区(合併前上越市)	4,213
県単農業農村整備事業	農道法面整備工事 1地区(大島区) ポンプ制御盤更新工事 1地区(柿崎区) 農道整備工事 1地区(名立区) 電気設備修繕工事 1地区(大潟区) ため池用地測量業務委託 1地区(中郷区)	35,600
農業水路等長寿命化・防災減災事業	ため池修繕工事 1地区(牧区)	2,647
団体営調査設計事業	調査設計業務委託 1地区(合併前上越市)	6,026
農村地域防災減災事業	ため池廃止測量設計業務委託 1地区(安塚区) ため池廃止工事 1地区(名立区)	26,309
合 計		74,795

決算書 (P250～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

・負担金補助及び交付金（令和6年度分）

項目	内 訳	事業費	負担金額
県営土地改良事業負担金			
県営経営体育成基盤整備事業	17地区（合併前上越市、大潟区、吉川区、清里区）	497,763	49,081
県営湛水防除事業	1地区（大潟区）	3,000	90
県営ため池等整備事業	14地区（合併前上越市、浦川原区、牧区、頸城区、吉川区、板倉区、清里区、三和区）	199,470	23,543
県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	3地区（柿崎区、大潟区、頸城区、吉川区、板倉区）	99,550	24,387
県営かんがい排水事業	3地区（浦川原区、頸城区、三和区）	8,683	868
県営中山間地域農業農村総合整備事業	2地区（安塚区、浦川原区、大島区、牧区）	21,500	2,795
県営農道橋等保全対策事業	1地区（合併前上越市）	32,000	8,000
	合 計	861,966	108,764

項目	内 訳	事業費	負担金額
その他負担金			
土地改良関係団体、各種協議会等負担金等	上越農地協議会 新潟県土地改良事業団体連合会 関川用水地区推進協議会	-	1,160
維持管理適正化事業	上島排水機場（合併前上越市）ほか	-	606
	合 計	-	1,766

項目	内 訳	事業費	補助金額
各種補助金			
維持管理適正化事業	12地区（合併前上越市、柿崎区、頸城区、三和区）	-	5,235
県単農業農村整備事業	8地区（合併前上越市、頸城区、三和区）	-	1,098
農業水路等長寿命化・防災減災事業	7地区（合併前上越市、三和区）	-	6,714
農地耕作条件改善事業	1地区（合併前上越市）	-	5,595
	合 計	-	18,642

決算書 (P250～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

各事業の内訳

- ・県営経営体育成基盤整備事業

農地の集積による生産コストの低減等を図るため、ほ場の大区画化、汎用化を推進

地区名	事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費 ベース%)	負担金額	
					令和5年度 からの繰越	令和6年度
合併前 上越市	木島 (99.4%)	H27～R6 区画整理 A=97.5ha 暗渠排水 A=33.3ha	区画整理 A=97.5ha 暗渠排水 A=33.3ha	100.0	-	623
	今池	H30～R7 区画整理 A=40.3ha 暗渠排水 A=15.2ha	区画整理 A=39.8ha 暗渠排水 A=10.9ha	98.9	6,900	2,700
	広島 (1.63%)	H30～R7 区画整理 A=52.2ha 暗渠排水 A=20.5ha	区画整理 A=51.9ha 暗渠排水 A=17.0ha	93.0	76	11
	中江有田	R1～R9 区画整理 A=54.1ha 暗渠排水 A=54.0ha	区画整理 A=53.9ha 暗渠排水 A=15.0ha	89.4	16,900	3,200
	石沢	R2～R9 区画整理 A=45.8ha 暗渠排水 A=37.0ha	区画整理 A=44.0ha 暗渠排水 A=8.3ha	82.0	29,200	430
	島田	R2～R8 区画整理 A=110.7ha 暗渠排水 A=81.9ha	区画整理 A=49.6ha 暗渠排水 A=10.5ha	63.0	36,621	13,700
	和田北部	R2～R9 区画整理 A=50.9ha 暗渠排水 A=46.3ha	区画整理 A=14.3ha	32.7	19,700	6,174
	青野	R3～R9 区画整理 A=46.8ha 暗渠排水 A=46.8ha	区画整理 A=14.4ha 暗渠排水 A=4.7ha	50.9	25,900	6,477
	三郷	R3～R11 区画整理 A=42.1ha 暗渠排水 A=42.1ha	測量試験費 換地費	42.3	29,200	3,900
	高士東部	R5～R10 区画整理 A=13.7ha 暗渠排水 A=13.7ha	測量試験費 換地費	6.6	2,200	200
	高士南部	R5～R10 区画整理 A=10.9ha	測量試験費 換地費	18.8	6,200	1,500
	下池部	R5～R10 区画整理 A=11.1ha 暗渠排水 A=11.1ha	測量試験費 換地費	16.3	4,200	800
	大和 (94.99%)	R7～R15 概略設計		-	-	66
大潟区 吉川区	東潟	R2～R7 区画整理 A=34.7ha 暗渠排水 A=34.7ha	区画整理 A=34.7ha 暗渠排水 A=9.4ha	86.3	18,000	2,900

決算書 (P250～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費 ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
吉川区	原之町	R2～R8	区画整理 A=31.7ha 暗渠排水 A=31.7ha	区画整理 A=27.0ha 暗渠排水 A=11.2ha	91.9	25,872	4,400
清里区	北野	R5～R10	区画整理 A=10.1ha 暗渠排水 A=10.1ha	測量試験費 換地費	11.0	3,200	100
	清里第1	R5～R11	区画整理 A=11.8ha 暗渠排水 A=11.8ha	測量試験費 換地費	23.7	15,400	1,900
合 計						239,569	49,081

※ ( ) は妙高市を含めた全体の受益面積に対する当市分の割合を示す(以下同様)

・県営湛水防除事業

湛水被害の防止を図るため、排水路を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費 ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
大潟区	新堀川	R2～R6	排水路工 L=64.4m	排水路工 L=64.4m	100.0	3,540	90

・県営ため池等整備事業

災害の未然防止を図るため、ため池等の農業用施設を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費 ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
合併前 上越市	下馬場池	R2～R7	ため池工 1か所 取水施設 1式	ため池工 1式	91.0	2,717	5,320
	蜂ヶ嶺	R2～R8	ため池工 1か所 取水施設 1式	ため池工 1式	3.7	462	765
	青野	R5～R8	ため池工 1か所	ため池工 1式	11.0	330	-
	古川	R2～R9	排水路工	測量試験費	7.0	-	600
浦川原区	山本	H30～R6	ため池工 1か所 洪水吐工 1式	ため池工 1式 洪水吐工 1式	100.0	-	2,310
浦川原区 頸城区	浦川原・ 頸城	R6～R10	放流路工 2か所	測量試験費	2.1	-	2,470

決算書 (P250～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
牧区	棚広	R2～R6	用水路工	用水路工 1式	100.0	-	800
牧区	上ノ山	R6～R9	ため池工 1か所	測量試験費	9.6	-	1,430
吉川区	大久保	R2～R6	ため池工 1か所	ため池工 1式	100.0	550	712
	仲伝尻下	R4～R9	ため池工 1か所	測量試験費	10.8	550	-
	町田	R5～R13	ため池工 2か所	測量試験費	2.1	-	2,008
	大岩	R5～R8	頭首工 1式	測量試験費	7.8	480	272
	大滝	R6～R8	頭首工 1式	測量試験費	6.8	-	728
板倉区	針	R2～R9	排水路工 調整池工 3か所	測量試験費	5.1	-	194
清里区	坊ヶ池	R2～R8	ため池工 1か所	ため池工 1式	59.4	-	594
三和区	三和	H30～R12	ため池工 4か所	ため池工 1式	5.9	2,420	5,340
合 計						7,509	23,543

・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業

排水路等の機能保持を図るため、基幹となる農業水利施設を補修、更新

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
柿崎区 吉川区	赤川	H27～R10	排水路工 L=2,660m	排水路工 L=1,554.1m	72.5	33,750	13,391
大瀨区 頸城区	瀨川2期	H24～R8	排水路工 L=7,133m	排水路工 L=5,195m	90.0	60,000	10,964

決算書 (P250～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費 ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
板倉区	関川右岸 (58.09%)	R7～R10	概略設計		-	-	32
合 計						93,750	24,387

- ・ 県営かんがい排水事業  
安定的に農業用水を確保するため、基幹的の水利施設を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費 ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
浦川原区 頸城区	頸城	R2～R8	水管理制御施設 1式 用水路工 L=50.0m 付帯施設 1式	水管理制御施設 1式	17.8	6,100	512
三和区	多能	R3～R9	用水路工 L=2,118m	用水路工 L=300m	10.8	750	300
	宮口 頭首工	R7～R10	概略設計		-	-	56
合 計						6,850	868

- ・ 県営中山間地域農業農村総合整備事業  
中山間地域における農業の維持を図るため、ほ場や農道、用排水路を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費 ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
安塚区 浦川原区 大島区	東頸北部	R3～R11	用排水施設 25か所 暗渠排水 A=35.5ha	用排水施設 7か所	27.5	7,280	780
牧区	牧	R3～R9	用排水施設 9か所 暗渠排水 A=7.4ha	用排水施設 1か所	46.8	6,500	2,015
合 計						13,780	2,795

- ・ 県営農道橋等保全対策事業  
老朽化及び耐震化対策により安全を図るため、農道橋等を整備

地区名		事業期間	全体計画概要	令和6年度まで	進捗率 (事業費 ベース%)	負担金額	
						令和5年度 からの繰越	令和6年度
合併前 上越市	上越2期	R4～R7	橋梁保全 N=1橋 (西戸野橋)	老朽化対策 1式	44.7	-	8,000

決算書 (P 250～P 253)	6 款 1 項 5 目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

#### 【事業の成果】

- ・ 県営経営体育成基盤整備事業の木島地区、県営湛水防除事業の大潟区新堀川地区、県営ため池等整備事業の浦川原区山本地区、牧区棚広地区、吉川区大久保地区が事業完了したことにより、農地、農業水利施設等の農業生産基盤が整備され、農業用施設の安全性及び機能性の向上が図られた。
- ・ 県営経営体育成基盤整備事業の 17 地区のほ場において、区画整理や暗渠排水整備のほか、測量設計等を進めたことで、農地の大区画化や汎用化などが推進され、農業の生産性の向上、担い手への農地集積が図られた。
- ・ 県営中山間地域農業農村総合整備事業により、用排水施設の整備を行ったことで、中山間地域の農地、農業用施設の耕作条件の改善が図られた。

#### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 引き続き、国、県及び土地改良区等の関係機関と連携し、農業経営の安定化に向け、ほ場の大区画化、農業水利の更新等を推進していくとともに、中山間地域における耕作条件の改善に取り組んでいく。
- ・ 防災重点農業用ため池については、災害の未然防止を図るため、引き続き、耐震・豪雨対策を進めるとともに、ハザードマップ作成によるソフト対策にも取り組んでいく。
- ・ 進捗が遅れている事業については、事業期間の延伸を含めて県と協議、連携し、事業の進捗に努めていく。

#### 【執行残額について】

- ・ その 他：県営事業等の事業費確定に伴い負担金等が減額となったため 3,563  
農地・農業用施設工事等の実績が当初の見込みを下回ったため 1,056

決算書 (P250～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

[県営経営体育成基盤整備事業 木島地区]



[着手前]



[竣工]

[県営湛水防除事業 新堀川地区]



[着手前]



[竣工]

[県営ため池等整備事業 大久保地区]



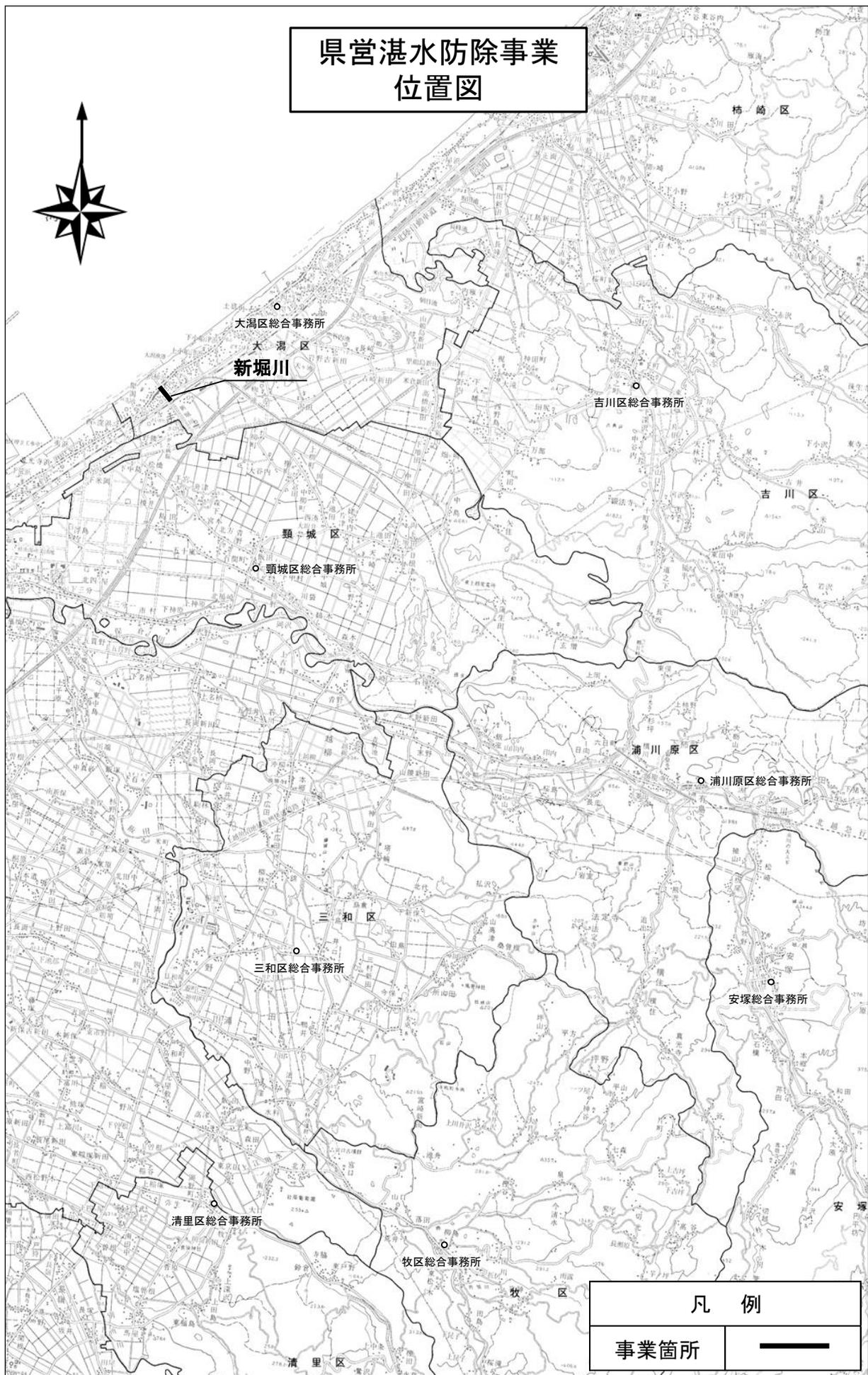
[着手前]



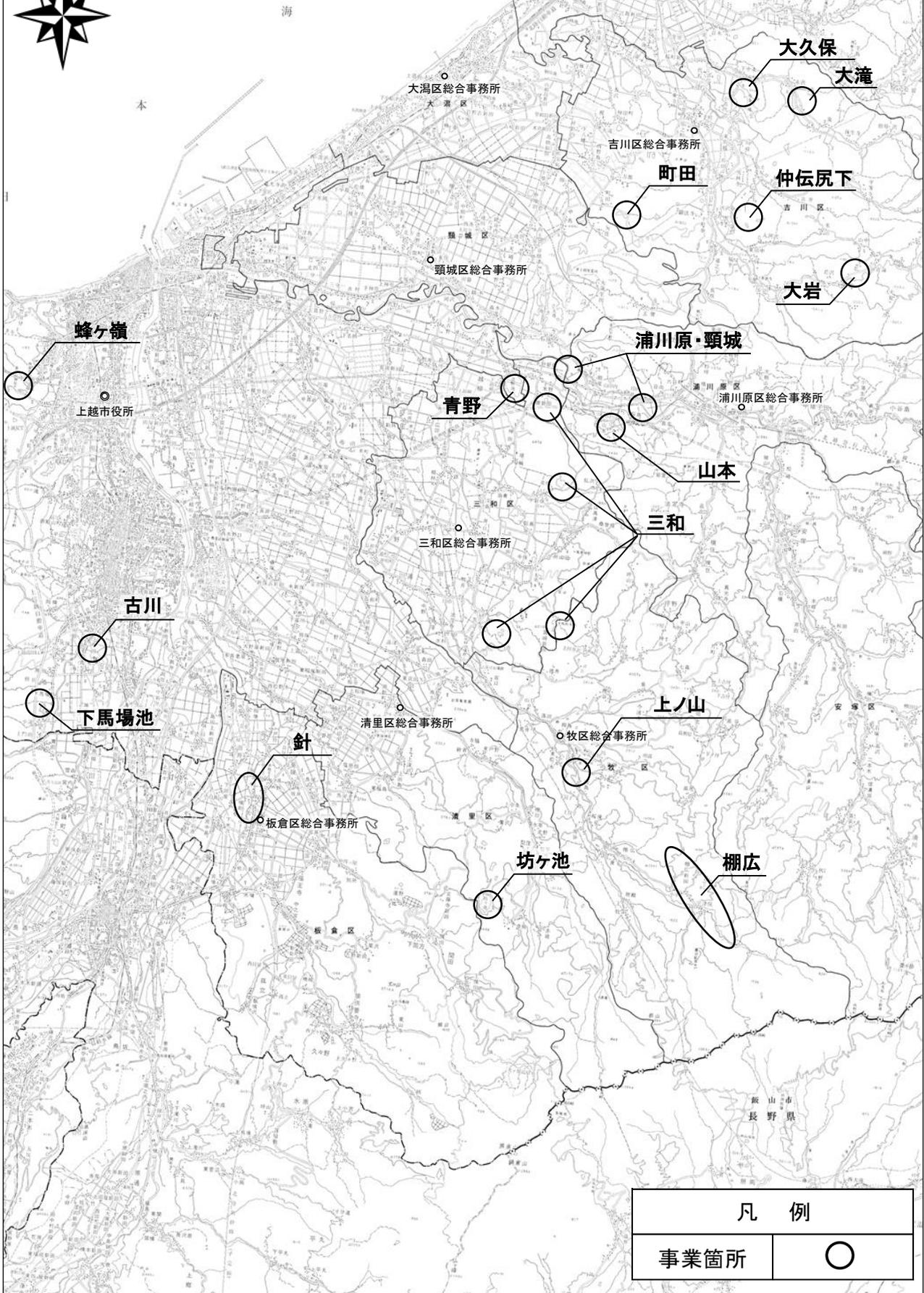
[竣工]



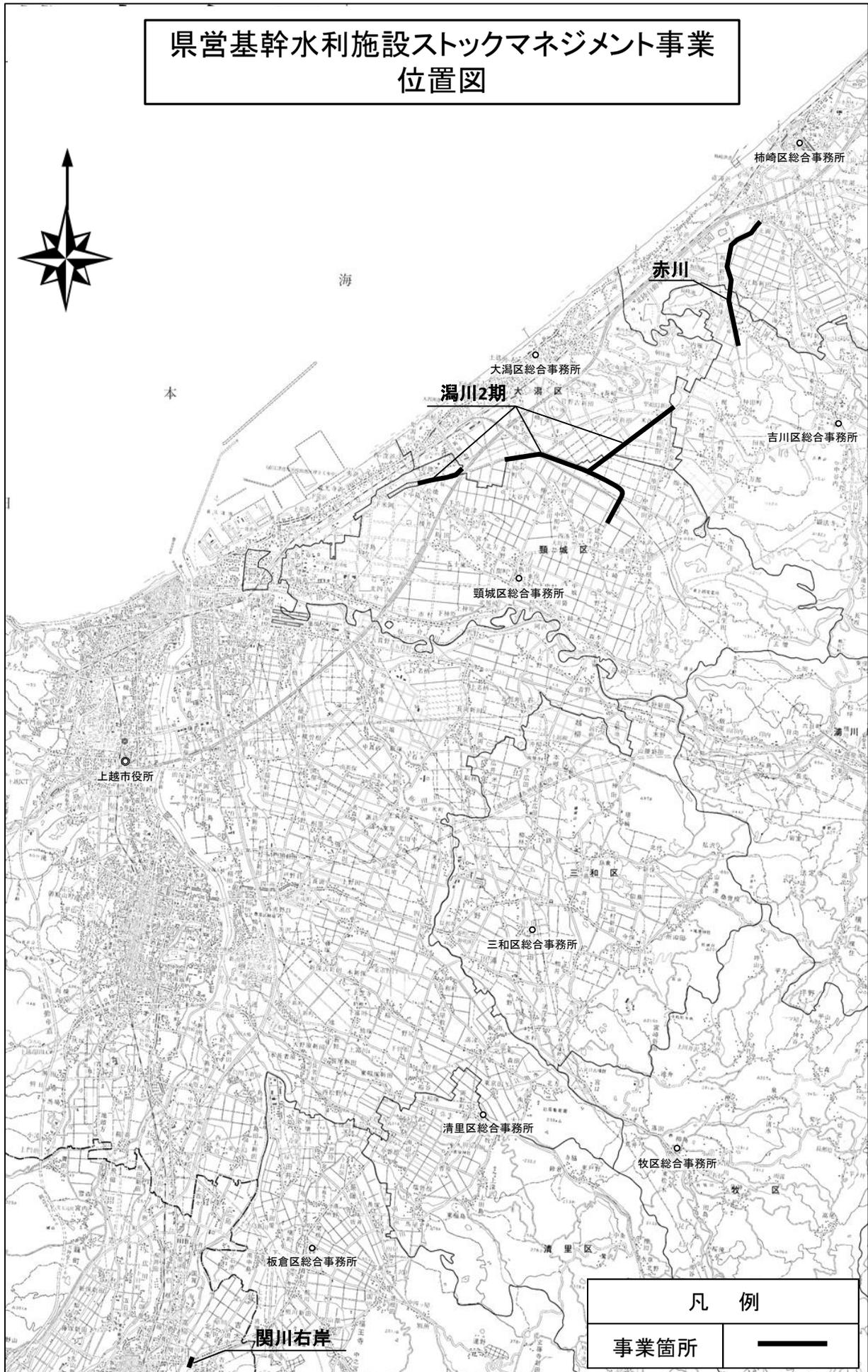
# 県営湛水防除事業 位置図



# 県営ため池等整備事業 位置図

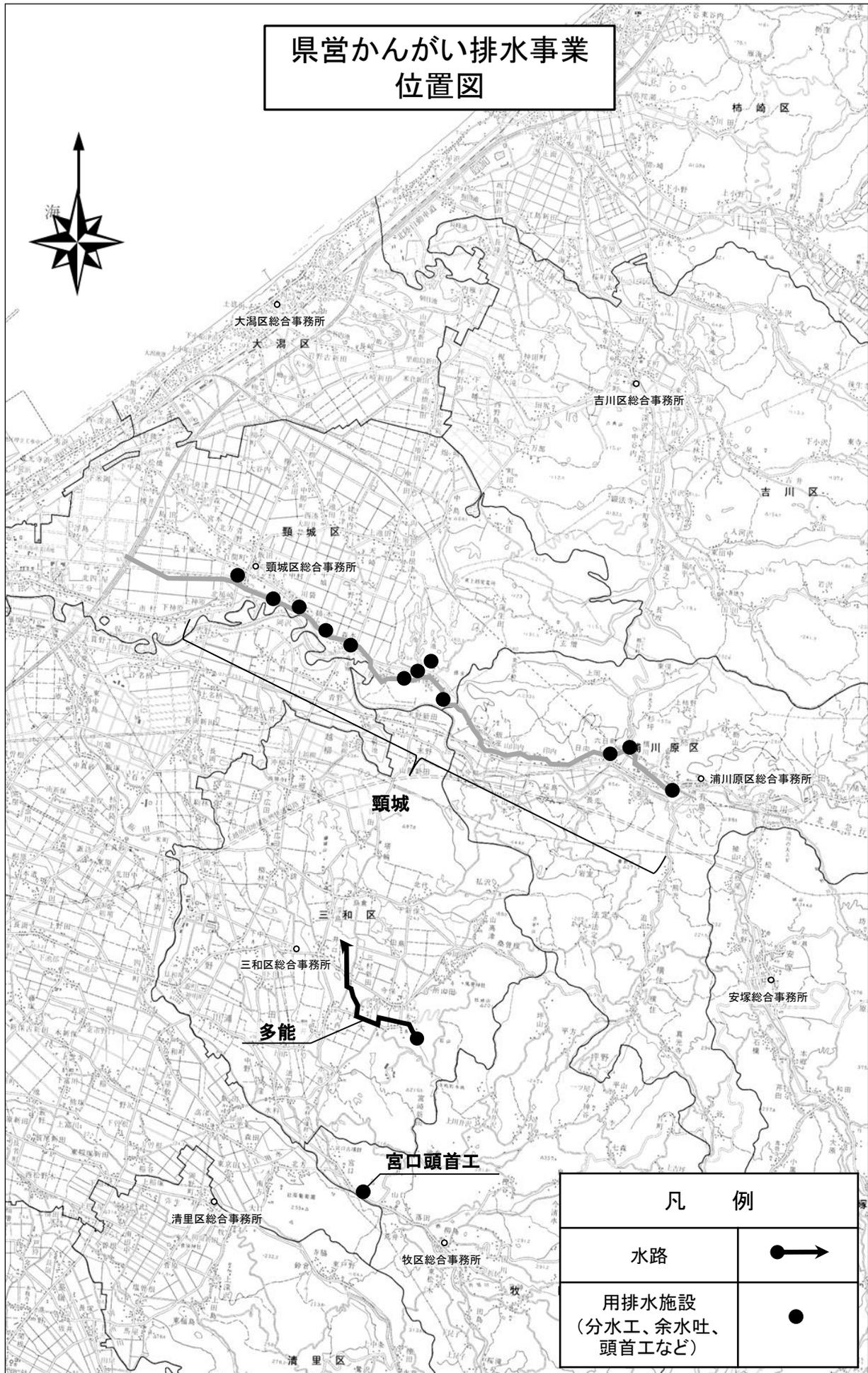


# 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業 位置図



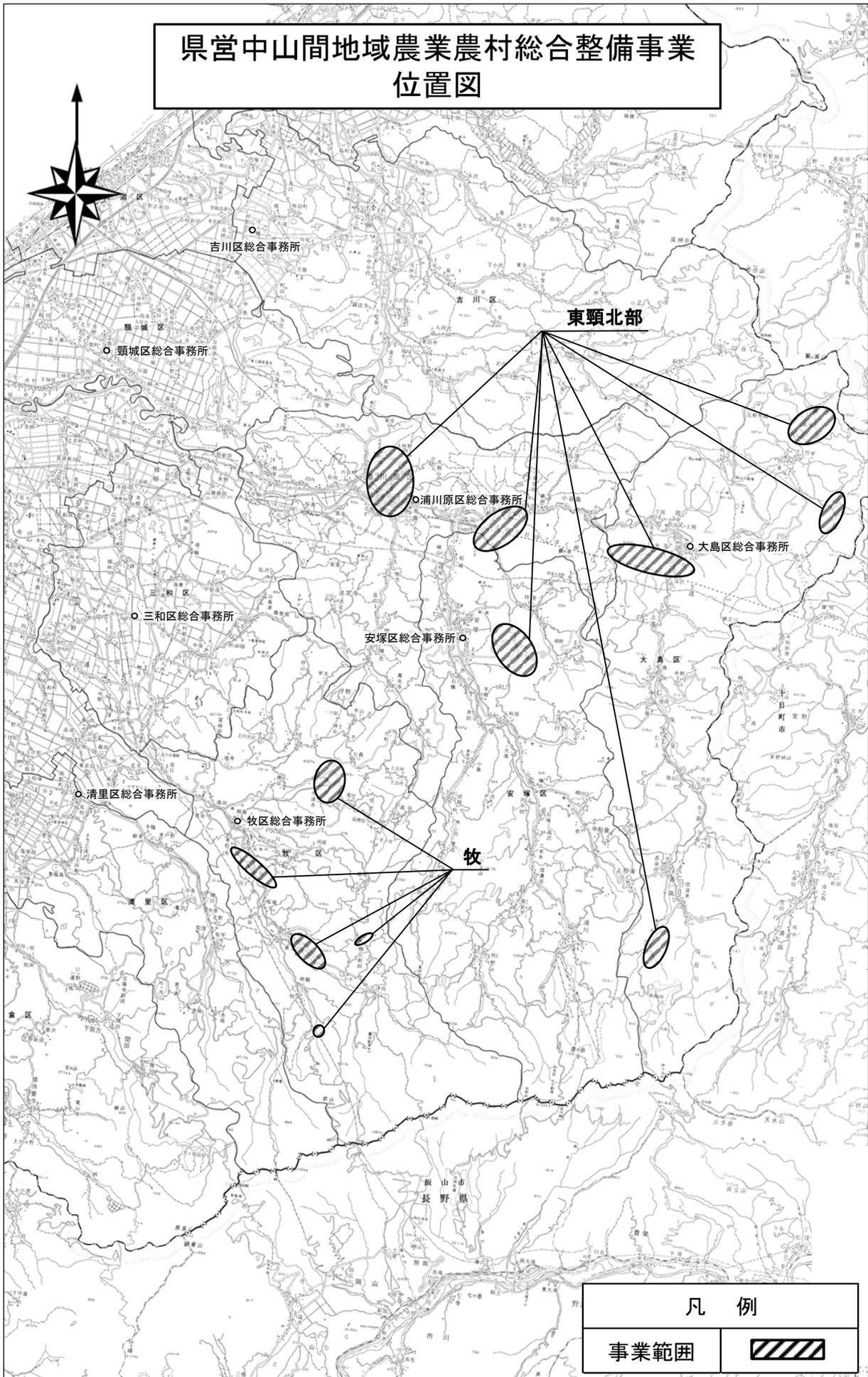
凡 例	
事業箇所	—

# 県営かんがい排水事業 位置図

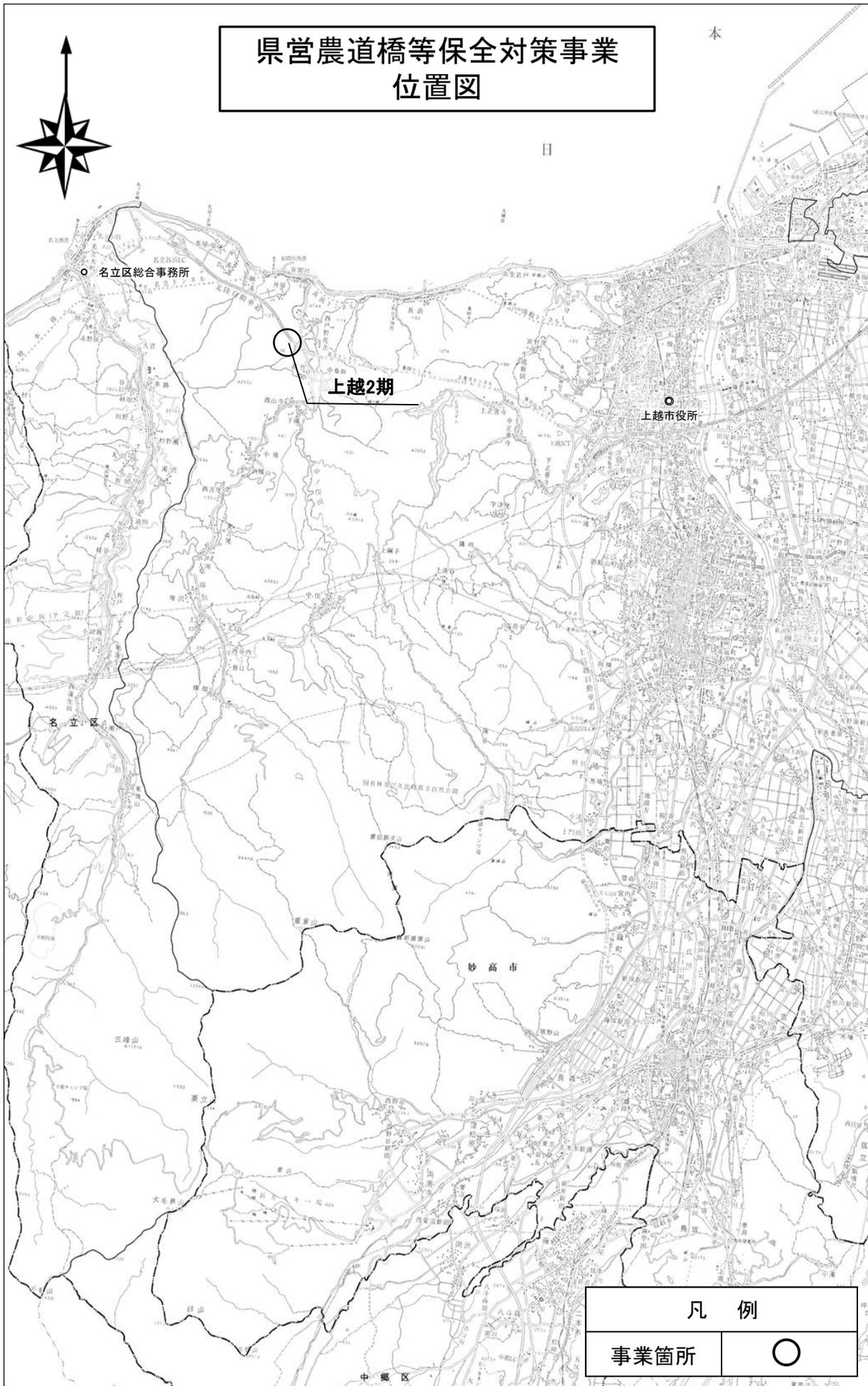


凡 例	
水路	●→
用排水施設 (分水工、余水吐、 頭首工など)	●

# 県営中山間地域農業農村総合整備事業 位置図



凡 例	
事業範囲	



県営農道橋等保全対策事業  
位置図

上越2期

凡 例	
事業箇所	○

(単位：千円)

決算書 (P252～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,558	2,518				167 (使用料)	2,351
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	40				40	

**【目的】**

地域農業の振興やコミュニティ活動を推進する施設として、農業団体及び地域住民等が快適に利用できるよう、適切な管理と効率的な運営を行う。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・清里活性化交流施設の維持管理及び運営

所在地	清里区武士407番地1
設置	平成14年度
構造	鉄骨造2階建
面積	1,393.78 m <sup>2</sup>
管理	直営(業務委託)

## ○施設の管理実績

- ・施設利用者数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績
利用者数	3,549人	3,151人	-	3,883人

決算書 (P252～P253)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	269	189	211	167
	その他	-	-	1	-
	合計	269	189	212	167
②支出	施設維持管理費	2,237	2,528	2,529	2,491
	うち委託料	1,261	1,463	1,597	1,569
	消耗品	41	121	29	27
	合計	2,278	2,649	2,558	2,518
③公費投入額 (②-①)		2,009	2,460	2,346	2,351
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		566	781	-	605

【事業の成果】

- ・適切な管理と効率的な運営により、快適に利用できる環境を提供できた。
- ・令和5年度と比較して、研修会等により732人増の3,883人の方が施設を利用し、地域住民等の交流機会の創出に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、市ホームページや総合事務所だより等を通じて、施設の利用促進に向けた情報発信を行うとともに、利用者が快適に使用できるよう、適切な管理と運営に努める。

【執行残額について】

- ・その他：施設清掃委託料、施設管理運営業務委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため

め 40

(単位：千円)

決算書 (P252～P253)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,213	8,464				8 (諸収入)	8,456
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	749				749	

**【目的】**

林業の振興を図るため、林業関連団体との連携のほか、森林の保全や地域資源の活用に取り組む団体へ補助金を交付する。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

## ■地域独自の予算事業 674

- ・イタヤカエデの山里づくり事業(牧区)(90)
- ・木と花の駅プロジェクト事業(吉川区)(338)
- ・水源保護地域の森活用事業(名立区)(246)

**【執行残額について】**

- ・その他：施設解体工事、地域独自の予算事業補助金等の実績が当初の見込みを下回ったため 746  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P252～P255)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
28,001	26,049		1,964			24,085
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,952		238	1,579	135	

## 【目的】

地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供するとともに、森林を守り、育てる体験等を通じて自然環境に関する意識の高揚が図られるよう、適切な維持管理及び運営を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■くわどり市民の森管理運営費 24,580

○令和6年度目標

- ・利用者数 5,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・管理棟排煙窓修繕 611
- ・管理棟トイレ修繕 314
- ・太陽光発電式蓄電池等購入及び設備整備 5,275
- ・施設の概要

所在地	大字西谷内488番2
設置	平成14年度
施設	管理棟、分区林、トイレほか
面積	272.0ha
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部
指定の期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

決算書 (P252～P255)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	6,454人	4,316人	5,000人	3,883人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			予算現額	実 績
①収入	-	-	200	1,964
②支出	くわどり市民の森 管理運営委託料	14,156	14,156	17,860
	管理運営委託料以外 の経費	1,358	1,204	8,381
	合計	15,514	15,360	26,241
③公費投入額 (②-①)	15,514	15,360	26,041	22,616
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	2,404	3,559	5,208	5,824

○指定管理者の収支状況等

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
①収入	利用料金収入	282	281	270
	くわどり市民の森 管理運営委託料	14,156	14,156	17,860
	その他	235	192	230
	合計	14,673	14,629	18,360
②支出	14,673	14,628	18,360	18,252
差引 (①-②)	0	1	0	3

○目標達成状況

- ・利用者数目標5,000人に対し3,883人となり、目標を達成することができなかったが、近年の気象状況により利用者数が減少傾向にある中で、朝晩の涼しい時間帯でのイベントの開催や雨天時でも楽しめる体験の提供に努めた。

決算書 (P252～P255)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

■二貫寺の森管理運営費 1,469

○実施内容、これまでの経過等

- ・草刈機修繕 100
- ・二貫寺の森の維持管理及び運営

所在地	大字杉野袋 102 番地 1
設置	平成 23 年度
施設	管理棟、トイレほか
面積	28.0ha
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

- ・利用者数

区分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			計画	実績
利用者数	578 人	553 人	-	676 人

※市主催イベントや諏訪地区公民館事業、小学校の総合学習等の利用者が把握できたものを実績とした。

- ・施設管理における市の収支状況

区分	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
			予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	6	2	-
	合計	6	2	-
②支出	施設維持管理費	1,843	1,439	1,685
	うち委託料	1,496	1,153	1,472
	その他	31	27	75
	合計	1,874	1,466	1,760
③公費投入額（②－①）	1,868	1,464	1,760	1,469
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）	3,232	2,647	-	2,173

【事業の成果】

- ・くわどり市民の森では、環境に配慮し、持ち運び可能な太陽光発電式蓄電池等を購入し、管理棟の電源を確保したほか、施設周辺の草刈りや散策コースの整備点検など維持管理を適切に行い、安全に利用できる環境を整えるとともに、指定管理者主催による木工作体験や自然観察会を実施したことにより、地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供することができた。
- ・二貫寺の森では、施設周辺の草刈りや通路補修など維持管理を適切に行い、安全に利用できる環境を整えるとともに、市主催の自然観察会及び工作会を実施したことにより、地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供することができた。

決算書 (P252～P255)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・くわどり市民の森については、連携しているくわどり湯ったり村の利用者が少なかったことや夏の酷暑等の影響により利用を控えたことなどが、利用者数の目標達成に至らなかった要因と推測される。
- ・二貫寺の森については、諏訪小学校の閉校により、学校利用者の減少が見込まれるため、統合した戸野目小学校など近隣の学校に対し森の学習としての利用を促していく。
- ・両施設とも引き続き、適切な維持管理に努めるとともに、利用の促進に向けて指定管理者及び業務委託者と連携して各種イベント等について広く情報を発信するなど運営に努めていく。

**【執行残額について】**

- ・事業未実施：害虫駆除業務委託が不要となったため 202  
二貫寺の森研究会を実施しなかったため 36
- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 1,579  
施設管理用備品購入費 (1,579)
- ・その他：報償金、修繕料等の実績が当初の見込みを下回ったため 132  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

[市民の森施設管理]



[くわどり市民の森 (太陽光パネル)]

[市民の森の活動]



[二貫寺の森 (工作会)]

(単位：千円)

決算書 (P254～P255)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
47,561	47,398		31,539			15,859
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	163				163	

## 【目的】

春日山城跡周辺や海岸保安林等の公益的機能の高い松林において、松くい虫被害のまん延を防止するため、伐倒駆除及び薬剤散布を行い、周辺住民の生活環境や景観を保全する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○令和6年度目標

- ・伐倒駆除及び薬剤散布を適切な時期に実施し、被害の発生を最小限に抑える。

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・松くい虫防除事業

地区	実施内容	事業量	事業費
合併前上越市 柿崎区、大潟区	伐倒駆除	2,085本・765.9m <sup>3</sup>	37,283
	薬剤散布(無人ヘリ)	59.0ha	7,757
	被害木調査	2回・212.9ha	1,650
合計			46,690

- ・森林病虫害防除事業補助金

地区	実施内容	事業量	補助金額
合併前上越市 大潟区、吉川区 名立区	薬剤樹幹注入	60本	708

## (参考)被害の推移

令和7年3月現在

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
被害本数	1,716本	2,507本	1,971本
被害量	632.6m <sup>3</sup>	1,144.7m <sup>3</sup>	1,008.9m <sup>3</sup>

決算書 (P254～P255)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

○目標達成状況

- ・伐倒駆除及び薬剤散布を適切な時期に実施したことにより、令和5年度と比較して被害本数536本、被害量135.8㎡が減少し、被害の発生を抑えることができた。

【事業の成果】

- ・債務負担行為を活用した発注により、早期に被害木の伐倒駆除を実施したほか、健全な松林への薬剤散布による予防や地域を代表する松への樹幹注入費用の一部を支援したことで、公益的機能の高い松林を保全することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・近年の高温少雨の影響により、松の生育にとっては厳しい環境にあったため、樹勢とともに抵抗力が大幅に弱まった一方で、松くい虫にとっては行動が活発化しやすい環境になっていると考えられることから、引き続き、気象状況や松くい虫が発生する前の適切な時期を見定めながら、駆除及び予防を実施し、被害のまん延防止に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：松くい虫防除事業委託料、森林病虫害防除事業補助金の実績が当初の見込を下回ったため 163

[松くい虫防除事業]



[伐倒駆除]



[薬剤散布（無人ヘリ）]

(単位：千円)

決算書 (P254～P255)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
27,782	26,587		3,707		4,989 (財源収入、譲収入)	17,891
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,195	1,165		9	21	

## 【目的】

良質な地域産材の生産や地球温暖化防止、国土保全など、森林が持つ多面的機能の維持増進を図るため、除間伐等を実施し、適切な森林の保育管理を推進する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■森林保育管理事業 3,611

○実施内容、これまでの経過等

- ・森林地図情報システム保守及び森林クラウドシステム運用管理

■市営分収林整備事業 11,349

○令和6年度目標

- ・11月までに利用間伐を完了する。

○実施内容、これまでの経過等

区名	団地名	実施内容	事業費
板倉区	別所	利用間伐 A=5.0ha 作業路開設 L=485m 間伐材運搬 V=289 m <sup>3</sup> 間伐材一次製材・乾燥 V=15 m <sup>3</sup> (公共施設への活用に向けた保管)	11,349

○目標達成状況

- ・11月までに利用間伐を完了することができた。

■森林整備センター分収林整備事業 2,750

○令和6年度目標

- ・11月までに除伐作業を完了する。

決算書 (P254～P255)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

○実施内容、これまでの経過等

区名	団地名	実施内容	事業費
牧区	横倉第一	除伐 A=7.0ha	2,750

○目標達成状況

- ・11月までに除伐作業を完了することができた。

■森林整備活用推進事業 4,322

○令和6年度目標

- ・12月までに保育間伐10.2haを完了する。
- ・11月までにドローンによる測量効果を検証する。

○実施内容、これまでの経過等

区名	地区名	実施内容	事業費
吉川区	河沢	保育間伐 A=6.0ha	3,219
中郷区	二本木ほか	スマート林業導入効果調査 N=2か所	1,103

○目標達成状況

- ・保育間伐は、間伐実施区域の精査により6.0haを12月までに完了することができた。
- ・ドローンによる測量効果は、調査地の施業スケジュールにあわせて検証したことにより、目標の期日までの検証完了に至らなかった。

■地域産材利用推進事業 2,973

○実施内容、これまでの経過等

- ・地域産材利用

設置施設	製作品	数量	事業費
木田第一庁舎	総合案内カウンター	1台	2,973
	応接室テーブル	3台	
	応接室サイドテーブル	6台	
	貴名受	4個	
木田第二庁舎 (農林水産部執務スペース)	事務机	1台	
	キャビネット	4台	
	パンフレットラック (自立型)	1台	
	パンフレットラック (卓上型)	2台	

■地域独自の予算事業 1,582

- ・水源かん養地維持に向けた森林調査事業 (名立区)

決算書 (P254～P255)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

### 【事業の成果】

- ・森林保育管理事業では、森林地図情報システム及び森林クラウドシステムによる基本情報を活用し、森林法に基づく台帳を適切に管理・運用したことで、森林整備の円滑化を図ることができた。
- ・市営分収林整備事業では、計画的かつ適期に間伐を実施したことで造林木の生育促進が図られた。また、生産した間伐材について、市内製材事業者等へ売払・供給したほか、令和7年度以降の地域産材の利用に向けて、間伐材の一部を製材・保管することができた。
- ・森林整備センター分収林整備事業では、適切な保育管理（除伐）を実施したことで奥地水源林のかん養機能の維持を図ることができた。
- ・森林整備活用推進事業では、森林経営管理制度を活用して私有林の適正な管理が図られたほか、ICTによるスマート林業技術を活用した新しい測量手法を実践し、効率性や実用性について、従来手法との比較、検証することができた。
- ・地域産材利用推進事業では、市営分収林で生産した間伐材を活用して庁舎内の備品等の製作・利用を進めたほか、市産材PRマークの作成や脱炭素社会の実現に向けた利用事例集を発行し、市民への情報発信と普及啓発を図ることができた。

### 【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市営分収林整備事業では、分収林の利用間伐を計画的に進め、森林の有する多面的機能の維持増進を図っていく。
- ・森林整備センター分収林整備事業では、引き続き、生育状況に応じた適切な保育管理を計画的に実施して、水資源のかん養機能の維持増進を図っていく。
- ・森林整備活用推進事業では、引き続き、森林経営管理制度を活用して、私有林の適正な管理を進めるとともに、林業の収益性向上を図っていくため、スマート林業技術を活用した効率的な林業経営を促進していく。
- ・地域産材利用推進事業では、引き続き、庁舎内など公共施設の備品等の製作・利用を通じて、市内で生産された木材の利用を促進する啓発活動に努めていく。

### 【執行残額について】

- ・事業費節減：間伐実施区域の精査に伴う森林経営管理委託料の減 1,165
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 9  
複写機借上料(3) 電子計算機借上料(3) 市営分収林整備委託料(3)
- ・その他：保険料、消耗品費の実績が当初の見込みを下回ったため 18  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

決算書 (P254～P255)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

〔森林整備活用推進事業〕



〔スマート林業測量効果調査（中郷区内）〕

〔地域産材利用推進事業〕

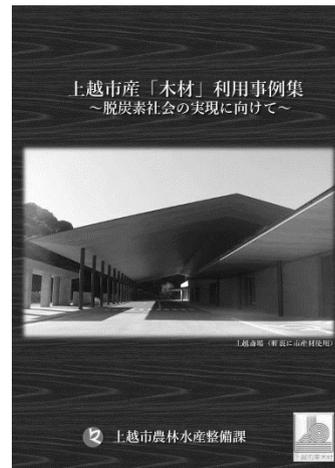


〔総合案内カウンター木質化（木田第一庁舎）〕



上越市産木材

〔上越市産木材PRマーク〕



〔上越市産「木材」利用事例集〕

(単位：千円)

決算書 (P254～P255)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業振興補助費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
26,709	17,213		1,044		871 (繰越金)	15,298
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	9,496		5,892		3,604	

## 【目的】

森林資源を循環利用した持続的な林業の振興と林産物の収益性の向上を図るため、森林及び特用林産物の整備に係る費用を支援する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■新潟県農林水産業総合振興事業補助金(農林県単) 1,044

○実施内容、これまでの経過等

・高温・渇水対応きのこ生産条件整備支援事業補助金(令和5年度繰越明許分)

区名	実施内容		事業量	補助金額
三和区	特用林産物施設	断熱シート導入	259 m <sup>2</sup>	1,044

※補助率：5.5/10

■森林整備事業補助金 16,169

○令和6年度目標

・間伐や作業道整備等を支援し、森林整備の促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

・森林整備・林業等振興整備交付金(令和5年度繰越明許分)

区名	実施内容		事業量	補助金額
頸城区	特用林産物施設	配合培地購入	34,859 kg	871
		コンテナ購入	2,000 枚	
		落下培地及びビン廃棄	一式	

※補助率：国(1/2) 補助残額の1/3

決算書 (P254～P255)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業振興補助費		

・森林整備事業補助金

区名	実施内容	事業量	補助金額	
大島区、中郷区、三和区、名立区	利用間伐	53.9ha	14,023	15,298
	作業道整備	4,944m	1,047	
	既設道補強	515m	228	

○目標達成状況

- ・間伐や作業道整備等に係る経費を支援したことで、森林整備の促進を図ることができた。

【事業の成果】

- ・新潟県農林水産業総合振興事業補助金（農林県単）では、断熱シート導入費を支援したことで、きのこ生産量低下の影響を緩和することができた。
- ・森林整備事業補助金では、令和6年能登半島地震で被災した特用林産物施設の復旧に当たり、迅速に支援することができたほか、国及び県と連携して支援したことで、森林整備の促進と森林資源の適切な保全を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・林業経営が安定的かつ効率的に行われるよう、引き続き、森林整備や特用林産物施設に対する支援を行っていく。

【執行残額について】

- ・事業未実施：高温・渇水対応きのこ生産条件整備支援事業費補助金（繰越明許）及び森林整備・林業等振興整備交付金（繰越明許）において、実施主体が事業内容の一部実施を見送ったことにより、補助金の交付が減額となったため 5,892
- ・その他：各補助事業の実績が当初見込みを下回ったため 3,604

(単位：千円)

決算書 (P254～P257)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
100,916	95,634		24,650	15,200	4,789 (繰入金)	50,995
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	5,282		279	627	4,376	

**【目的】**

林道パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所の修繕を行うほか、側溝清掃や除草等を実施し、通行に支障がないよう適切な維持管理を行う。

また、林道橋の修繕及び林道法面の対策工事等を行い、被害の拡大防止や災害の発生予防を図る。

## 令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

・維持管理内訳

区分	実施内容	件数	事業費
修繕料	路面修繕、側溝修繕ほか	6件	2,856
実施設計委託料	測量設計、橋梁塗膜調査	2件	2,686
林道維持管理業務委託料	林道パトロール	4件	2,489
林道安全施設設置撤去業務委託料	カーブミラー等設置、撤去	12件	2,309
林道路面清掃業務委託料	路面清掃	3件	1,265
林道除草業務委託料	林道沿線の除草	40件	30,950
林道側溝清掃業務委託料	側溝清掃	27件	11,055
林道除雪業務委託料	春先除雪	6件	1,378
林道支障木伐採業務委託料	支障木伐採	2件	605
林道倒木処理業務委託料	倒木処理	4件	1,848
林道維持工事	橋梁塗装、法面保護対策ほか	3件	37,850
合計		109件	95,291

決算書 (P254～P257)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

**【事業の成果】**

- ・定期パトロールによる林道巡視のほか、除草や側溝清掃等維持管理業務を適切に行ったことにより、林道の安全な通行を確保することができた。
- ・除草及び側溝清掃業務について、一部を地元町内会へ委託し、効率的な業務遂行と林道維持管理費の縮減を図った。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・引き続き、林道の安全な通行を確保するため、適切な維持管理に努めていく。

**【執行残額について】**

- ・事業未実施：牧区、名立区の林道除雪業務委託が未実施となったため 279
- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 627  
林道維持管理業務委託料(153)、林道除草業務委託(418)、林道維持工事(56)
- ・その他：修繕料、林道除雪業務委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 4,367  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 9

決算書 (P254～P257)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

(参考) 市が管理する林道延長、路線数

令和7年4月現在

区名	林道延長	路線数	備考
合併前上越市	44,202m	15路線	
安塚区	32,393m	9路線	
浦川原区	13,881m	4路線	
大島区	22,984m	11路線	菱ヶ岳3号線災害復旧に伴う延長L=15mの増(法線変更)
牧区	16,233m	5路線	
柿崎区	19,029m	9路線	狸平線ほか2路線の廃道に伴う延長L=4,499mの減
大潟区	-	-	
頸城区	8,506m	3路線	
吉川区	24,561m	9路線	
中郷区	9,446m	3路線	
板倉区	21,066m	7路線	
清里区	28,739m	10路線	
三和区	5,469m	2路線	
名立区	33,521m	7路線	大町躰畑線開設に伴う延長L=318mの増
合計	280,030m	94路線	



[林道南葉高原線橋梁塗装修繕 (合併前上越市)]



[林道西菖蒲線落石防護柵設置 (大島区)]

(単位：千円)

決算書 (P256～P257)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林道大町躰畑線整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
134,679	133,460		86,800	41,900	3,025 (繰越金、譲入)	1,735
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,219				1,219	

## 【目的】

林道を開設することにより、沿線における主伐・間伐などの森林整備を促進し、林業の振興を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

- 令和6年度目標
  - ・降雪前の11月末までに工事を完了し、全線開通を目指す。
- 実施内容、これまでの経過等
  - ・事業進捗状況

区分	全体計画 (平成17年度 ～令和6年度)	令和5年度 まで	令和6年度	
			繰越明許	現年
整備延長 (m)	5,867	5,549	318	-
補助対象事業費	1,071,383	947,383	95,000	29,000
開設進捗率 (%)		94.6	100.0	

※令和6年度の現年は舗装工を実施

- 目標達成状況
  - ・11月末までに工事を完了し、全線開通することができた。

決算書 (P256～P257)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林道大町躰畑線整備事業		

**【事業の成果】**

- ・全線開通により、沿線に広く分布する杉人工林の利用間伐等森林整備促進のための環境を整えた。

**【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】**

- ・地域内の製材量や木材需要の増加に向けた取組など、本路線を活用した森林整備を進めるための適切な維持管理に努めていく。

**【執行残額について】**

- ・その他：林道開設工事、物件移転補償料（繰越明許）等の実績が当初の見込みを下回ったため 1,219



[着手前]



[竣工]

(単位：千円)

決算書 (P256～P257)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林施設等管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
19,747	19,375			4,500	32 (譲入金)	14,843
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	372		31		341	

## 【目的】

地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供するとともに、市民の休養、健康増進等を図るため、森林施設等の適切な維持管理及び運営を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■南葉高原キャンプ場管理運営費 8,958

○令和6年度目標

- ・利用者数 10,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・浄化槽流量調整槽ブロワ修繕 430
- ・水道管漏水修繕 253
- ・南葉ロッジ外壁張替修繕 150
- ・施設の概要

所在地	大字中ノ俣 4966 番地 194 他
設置	昭和 56 年度
施設	南葉ロッジ、学習・休憩棟、バンガロー、炊事場、トイレほか
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	南葉高原キャンプ場管理運営協議会
指定の期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

決算書 (P256～P257)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林施設等管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	10,882人	10,671人	10,000人	9,508人
うち日帰り者数	5,550人	4,940人	-	4,845人
うち宿泊者数	5,332人	5,731人	-	4,663人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	南葉高原キャンプ 場管理運営委託料	6,149	6,149	7,985	7,985
	再算定による 増減額※1	-	-	75	75
	管理運営委託料以 外の経費	2,265	5,526	1,063	973
	エネルギー価格高 騰補填金※2	64	140	-	-
合計	8,478	11,815	9,048	8,958	
③公費投入額 (②-①)	8,478	11,815	9,048	8,958	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	779	1,107	905	942	

※1 収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P256～P257)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林施設等管理運営費		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	5,688	5,977	4,700	6,601
	南葉高原キャンプ場管理運営委託料	6,149	6,149	7,985	7,985
	再算定による増減額	-	-	75	75
	エネルギー価格高騰補填金	64	140	-	-
	その他	1,329	2,288	1,606	1,901
	合計	13,230	14,554	14,291	16,487
②支出	13,075	14,313	14,291	16,363	
差引(①-②)	155	241	0	124	

○目標達成状況

- ・利用者数目標 10,000 人に対し 9,508 人となり、目標を達成することができなかったが、近年の気象状況により日帰り利用者数が減少傾向にある中で、家族連れから団体まで誰もが楽しめるキャンプ体験の場の提供に努めた。

■菖蒲高原緑地休養広場管理運営費 6,575

○令和6年度目標

- ・利用者数 2,800 人

○実施内容、これまでの経過等

- ・電力引込開閉基盤入替修繕 290
- ・コテージ給湯器漏水修繕 150
- ・施設の概要

所在地	大島区菖蒲 2962 番地 1
設置	昭和 63 年度
施設	コテージ、野外ステージ、森林体験交流センター、トイレほか
面積	34.6ha
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

決算書 (P256～P257)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林施設等管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計 画	実 績
利用者数	1,481人	1,412人	2,800人	1,121人
うち日帰り者数	1,257人	1,106人	-	838人
うち宿泊者数	224人	306人	-	283人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			予算現額	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	菖蒲高原緑地休養 広場管理運営委託 料	4,955	4,955	5,726	5,723
	再算定による 増減額※1	-	-	13	10
	管理運営委託料以 外の経費	2,265	787	1,032	852
	エネルギー価格高 騰補填金※2	30	-	-	-
	合計	7,250	5,742	6,758	6,575
③公費投入額 (②-①)	7,250	5,742	6,758	6,575	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	4,895	4,067	2,414	5,865	

※1 収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増減した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加  
分を補填したもの

決算書 (P256～P257)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林施設等管理運営費		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	763	1,066	1,170	959
	菖蒲高原緑地休養 広場管理運営委託 料	4,955	4,955	5,726	5,723
	再算定による 増減額	-	-	13	10
	エネルギー価格高 騰補填金	30	-	-	-
	その他	1,208	766	755	1,298
	合計	6,956	6,787	7,651	7,980
②支出	6,411	5,902	7,651	7,555	
差引(①-②)	545	885	0	425	

○目標達成状況

- ・利用者数目標 2,800 人に対し 1,121 人となり、目標を達成することができなかったが、近年の気象状況や災害により日帰り利用者数が減少傾向にある中で、野外での地域の憩いの場の提供に努めた。

■大潟夕日の森管理運営費 2,194

○実施内容、これまでの経過等

- ・ハマナスの池防護柵修繕 528
- ・大潟夕日の森の維持管理及び運営

所在地	大潟区潟町 209 番地
設置	昭和 55 年度
施設	展望台、トイレ、遊歩道、ハマナスの池ほか
面積	11.5ha
管理	直営(業務委託)

決算書 (P256～P257)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林施設等管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	1,422	1,439	2,271	2,194
	うち委託料	1,121	1,227	1,572	1,571
	その他	-	-	-	-
	合計	1,422	1,439	2,271	2,194
③公費投入額 (②-①)		1,422	1,439	2,271	2,194
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

■上下浜日本海夕日の森管理運営費 1,427

○実施内容、これまでの経過等

- ・電灯引込開閉箱取替修繕 396
- ・上下浜日本海夕日の森の維持管理及び運営

所在地	柿崎区上下浜 244 番地 1
設置	平成7年度
施設	展望広場、トイレ、遊歩道ほか
面積	2.5ha
管理	直営 (業務委託)

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	9	9	9	9
	合計	9	9	9	9
②支出	施設維持管理費	702	960	1,447	1,427
	うち委託料	400	463	539	538
	その他	-	-	-	-
	合計	702	960	1,447	1,427
③公費投入額 (②-①)		693	951	1,438	1,418
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

決算書 (P256～P257)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林施設等管理運営費		

■ やすらぎの森大島管理運営費 221

○ 実施内容、これまでの経過等

- ・ やすらぎの森大島の維持管理及び運営

所在地	大島区大島 2099 番地
設置	平成 15 年度
施設	管理棟、トイレ、遊歩道ほか
面積	12.0ha
管理	直営（業務委託）

○ 施設の管理実績

- ・ 施設管理における市の収支状況

区 分		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	9	9	9	9
	合計	9	9	9	9
②支出	施設維持管理費	220	220	223	221
	うち委託料	210	210	210	210
	その他	-	-	-	-
	合計	220	220	223	221
③公費投入額 (②-①)		211	211	214	212
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		-	-	-	-

【事業の成果】

- ・ 南葉高原キャンプ場、菖蒲高原緑地休養広場では、施設内の維持修繕や適切な管理運営により、快適なキャンプ環境や野外での交流活動の場を提供することができた。
- ・ 大瀧夕日の森、上下浜日本海夕日の森、やすらぎの森大島では、草刈りなど適切な維持管理により、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 南葉高原キャンプ場では、夏の高温の影響から日帰りでの利用が控えられたことが目標達成に至らなかった要因と推測される。
- ・ 菖蒲高原緑地休養広場では、アクセスする林道が災害等により通行に支障を及ぼしたことが目標達成に至らなかった要因と推測される。
- ・ 南葉高原キャンプ場、菖蒲高原緑地休養広場では、施設の老朽化が進んでいることから、快適なキャンプ場を維持し、レクリエーションの場を提供していくため、計画的な修繕や点検を行っていく。
- ・ 今後は更なる利用促進に向けて、指定管理者と連携し、適切な運営、維持管理に努めるとともに、市ホームページ等を通じて、広く情報を発信していく。

決算書 (P256～P257)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林施設等管理運営費		

- ・大潟夕日の森、上下浜日本海夕日の森、やすらぎの森大島では、利用者が安全で快適に利用できるよう、引き続き、施設の適切な維持管理に努めていく。

**【執行残額について】**

- ・事業未実施：害虫防除業務委託料が不要となったため 31
- ・その他：修繕料、テレビ受信料等の実績が当初の見込みを下回ったため 333
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 8

(単位：千円)

決算書 (P256～P257)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	水産業活性化対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,955	16,481		11,881		3,026 (繰越金)	1,574
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	9,474				9,474	

## 【目的】

将来にわたり持続的かつ安全・安心な水産物を確保するため、漁業団体と連携し、水産資源を維持する。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■水産業総務費 14,757

○実施内容、これまでの経過等

・水産業共同利用施設緊急復旧整備事業(令和5年度繰越明許分)

施設名	事業主体	実施内容	補助金額
直江津港 漁港区	上越市漁業協同組合	荷さばき施設の整備 1棟	12,185
名立漁港		荷さばき施設の整備 1棟	

※補助率：7/10 (国：1/2、県：1/10、市：1/10)

・農林水産業施設等災害復旧支援事業(令和5年度繰越明許分)

施設名	事業主体	実施内容	補助金額
大潟漁港	上越市漁業協同組合	船舶給油施設の修繕 1か所	878
		船舶巻揚げ施設の修繕 一式 (小屋8棟、モーター4台)	1,694

※補助率：2/3 (県：1/3、市：1/3)

決算書 (P256～P257)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	水産業活性化対策事業		

■漁業種苗放流事業補助金 1,213

○令和6年度目標

- ・漁業団体が行う種苗放流に対し、適切な補助金交付事務を行う。

○実施内容、これまでの経過等

漁場	事業主体	魚種	数量	補助金額
海面	上越市漁業協同組合	ヒラメ	22,900尾	920
		クルマエビ	100,000尾	
内水面	関川水系漁業協同組合	アユ	70kg	159
	桑取川漁業協同組合	アユ	60kg	134
合計				1,213

○目標達成状況

- ・漁業協同組合が行った、ヒラメやアユなどの種苗放流に対し、補助金交付事務を適切に行った。

【事業の成果】

- ・水産業施設復旧支援事業では、令和6年能登半島地震で被災した水産業施設の復旧に当たり、迅速に支援することができた。
- ・漁業種苗放流事業では、漁業協同組合が実施した種苗放流の取組を支援し、水産資源を維持することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域水産業の持続的な漁業生産量を確保するため、引き続き、水産資源を保全するための取組を支援していく。

【執行残額について】

- ・その他：県水産振興協会負担金、水産業施設復旧支援事業補助金（繰越明許）等の実績が当初の見込みを下回ったため 9,474

[農林水産業施設等災害復旧支援事業(大潟漁港船舶巻揚げ施設)]



[着手前]



[竣工]

(単位：千円)

決算書 (P256～P259)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港施設等管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
22,339	13,678		613		2,644 (使用料、譲収入)	10,421
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
5,196	3,465			56	3,409	

## 【目的】

水産物資源を持続的かつ安定的に供給できる環境を整えるため、漁港施設等の適切な維持管理を行う。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

■有間川漁港管理運営費 8,272

○実施内容、これまでの経過等

有間川漁港

- ・漂着物処理、海岸清掃等業務 998 (令和6年能登半島地震関連事業を含む。)
- ・斜路滑材修繕 198
- ・有間川漁港の維持管理及び運営

所在地	大字有間川地先
施設	防波堤、護岸、突堤、船揚場、物揚場、臨港道路ほか
設置経過	昭和49年度 第1種漁港指定、昭和50年度 着工 昭和63年度 供用開始、平成25年度 完成
管理	直営(業務委託)

フィッシャリーナ

- ・中央棧橋取替工事 2,500(前払金)
- ・漁港施設監視業務 3,103
- ・フィッシャリーナの維持管理及び運営

所在地	大字有間川地先
施設	浮棧橋、休憩施設ほか
設置経過	平成13年度 着工 平成14年度 完成、供用開始
管理	直営(業務委託)

決算書 (P256～P259)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港施設等管理運営費		

○施設の管理実績

・有間川漁港：施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	247	203	108	357
	合計	247	203	108	357
②支出	施設維持管理費	848	2,427	1,487	1,440
	うち委託料	497	1,099	999	998
	その他	-	-	-	-
	合計	848	2,427	1,487	1,440
③公費投入額(②-①)		601	2,224	1,379	1,083
④利用者1人当たりの公費投入額(単位：円)		-	-	-	-

・フィッシャリーナ：利用実績

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
プレジャーボート	2隻	3隻	8隻
営業船(釣船等)	8隻	8隻	9隻
ヨット	1隻	1隻	1隻
合 計	11隻	12隻	18隻

・フィッシャリーナ：施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	2,350	2,536	2,444	2,610
	その他	1,480	1,821	-	-
	合計	3,830	4,357	2,444	2,610
②支出	施設維持管理費	7,702	14,140	12,202	6,832
	うち委託料	3,481	5,067	3,766	3,765
	その他	-	-	-	-
	合計	7,702	14,140	12,202	6,832
③公費投入額(②-①)		3,872	9,783	9,758	4,222
④利用船1隻当たりの公費投入額(単位：円)		352,000	815,250	-	234,556

決算書 (P 256～P 259)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港施設等管理運営費		

■ 柿崎漁港管理運営費 3,228

○ 実施内容、これまでの経過等

- ・ 漁港内浚渫<sup>しゅんせつ</sup> 2,191
- ・ 漂着物処理業務 341 (令和 6 年能登半島地震関連事業を含む。)
- ・ 柿崎漁港の維持管理及び運営

所在地	柿崎区直海浜地先
施設	防波堤、護岸、防砂堤、船揚場、物揚場、離岸堤、 臨港道路ほか
設置経過	昭和 52 年度 第 1 種漁港指定、昭和 53 年度 着工 平成 11 年度 供用開始、平成 21 年度 完成
管理	直営 (業務委託)

○ 施設の管理実績

- ・ 施設管理における市の収支状況

区 分		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	143	346	229	454
	合計	143	346	229	454
②支出	施設維持管理費	5,107	8,076	5,806	3,228
	うち委託料	916	595	1,152	439
	その他	-	-	-	-
	合計	5,107	8,076	5,806	3,228
③公費投入額 (②-①)		4,964	7,730	5,577	2,774
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		-	-	-	-

決算書 (P 256～P 259)	6 款 3 項 1 目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港施設等管理運営費		

■大潟漁港管理運営費 2,178

○実施内容、これまでの経過等

- ・漁港内浚渫<sup>しゅんせつ</sup> 1,210
- ・斜路滑材修繕 356
- ・漂着物処理業務 132 (令和6年能登半島地震関連事業を含む。)
- ・大潟漁港の維持管理及び運営

所在地	大潟区渋柿浜地先
施設	防波堤、護岸、船揚場、物揚場、離岸堤、漁具倉庫、休憩施設、臨港道路ほか
設置経過	昭和57年度 第1種漁港指定、着工 平成17年度 供用開始、平成27年度 完成
管理	直営 (業務委託)

○施設の管理実績

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				予算現額	実績
①収入	使用料収入	14	14	14	14
	その他	74	45	113	118
	合計	88	59	127	132
②支出	施設維持管理費	1,471	1,966	2,844	2,178
	うち委託料	186	154	813	230
	その他	-	-	-	-
	合計	1,471	1,966	2,844	2,178
③公費投入額 (②-①)		1,383	1,907	2,717	2,046
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

決算書 (P256～P259)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港施設等管理運営費		

【事業の成果】

- ・各施設内の修繕や浚渫<sup>しゅんせつ</sup>など、適切な維持管理により、施設の利便性と船舶の安全性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回のほか、漁業協同組合やフィッシャリーナ利用者への聞き取り等により施設の状況を把握し、船舶の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き、施設の適切な維持管理に努めていく。
- ・令和7年度に繰り越したフィッシャリーナ中央棧橋取替工事については、製作に係る調整を含め、適切な進捗管理を行い、令和7年5月に完了した。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 56  
修繕料 (56)
- ・その他：修繕料、漂着物処理委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 3,401  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 8

[柿崎漁港内の浚渫<sup>しゅんせつ</sup>状況]



[大潟漁港 船揚場の砂撤去]



[着手前]



[完了]

。（単位：千円）

決算書 (P258～P259)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業（フィッシャリーナ）		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,497	9,419				9,419 (繰越金)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,078				2,078	

**【目的】**

漁港施設の適切な維持管理を実施し、漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性を確保する。

令和6年度の取組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和5年度繰越明許分：浮棧橋修繕工事 9,419

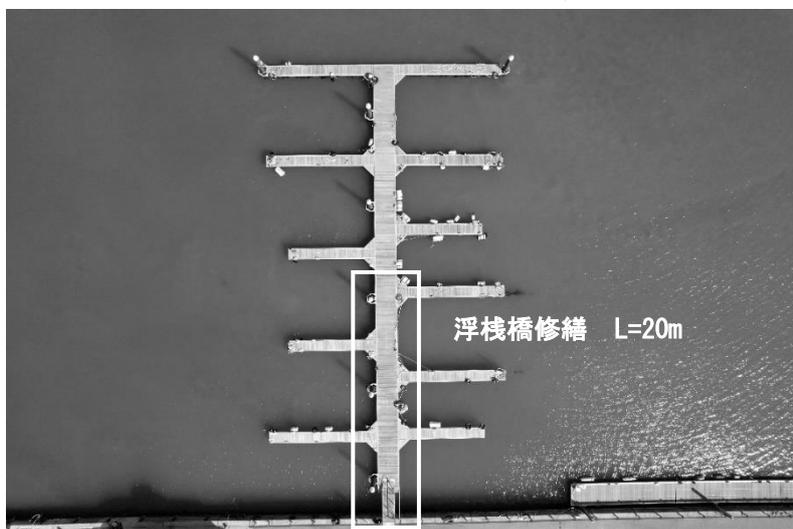
**【事業の成果】**

- ・浮棧橋の修繕工事を実施したことで、施設の利便性と船舶の安全性を確保することができた。

**【執行残額について】**

- ・その他：漁港維持工事（繰越明許）の実績が当初の見込みを下回ったため 2,078

[フィッシャリーナ 浮棧橋修繕工事]



(単位：千円)

決算書 (P362～P363)	11款2項1目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
299,182	220,410		50,365	1,700	48,663 (分担金、繰越金)	119,682
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
70,637	8,135			73	8,062	

## 【目的】

融雪、豪雨等により被災した農地及び農業用施設を復旧し、農業生産基盤の維持を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・令和5年度繰越明許分：公共災害

区名	地区名	区分	項目	執行額	内容
牧区	棚広	豪雨災	工事請負費	4,194	用水路復旧 L=13m
		地すべり災	工事請負費	6,227	農地復旧 A=0.73ha
清里区	梨平	地すべり災	工事請負費	3,013	農地復旧 A=0.72ha
名立区	杉野瀬	地すべり災	委託料	33,344	地質調査・測量設計
合計				46,778	

・令和5年度繰越明許分：小規模災害

区名	区分	項目	執行額	内容
板倉区	地震災	工事請負費	1,573	2件(農地法面復旧)
合計			1,573	2件

決算書 (P362～P363)	11款2項1目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

・令和6年度分：公共災害

区名	地区名	区分	項目	執行額	内容
合併前 上越市	西鳥越	地震災	委託料	7,930	測量設計・補助率増高申請一式
			工事請負費 (前払金)	10,600	農道復旧 L=74m
安塚区	高沢	地すべり災	工事請負費	10,494	応急水抜き対策 N=12孔
牧区	棚広	地震災	委託料	1,304	測量設計 一式
			工事請負費 (前払金)	3,900	用水路復旧 L=25m
		豪雨災	光熱水費	543	農業用水路仮設
			工事請負費	3,336	取水用ポンプ N=5台
板倉区	上関田	地震災	委託料	1,938	測量設計 一式
			工事請負費 (前払金)	5,800	用水路復旧 L=13m
合計				45,845	

・令和6年度分：小規模災害

区名	区分	項目	執行額	内容
合併前上越市、安塚区、 浦川原区、大島区、 牧区、柿崎区、頸城区、 吉川区、中郷区、 板倉区、清里区、 三和区、名立区	地震災	工事請負費	101,089	168件(農地法面・水路・ ため池・農道等復旧)
	豪雨災	工事請負費	25,125	39件(農地法面・水路・ ため池・農道復旧)
合計			126,214	207件

【事業の成果】

- ・公共災害3件(牧区棚広、清里区梨平)と小規模災害209件の農地、農業用施設を速やかに復旧支援したことにより、農業生産基盤を維持することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・繰り越した西鳥越地内及び牧区棚広地内、板倉区上関田地内の地震災害復旧工事については、降雪前に現場が完了できるよう、適切な進捗管理に努めていく。
- ・安塚区高沢地内の地すべり災害については、土砂が安定するまで調査、観測を継続していく。
- ・牧区棚広地内の豪雨災害復旧工事については、引き続き、地元関係者や関係機関と連携し、速やかな復旧に努めていく。

決算書 (P362～P363)	11款2項1目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

【執行残額について】

- ・ 入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 73  
    測量設計委託料（繰越明許）(73)
- ・ その他：光熱水費、災害復旧工事等の実績が当初の見込みを下回ったため 8,062

〔豪雨災：下江用水復旧工事（牧区棚広地内）〕



〔着手前〕



〔竣工〕

〔小規模災害：農道法面復旧工事（西吉尾地内）〕



〔着手前〕



〔竣工〕

(単位：千円)

決算書 (P362～P363)	11款2項2目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
38,027	36,778		10,101	100	987 (繰入金、繰越金)	25,590
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,249				1,249	

## 【目的】

融雪、豪雨等により被災した林業用施設を復旧し、林業生産基盤の維持を図る。

## 令和6年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・令和5年度繰越明許分：公共災害

区名	林道名	区分	項目	執行額	内容
大島区	菱ヶ岳3号線	融雪災	工事請負費	10,976	災害復旧 L=67m

・令和6年度分：小規模災害

区名	区分	項目	執行額	内容
合併前上越市、安塚区、 浦川原区、大島区、牧区、 柿崎区、吉川区、中郷区、 板倉区、清里区、名立区	地震災 融雪災	工事請負費	12,074	10件(路肩・法面等復旧、崩土撤去)
	豪雨災	工事請負費	13,728	18件(路肩・路面・法面復旧、崩土撤去)
合計			25,802	28件

決算書 (P362～P363)	11款2項2目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

【事業の成果】

- ・公共災害（繰越）1件と小規模災害28件の林業用施設を速やかに復旧したことにより林業生産基盤を維持することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・災害復旧に当たっては、引き続き、関係機関と連携し、速やかな復旧に努めていく。

【執行残額について】

- ・その他：災害復旧工事（繰越明許）等の実績が当初の見込みを下回ったため 1,248  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

[融雪災：林道菱ヶ岳3号線災害復旧工事（大島区菖蒲地内）]



[着手前]



[竣工]

[豪雨災：林道高床花房線災害復旧工事（中郷区二本木地内）]



[着手前]



[竣工]